MZK-SP300N2

User's Manual

Version: MZK-SP300N2_PDF-A_V1

目次

第 1 章:安全上のご注意

1.1 本製品を安全にご利用いただくために

> 本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
> これによって人が負傷されたり、死亡につながる 恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

⚠警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、死亡につながる恐れが想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、物的損傷を引き起こす恐れが想定される内容を示しています。

⚠警告	
禁 止	**電源は AC100V(50 ／ 60Hz)以外では絶対に使用しないでください。** 本製品と本製品の定格電力ラベルに記載されている電圧・電流のものをお使いください。異なる電圧・電流でご使用すると発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。
強制指示	**必ず付属の専用 AC アダプタ(または電源ケーブル)を使用してください。** 本製品付属以外の AC アダプタ(または電源ケーブル)の使用は発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障のなどの原因となります。
強制指示	**AC アダプタ(または電源ケーブル)の取り扱いを守ってください。** AC アダプタ(または電源ケーブル)に加熱や無理な曲げ、引っ張ったりするなどといった行為はしないでください。発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。また、AC アダプタ(または電源ケーブル)を抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
禁 止	**動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。** 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
禁 止	**本製品を分解、改造しないでください。** 感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。また改造は法律で禁止されています。

強制指示	**コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは直ちに取り除いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
水濡禁止	**本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。** 本製品に液体がこぼれることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
プラグを抜く	**煙が出たり、異臭がしたら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
濡手禁止	**本製品を濡れた手で触れないでください。また事前に指輪、腕時計などの装身具を外しておいてください。** これらの状態で本製品に触れると感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
禁　止	**本製品を重ねて設置しないでください。** 本製品が加熱し、感電、火災、または本製品の誤作動、故障などの原因となります。
触手禁止	**雷のときは本製品や接続されているケーブル等に触れないでください。** 落雷による感電の原因になります。
強制指示	**本製品は一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。** 本製品は、物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
禁　止	**金融機器、医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。**

⚠注意	
禁止	本製品を次のような場所での使用や保管はしないでください。 ● 直射日光の当たる場所 ● 暖房器具の近くなどの高温になる場所 ● 温度変化の激しい場所 ● 湿気やほこりの多い場所 ● 振動の多い場所や不安定な場所 ● 静電気が多く発生する場所 ● 油煙や湯気があたる場所 ● 腐食性ガスの発生する場所 ● 壁の中などお手入れが不可能な場所 ● 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
禁止	**本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。** 本製品の誤作動、故障などの原因となります。
プラグを抜く	**移動させるときは AC アダプタ(または電源ケーブル)を外してください。** 必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してください。
強制指示	お手入れの際は以下の内容に注意してください。 ● 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。
強制指示	**定期的にデータのバックアップを行ってください。** 本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し、不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったときの回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。
禁止	**RJ-45 ポートのある製品は、以下の内容に注意してください。** RJ-45 ポートには電話線コネクタを差し込まないでください。本製品が損傷する場合があります。

■無線製品に関して

本製品を下記のような状況でご使用になるのはおやめください。

- 本製品を心臓ペースメーカーや補聴器など医療機器の近くや医療機関の中でのご使用はおやめください。電磁障害を及ぼし生命の危険があります。
- 本製品を交通機関内、特に航空機の中でのご使用はおやめください。機内での電子機器や無線機器の利用が禁止されており、航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因になる恐れがあります。
- 本製品を電子レンジの近くでのご使用はおやめください。電子レンジをご使用のとき、電磁波の影響によって、無線通信が妨害される恐れがあります。

■電波に関して

本製品の無線 LAN の周波数帯は、医療機器や電子レンジなどの産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。

- 本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など、何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の電波の種類と干渉距離について

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。

DSOF : DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4 : 想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■ご利用上の注意

- 接続においては、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）または IEEE802.11g、IEEE802.11b 無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- 5.2GHz 帯を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。IEEE802.11a は屋外で使用することはできませんのでご注意ください。
- 本書内に記載されている無線 LAN 規格における数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本製品はすべての無線 LAN 機器との接続動作を確認したものではありません。
- 弊社は、無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。
- Bluetooth と無線 LAN は同じ 2.4GHz 帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

■無線 LAN におけるセキュリティに関するご注意

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。ただし、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があり、また無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サ

ポートセンターまでお問い合わせください。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

1.2 おことわり

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの経済損失につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品のパッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、弊社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合がありますので、通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本の国内法（電気用品安全法・電波法等）のもとで利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

■著作権等

- ユーザーズ・マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社に帰属します。ユーザーズ・マニュアルの記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ユーザーズ・マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどございましたら、弊社までご連絡ください。
- ユーザーズ・マニュアルの記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■電波に関するご注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■RoHS 対応

生産から廃棄処分にいたる製品のライフサイクルにおいて、人の健康や環境への負荷を最小限に抑えることを目的とし、プラネックスコミュニケーションズでは、EU（ 欧州連合） の RoHS 指令準拠を始めとし、環境汚染物質の削減を積極的に進めております。

第 2 章：はじめに

本紙は**単方向通信**の接続・設定方法や、WEB 設定画面を使った詳細な設定方法をご説明したものです。

本製品を**双方向通信**で接続・設定するときは、別紙「スタートガイド」を参照してください。
※双方向通信とは、インク残量や用紙切れなどの情報をパソコンから確認できる通信方法です。
※プリンタとの双方向通信は、ユーティリティをインストールした Windows 7/Vista/XP のみサポートします。

＜ポイント＞

お手元に「スタートガイド」がないときは、以下のページからダウンロードしてください。

http://www.planex.co.jp/support/download/print/mzk-sp300n2.shtml

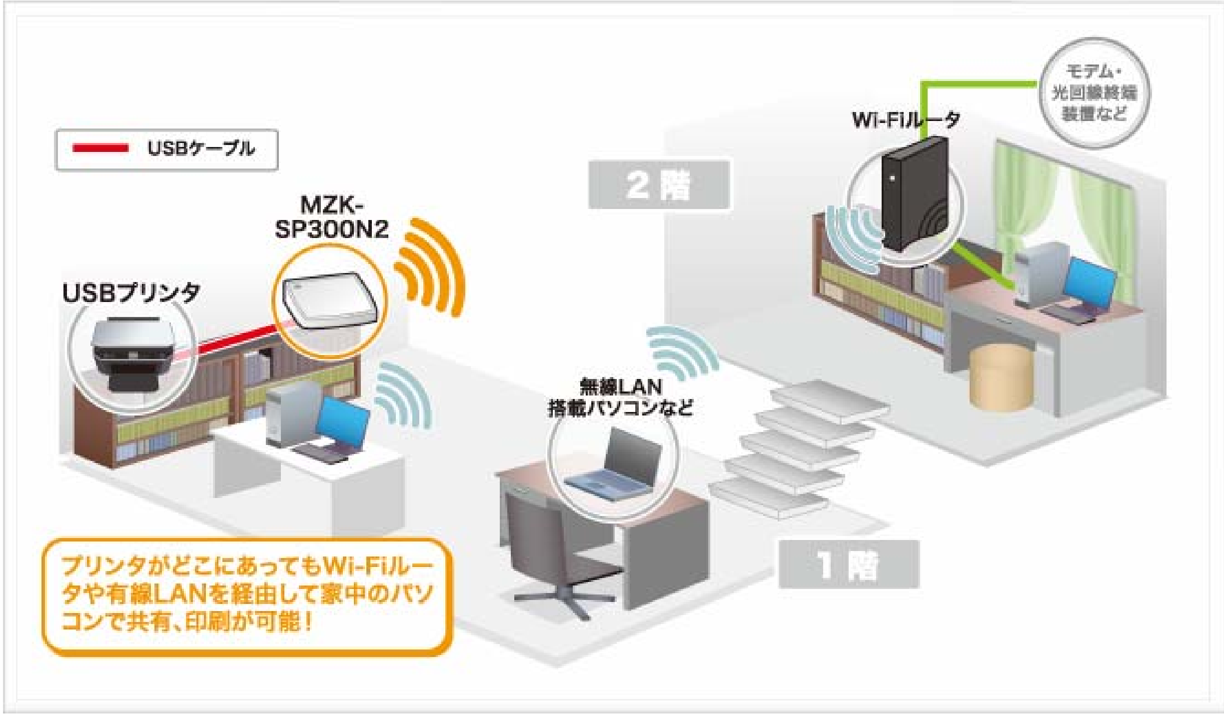
2.1 本製品の特長

✧ **家中のネットワーク機器でプリンタをワイヤレスに共有**

パソコンが複数台ある環境で 1 台のプリンタを共有できるので、プリンタがどこにあってもネットワークを経由して印刷することができます。各種メーカーの USB 対応プリンタや複合機に対応。既存のプリンタを有効活用することができます。

双方向通信にも対応しているのでプリンタ付属のユーティリティがそのまま利用可能。インク残量や用紙切れの情報をリアルタイムに確認することができます。

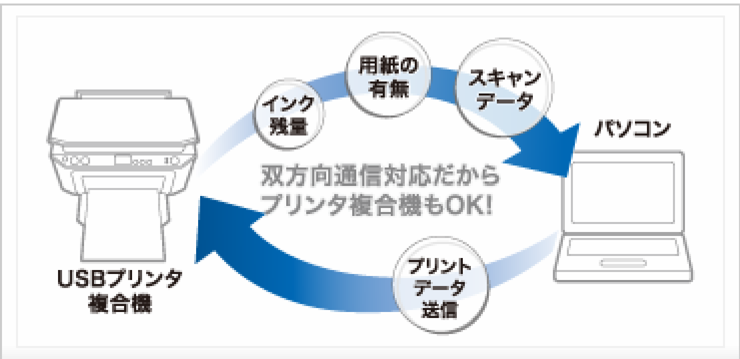
また、Wi-Fi 接続に対応しているので設置場所を選びません。



✧ **双方向通信対応で、プリンタ付属のユーティリティに対応！**

双方向通信に対応することで、プリンタに付属のユーティリティが利用でき、インク残量や用紙切れなどの情報をリアルタイムに確認できます。

※プリンタとの双方向通信は、ユーティリティをインストールした Windows 7/Vista/XP のみサポートします。

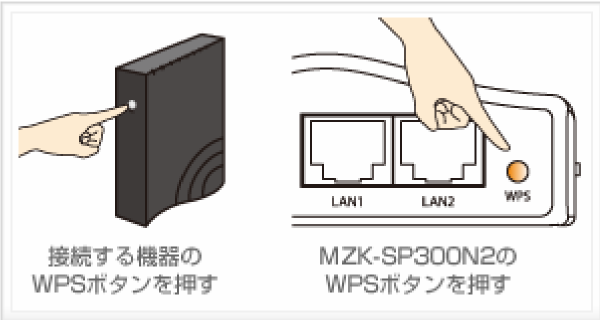


✧ **WPS ボタン搭載で簡単ワイヤレス接続**

本体に WPS ボタンを搭載し、WPS 対応機器との接続設定をワンタッチで行うことができます。初めて無線 LAN の設定をする方でも簡単に接続することができます。

※接続する機器の双方が WPS に対応している必要があります。

※接続する機器によって WPS ボタンの有無や設定方法が異なります。



✧ **洗練されたデザイン　＜Designed by MID MILANO Design＞**

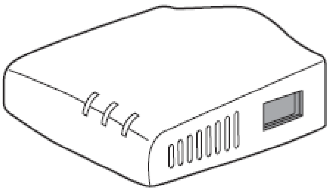
イタリアのデザイナーが手がけたボディーは、柔らかいフォルムと光沢のあるカラーで高級感が漂う洗練されたデザイン。リビングやデジタル家電の近くにおいても部屋全体の美観を損ないません。

ITALIAN DESIGN BY MID MILANO

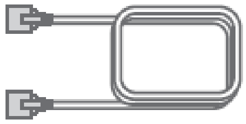
2.2 同梱物

パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

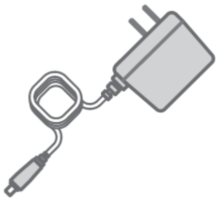
☐ MZK-SP300N2（本製品）



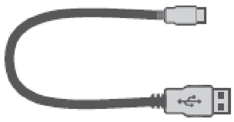
☐ LAN ケーブル



☐ AC アダプタ



☐ USB 電源ケーブル

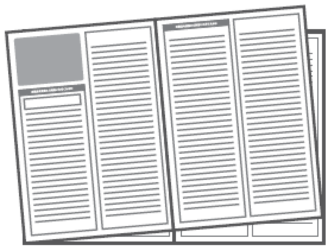


（FFP-PKP03 には含まれません）

☐ CD-ROM



☐ スタートガイド



☐ 安全に関する説明書／保証書

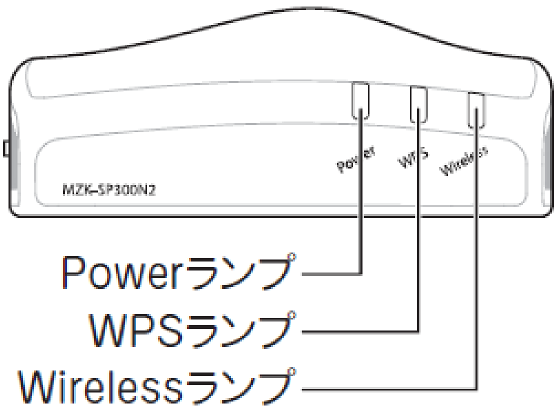


※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

2.3 各部の名称とはたらき

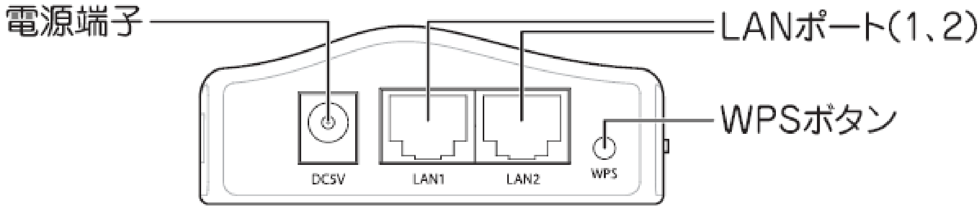
本製品各部の名称について説明します。

本製品前面



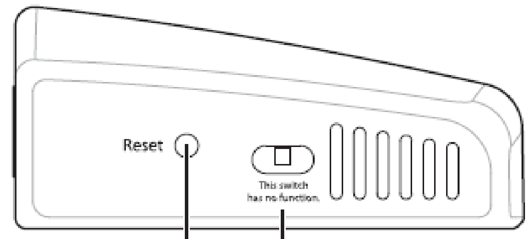
名称	色	機能説明	
Power ランプ	緑	点灯	本製品の電源がオンの状態です。
		点滅	初期化を実行している状態です。
		消灯	本製品の電源がオフの状態です。
WPS ランプ	緑	点滅	WPS 接続を試みている状態です。
		消灯	WPS 接続が無効の状態です。
Wireless ランプ	緑	点滅	無線 LAN でデータを送受信している状態です。
		消灯	有線 LAN が有効の状態です。 （無線 LAN 機能が無効です。）

本製品背面



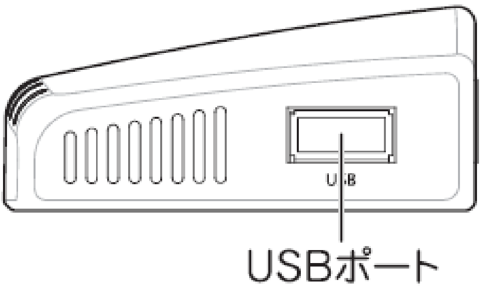
名称	機能説明
電源端子	付属の AC アダプタを接続します。
LAN 1 ポート	ご使用のローカルエリアネットワークと接続します。
LAN 2 ポート	
WPS ボタン	WPS ボタンを 3 秒以上押して離すと、WPS(無線 LAN 簡単設定機能)接続が有効になります。 ※　操作方法は、「スタートガイド」→「STEP 2」→「WPS 編」を参照してください。

本製品左側面



名称	機能説明
リセットボタン	本製品の設定情報を工場出荷時の状態に戻します。 （操作方法） 1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。 2. 本製品背面のリセットボタンを 3 秒以上長押しします。 3. 本製品前面の「Power」ランプが点滅したら、リセットボタンから手を離します。 4. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。
モード切替スイッチ	本製品では使用できません。

本製品右側面



名称	機能説明
USB ポート	プリンタの USB ケーブルを接続します。

2.4 工場出荷時の設定値

本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

名称	設定値
ユーザ名（ログイン ID）	admin
パスワード	password
IP アドレス	192.168.1.252 ※ルータに接続したときは、「XXX.XXX.XXX.252」の「XXX」が、お使いの環境に更新されます。

2.5 設定するための注意事項

● あらかじめルータを使用したネットワーク環境があることを確認してください。

● 本製品の設定を行う前に、プリンタのドライバをパソコンにインストールしてください。
インストール方法は、プリンタの取扱説明書を参照してください。
（すでにドライバのインストールが済んでいるときは、必要ありません。）

第 3 章:本製品の設定(単方向通信)

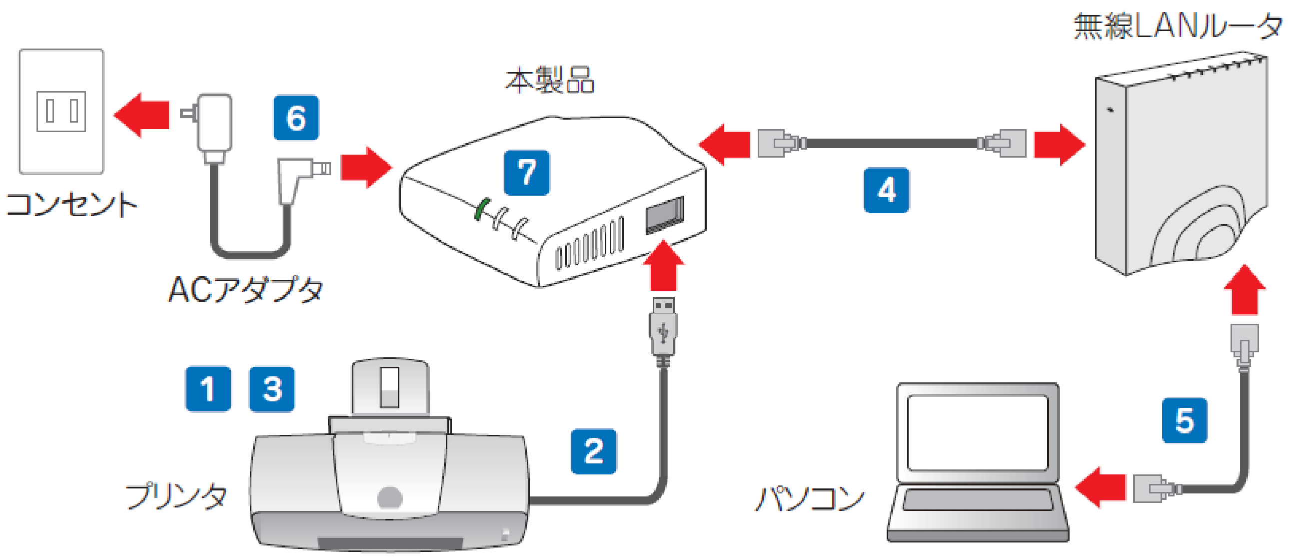
本章では、**単方向通信**での接続方法、設定方法を説明しています。

本製品を**双方向通信**で接続・設定するときは、別紙「スタートガイド」を参照してください。

3.1　本製品の接続

以下の手順にしたがって各機器を接続してください。

1. プリンタの電源を切ります。
2. プリンタの USB ケーブルを、本製品右側面の USB ポートに接続します。
3. プリンタの電源を入れます。
4. 本製品背面の LAN ポートと、電源の入ったネットワーク機器(無線 LAN ルータやスイッチングハブなど)の LAN ポートを、付属の LAN ケーブルで接続します。
5. 使用中のパソコンの LAN ポートと、電源の入ったネットワーク機器(無線 LAN ルータやスイッチングハブなど)の LAN ポートを、LAN ケーブルで接続します。
6. 本製品背面の電源端子とコンセントを、付属の AC アダプタで接続します。
(本製品の電源がオンになります。)
7. 本製品の「Power」ランプが点灯していることを確認します。
※本製品が完全に起動するまで、約 2 分かかります。



3.2 本製品の IP アドレスを確認する

ご使用のルータから割り当てられた本製品の IP アドレスを確認します。

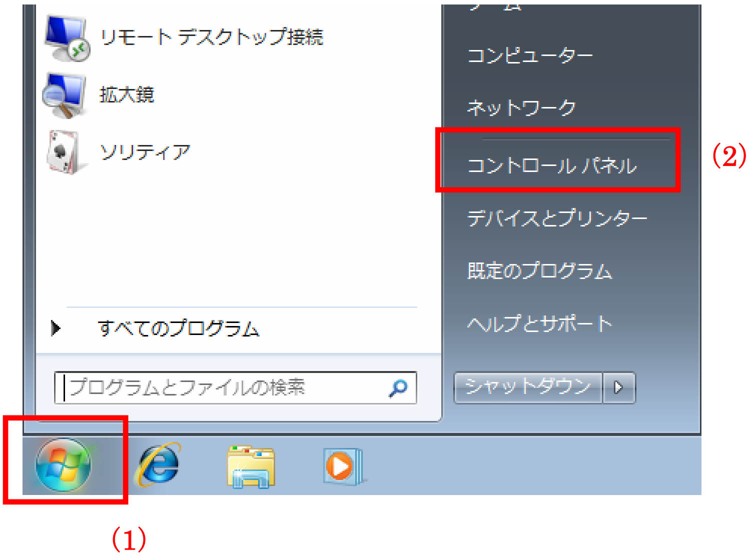
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7/ Vistaのとき………………………… 「3.2.1　Windows 7／Vista」(P. 26)
- Windows XPのとき……………………………… 「3.2.2　Windows XP」(P. 29)
- Mac OS Xのとき………………………………… 「3.2.3　Mac OS X」(P. 33)

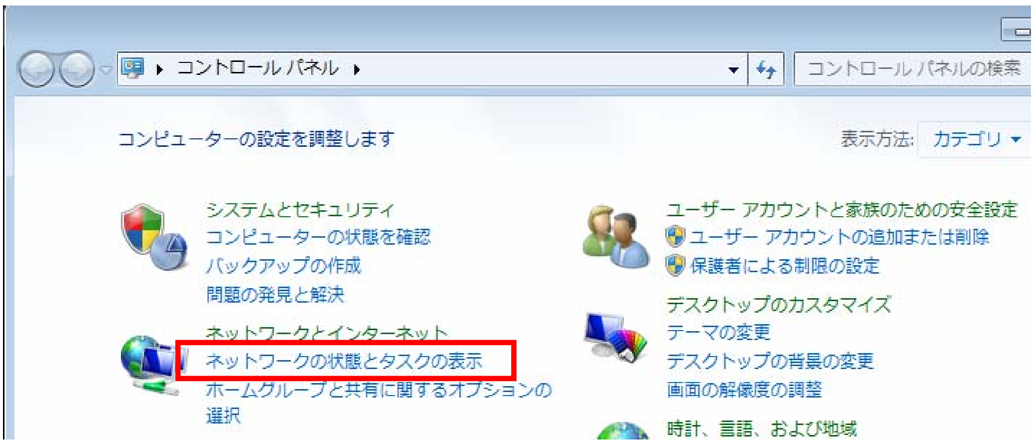
3.2.1 Windows 7／Vista

※手順では Windows 7 で説明していますが、Windows Vista も同じ手順となります。

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



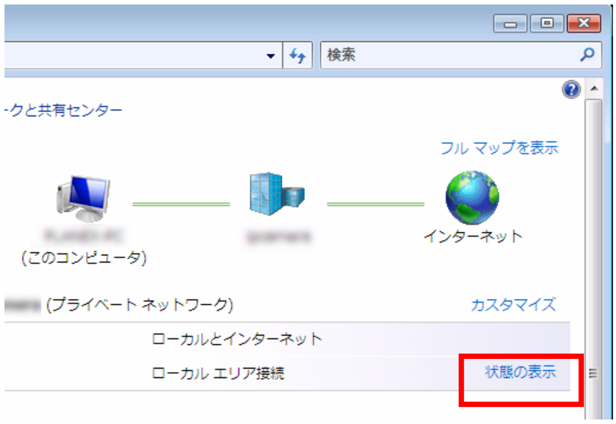
※Windows 7 でアイコン表示の場合や、Windows Vista でクラシック表示画面の場合は、
「ネットワークと共有センター」をダブルクリックします。

3. Windows 7 のとき



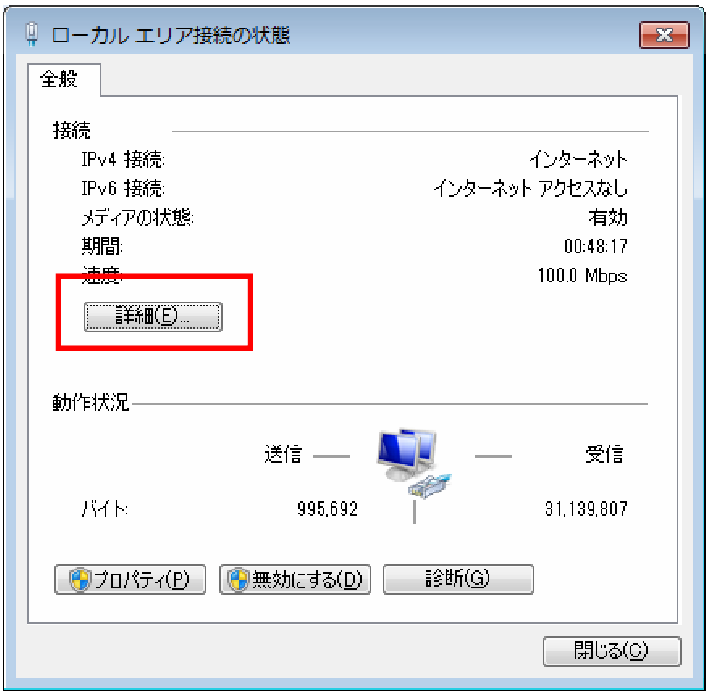
「ローカルエリア接続」をクリックします。

Windows Vista のとき



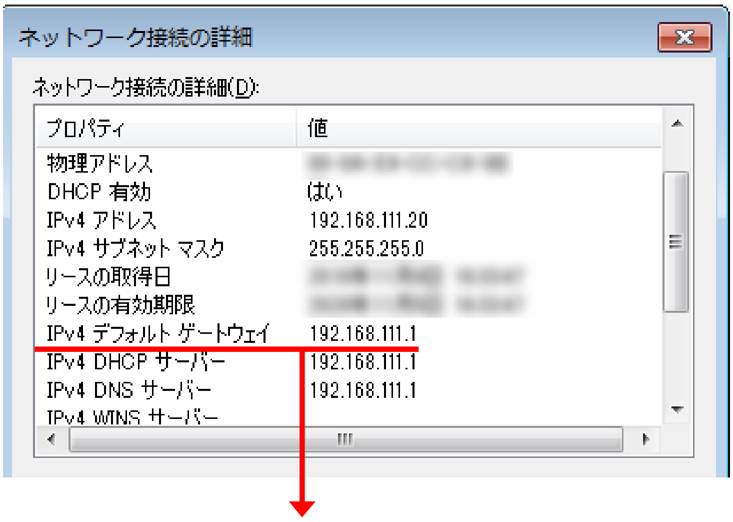
「状態の表示」をクリックします。

4. 「詳細」をクリックします。



5. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。

※「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」がルータの IP アドレスです。

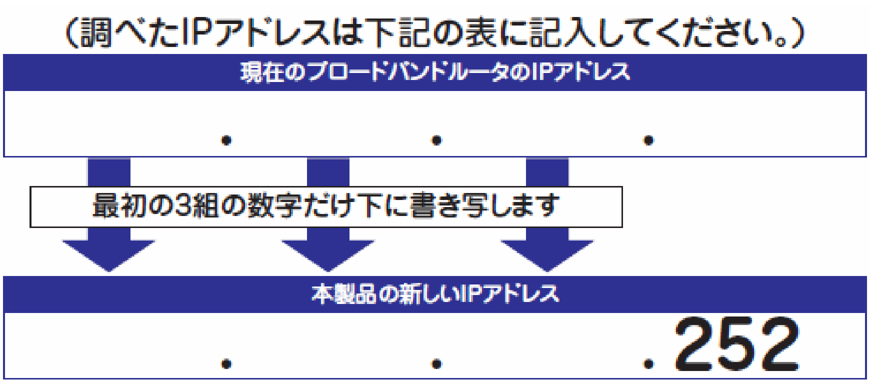


→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、「192.168.111.252」とメモに取ります。

＜ポイント＞

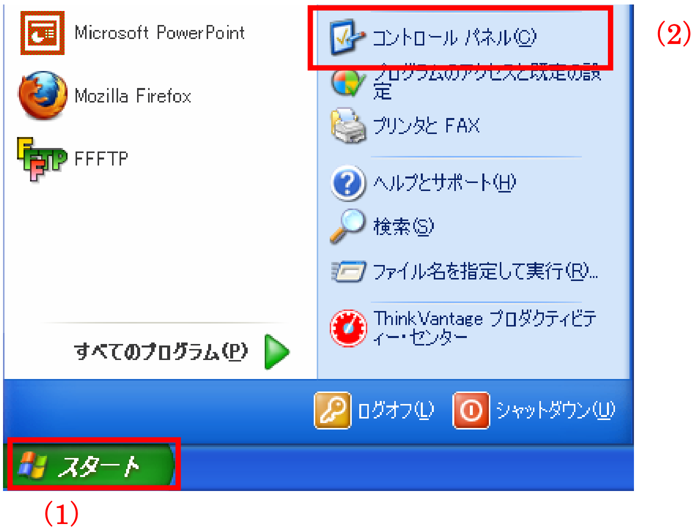
本製品はお使いのルータより自動取得し、「XXX.XXX.XXX.252」の「XXX」がお使いの環境に更新されます。例えば、「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.252」と更新されます。

以下の表を参考に書き写してください。

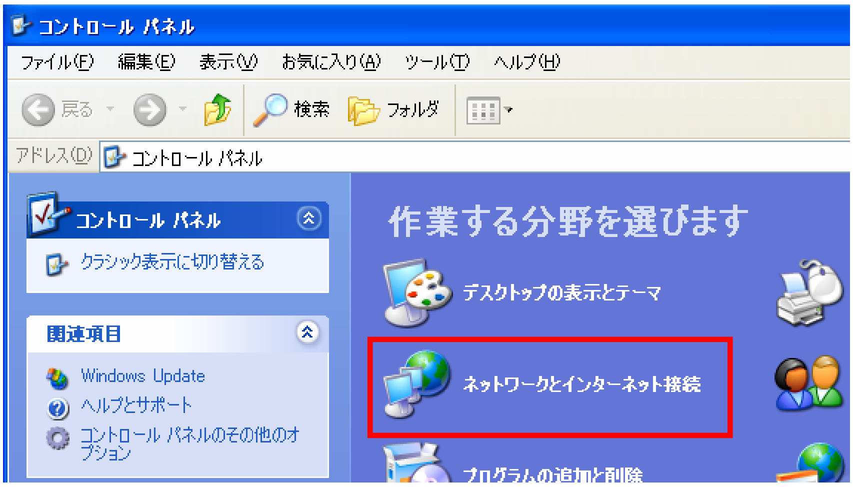


3.2.2 Windows XP

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。

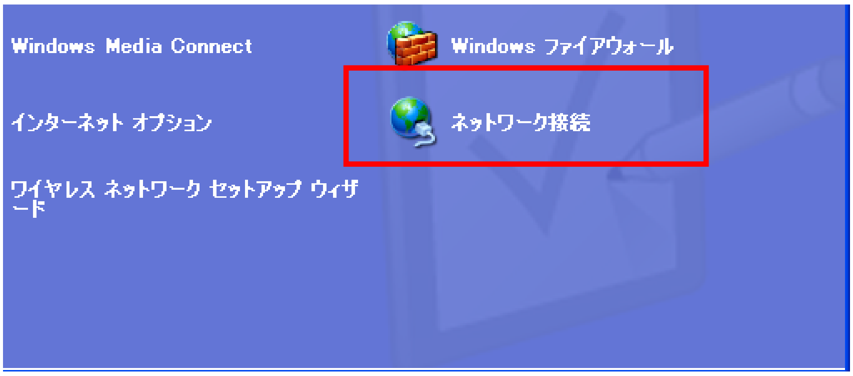


2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

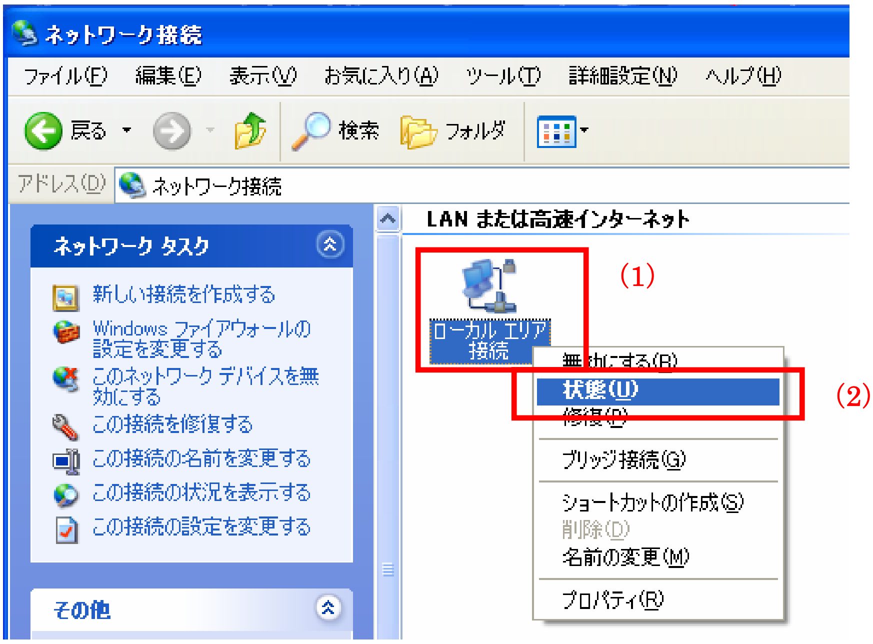


※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3.　「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



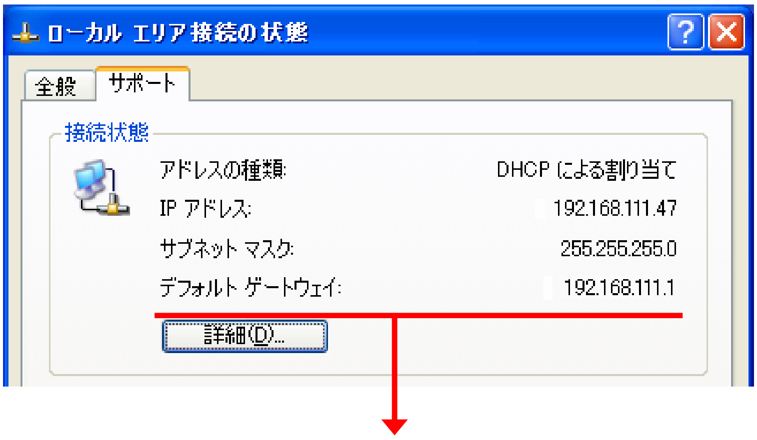
4.　(1)「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。
(2)「状態」をクリックします。



5. 「サポート」タブをクリックします。



6. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、
以下のようにメモを取ります。

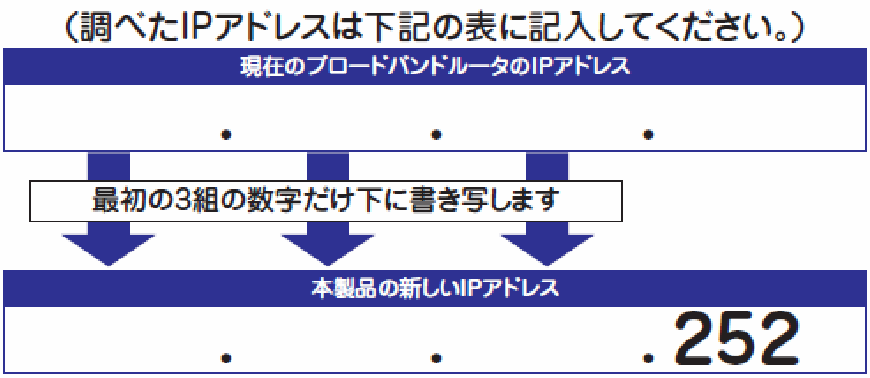


→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、
「192.168.111.252」とメモに取ります。

＜ポイント＞

本製品はお使いのルータより自動取得し、「XXX.XXX.XXX.252」の「XXX」がお使いの環境に更新されます。
例えば、「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.252」と更新されます。

以下の表を参考に書き写してください。



3.2.3 Mac OS X

ご注意

- 表示される画面は Mac OS のバージョンによって異なります。
- 以下の手順では、Mac OS X(10.5)の画面で説明しています。

1. (1)「アップルメニュー」をクリックします。
   (2)「システム環境設定」をクリックします。

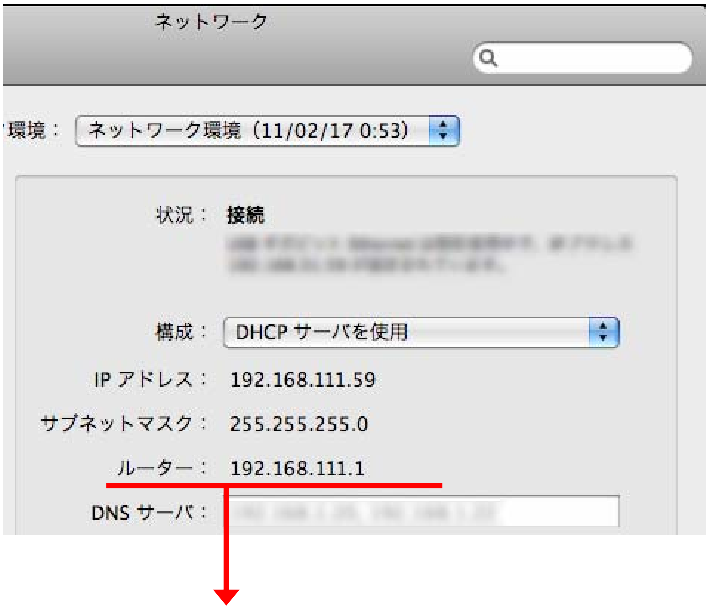


2. 「ネットワーク」をクリックします。



3. 画面左の「Ethernet...」をクリックします。
   ※Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「(内蔵)Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。

4. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「ルータ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。

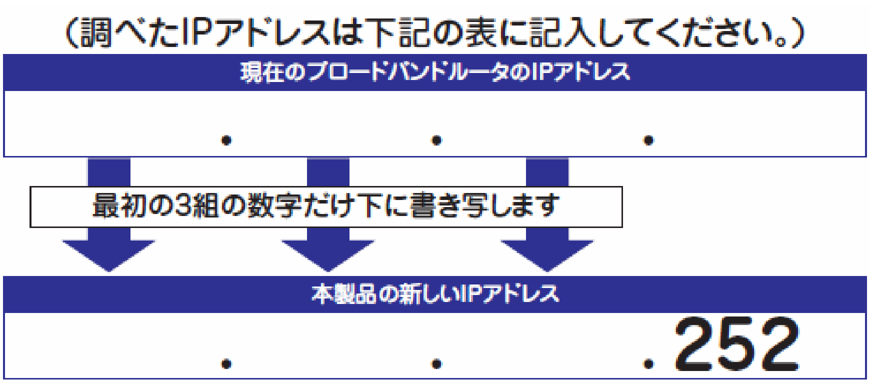


→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、
「192.168.111.252」とメモに取ります。

＜ポイント＞

本製品はお使いのルータより自動取得し、「XXX.XXX.XXX.252」の「XXX」がお使いの環境に更新されます。
例えば、「192.168.3.1」のときは、「192.168.3.252」と更新されます。

以下の表を参考に書き写してください。



3.3 無線 LAN 情報を確認する

接続先の無線 LAN ルータ(または無線 LAN アクセスポイント)の無線 LAN 設定内容を確かめて、以下の表に記入してください。

※本製品を無線 LAN で接続せずに、有線で接続し使用するときは、ここでの確認は必要ありません。
そのまま「3.4 設定画面を表示する」に進んでください。

(イ)	SSID(接続名)	
(ロ)	認証タイプ	□ WEP　□ WPA-PSK　□ WPA2-PSK
(ハ)	キーの長さ	□ 64-bit　□ 128-bit　※表の(ロ)が「WEP」のとき
(ニ)	暗号化	□ TKIP　□ AES　※表の(ロ)が「WEP」以外のとき
(ホ)	キーフォーマット	□ 16 進数(Hex)　□ 文字列(ASCII/パスフレーズ)
(ヘ)	デフォルトキー	□ キー1　□ キー2　□ キー3　□ キー4 ※表の(ロ)が「WEP」のとき
(ト)	暗号化キー	

※無線 LAN 設定内容を確認する方法は、無線 LAN ルータ(または無線 LAN アクセスポイント)の取扱説明書を参照してください。
※ここで確認した情報は「3.5.3 無線LAN設定」(P. 41)で使用します。
※本製品は WPA2-PSK(TKIP)には対応しておりません。お客様の無線アクセスポイント(または無線ルータ)に WPA2-PSK(TKIP)が設定されているときは、WEP、WPA-PSK または WPA2-PSK(AES)に設定を変えてください。

3.4 設定画面を表示する

1. WEB ブラウザを起動します。

2. アドレス欄に「3.2 本製品のIPアドレスを確認する」(P. 25)で確認した本製品のIPアドレスを入力し、<Enter>を押します。



※左記の画面はサンプルです。



※左記の画面はサンプルです。

※ 入力する IP アドレスは実際に割り当てられた値を入力してください。

※ お使いの環境により、WEB ブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。

3. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

(1)ユーザ名:半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力

(2)パスワード:半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュ・オー・アール・ディー)を入力

(3)[OK]をクリックします。



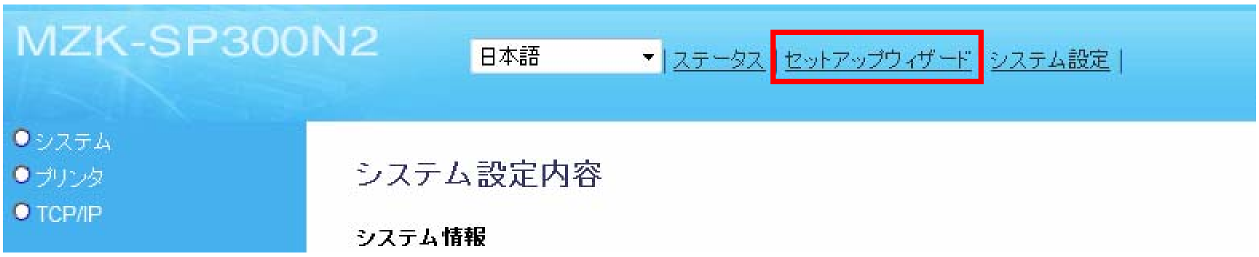
4.　本製品の WEB 設定画面のトップページが表示されます。



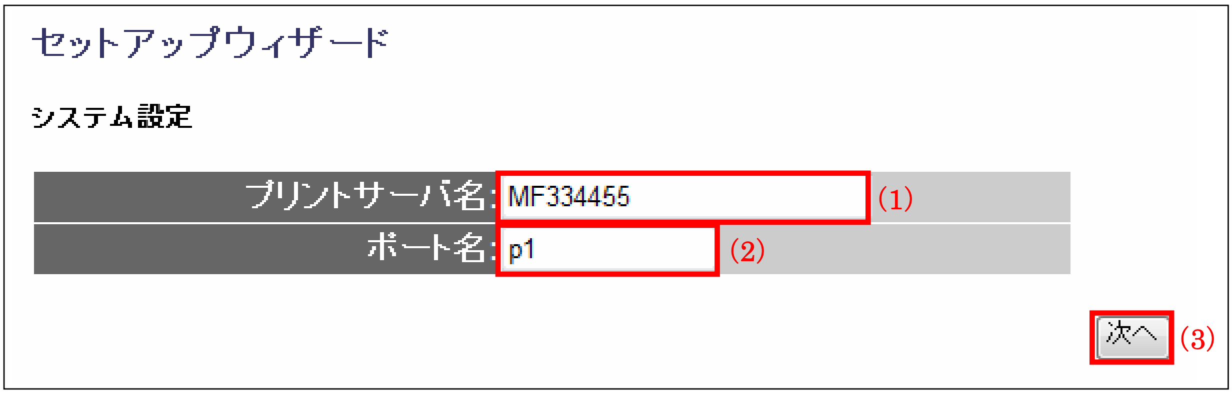
3.5 セットアップウィザードから設定する

ここでは、セットアップウィザードを使って、本製品の初期設定する方法を説明します。

1. 「セットアップウィザード」をクリックします。



2. システム設定をします。



(1)「プリントサーバ名」を半角英数字で入力します。

(2)「ポート名」を任意に入力します。

※初期値は「p1」です。

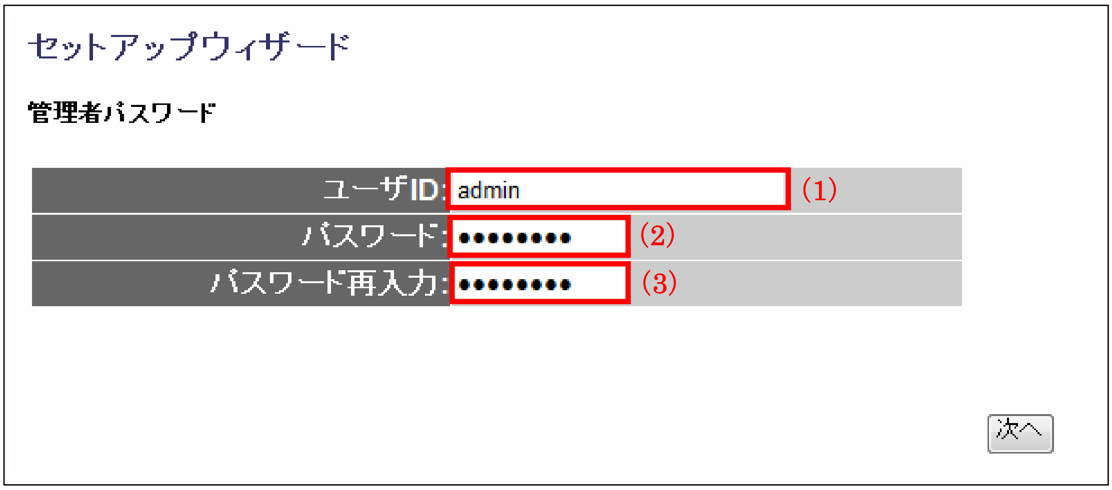
※初期値のままでお使いになるときは、設定する必要はありません。

(3)［次へ］をクリックします。

3.5.1 管理者パスワードの設定

ここでは、管理者パスワードの設定をします。

※ 初期値のままでお使いになるときは、[次へ]をクリックして、次の設定画面にお進みください。



(1)ユーザ名を入力します。

　※初期値は「admin」です。

(2)新しいパスワードを入力します。

　※初期値は「password」です。

(3)確認のため、手順(2)と同じパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。



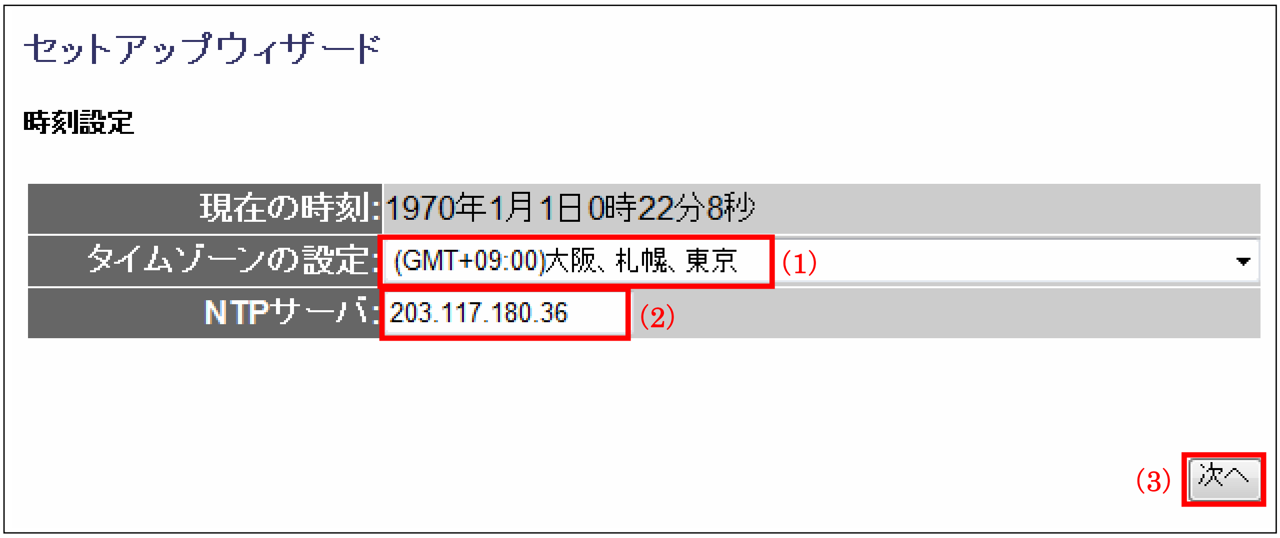
(4)ログイン画面が表示されますので、上記で設定した「ユーザ名」、「パスワード」を入力します。

(5)[OK]をクリックします。

3.5.2 時刻設定

ここでは、時刻設定をします。

※　初期値のままでお使いになるときは、[次へ]をクリックしてして、次の設定画面にお進みください。



(1)タイムゾーンを選びます。

※初期値は「(GMT＋09：00)大阪、札幌、東京」です。

(2)NTP サーバを設定します。

※IP アドレスやドメイン名で NTP サーバを指定することができます。

※初期値は「203.117.180.36」です。

(3)[次へ]をクリックします。

3.5.3 無線 LAN 設定

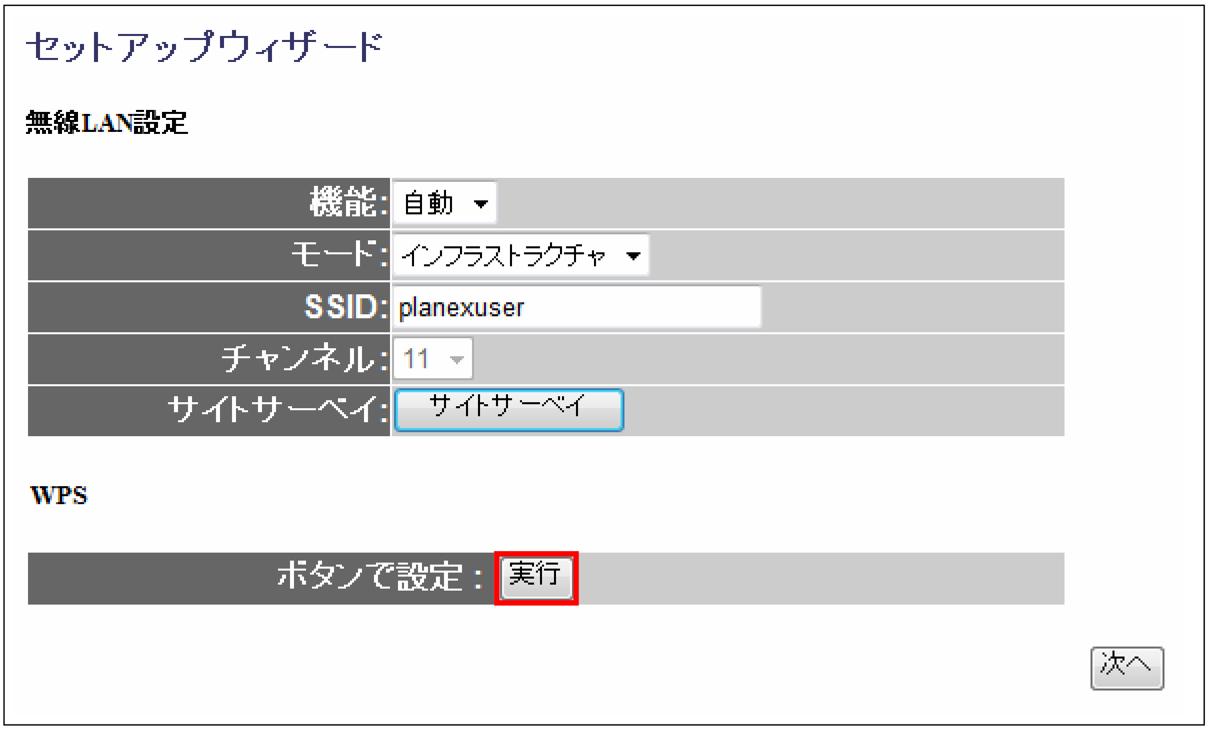
ここでは、無線 LAN 設定をします。

- 設定画面からWPSにて設定するときは、**【WPS】**(P. 42)をご参照ください。

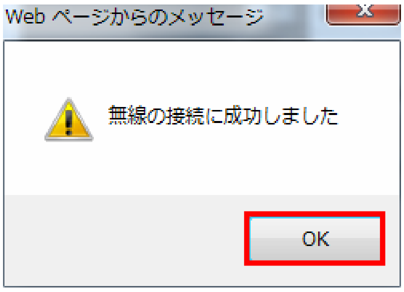
- サイトサーベイにて設定するときは、**【サイトサーベイ】**(P. 43)をご参照ください。

【WPS】

1. ［実行］をクリックします。

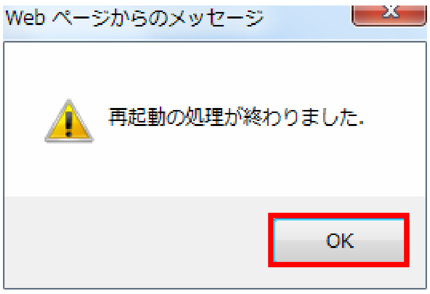


2. ［OK］をクリックします。



※再起動が終わるまでしばらく待ちます。

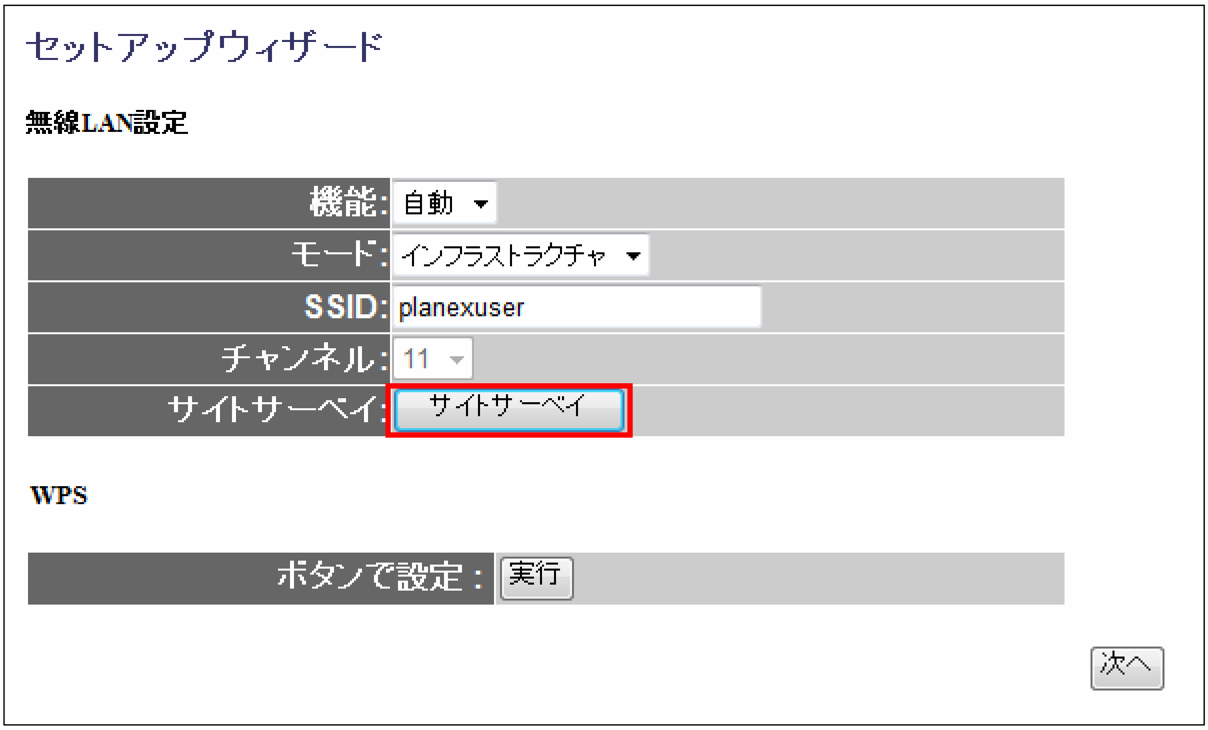
3. ［OK］をクリックします。



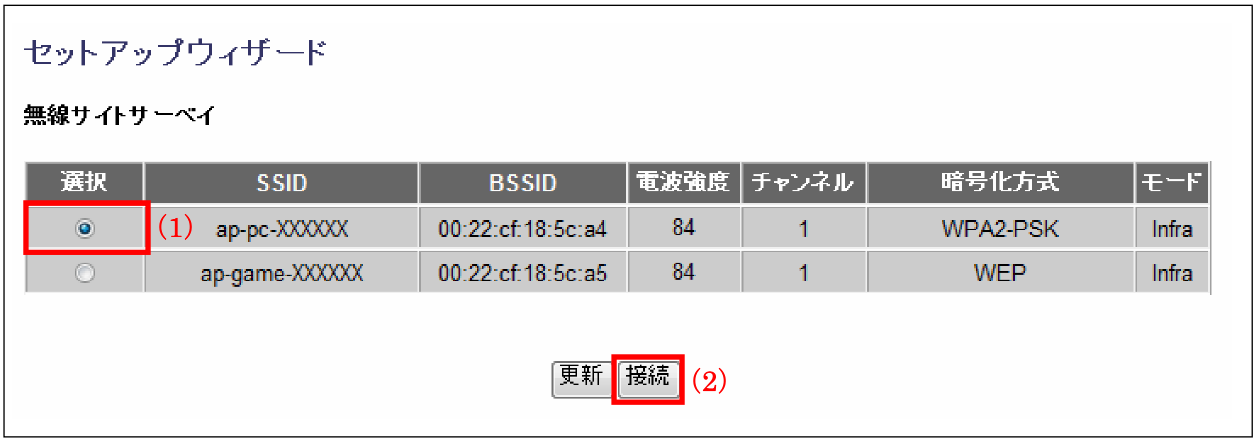
以上でセットアップウィザードからの設定は完了です。

【サイトサーベイ】

1.　[サイトサーベイ]をクリックします。



2.　設定します。



「3.3　無線LAN情報を確認する」(P. 35)で記入した表を参照し、設定を行います。

(1)表(イ)と同じ「SSID」(接続名)を選びます。

　※ここでは例として、「ap-pc-XXXXXX」を選択しています。

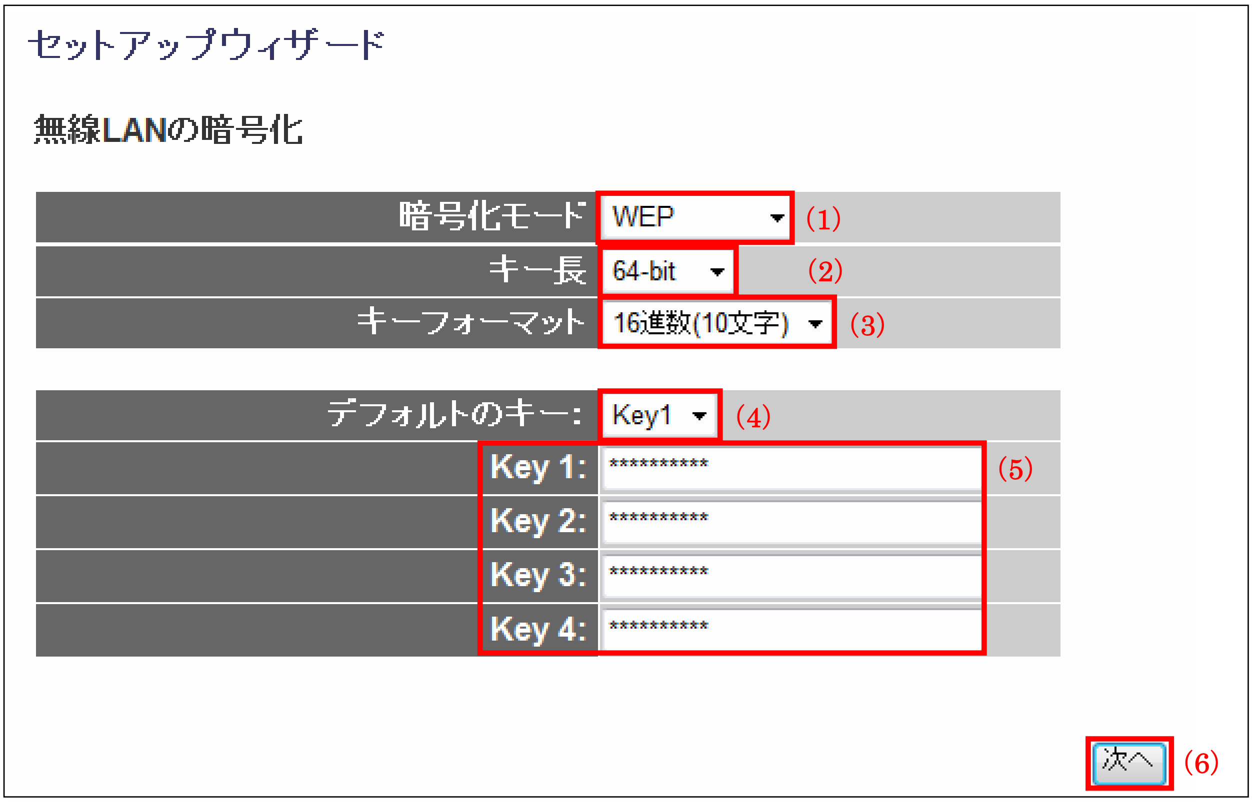
(2)[接続]をクリックします。

注意
- ・SSID(接続名)が表示されないときは、[更新]をクリックして再検索してください。
- ・上記を行っても SSID(接続名)が表示されないときは、無線 LAN ルータの電源が入っているか、または調べた SSID(接続名)に誤りがないか確認してください。
- ・無線 LAN ルータ側の設定で、SSID(接続名)の通知を無効(ステルスまたは ANY 接続拒否)にしているときは、「SSID」欄に調べた SSID(接続名)を直接入力してください。
- ・上記の画面がエラーで表示されるときは、ログインし直してください。

3.　無線 LAN の暗号化を設定します。

- ➢ 「WEP」を選択するときの設定は、**【WEPのとき】**(P. 45)をご参照ください。
- ➢ 「WPA/WPA2」を選択するときの設定は、**【WPA/WPA2 のとき】**(P. 46)をご参照ください。

【WEP のとき】



「3.3　無線LAN情報を確認する」(P. 35)で記入した表を参照し、設定を行います。

(1)表(ロ)と同じ認証タイプであることを確認します。

(2)表(ハ)と同じキーの長さを選びます。

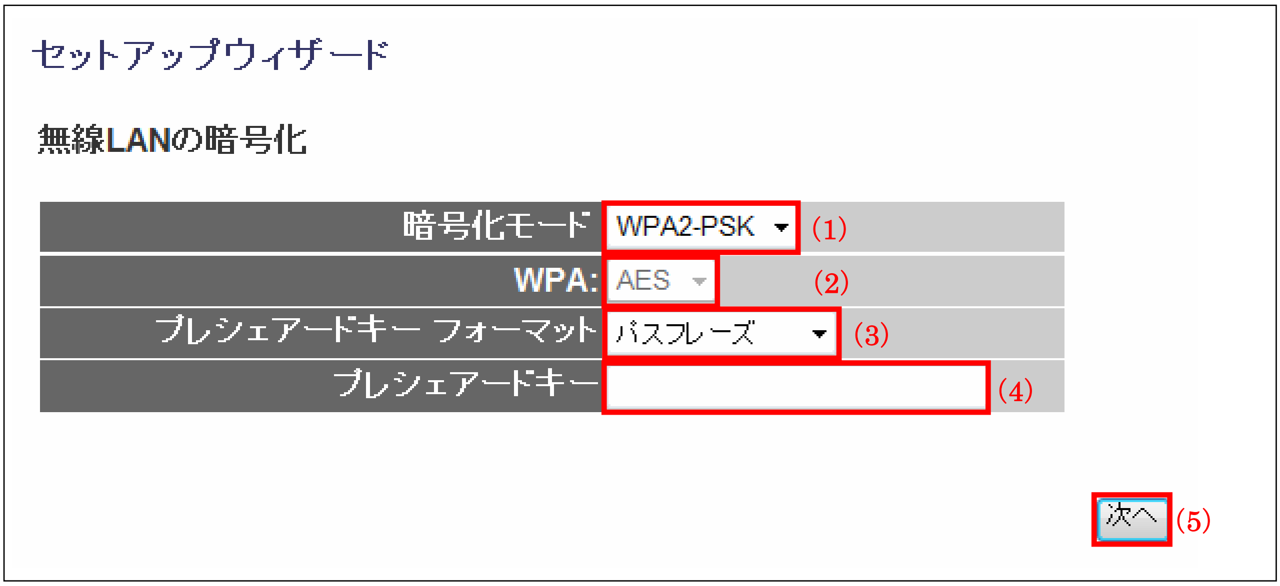
(3)表(ホ)と同じキーフォーマットを選びます。

(4)表(ヘ)と同じデフォルトキーを選びます。

(5)表(ヘ)で選んだキー番号の欄に、表(ト)の暗号キーを入力します。

(6)[次へ]をクリックします。

【WPA/WPA2 のとき】



「3.3　無線LAN情報を確認する」(P. 35)で記入した表を参照し、設定を行います。

(1)表(ロ)と同じ認証タイプであることを確認します。

(2)表(ニ)と同じ暗号化を選びます。

(3)表(ホ)と同じキーフォーマットであることを確認します。

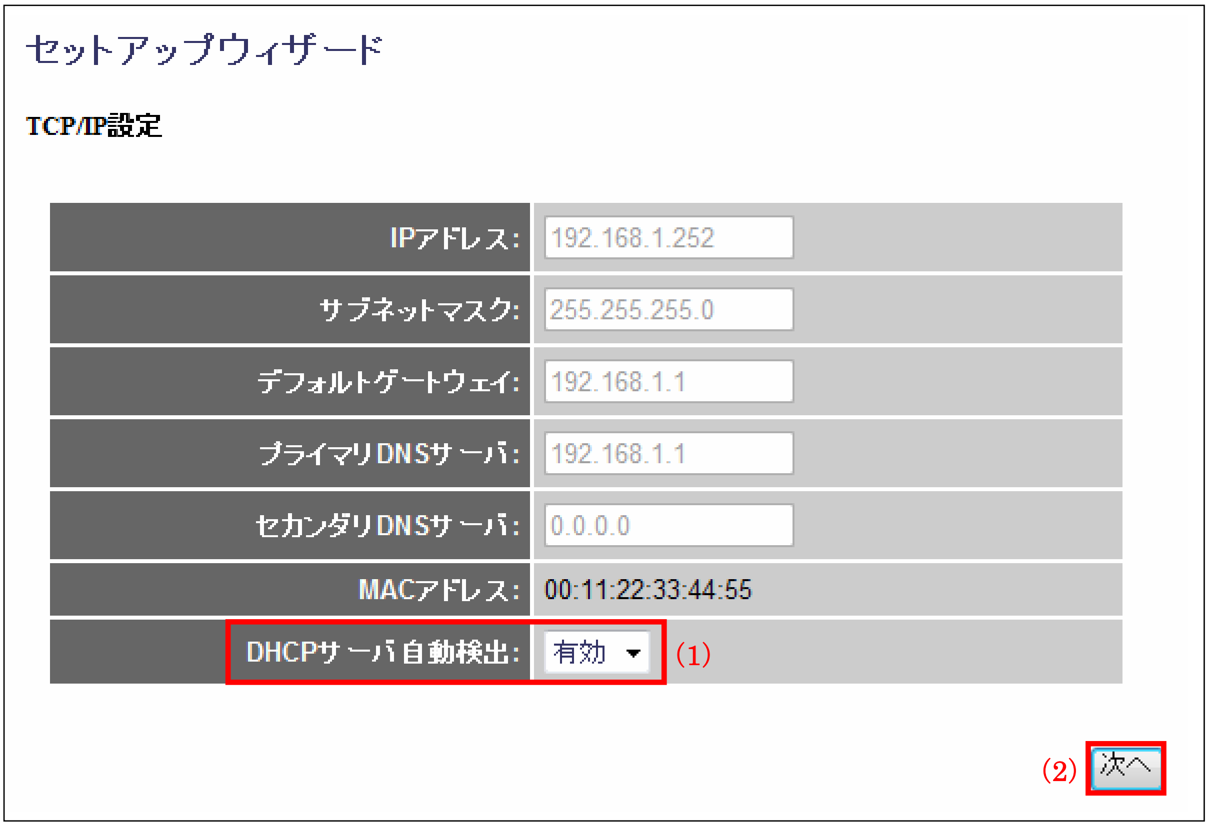
(4)表(ト)の暗号キーを入力します。

(5)[次へ]をクリックします。

3.5.4 IP アドレスの設定

ここでは、IP アドレスの設定をします。

(1)「DHCP サーバ自動検出」が「有効」であることを確認します。
(2)[次へ]をクリックします。
※IPアドレスを手動で設定するときは、「4.1.1 IPアドレスの手動設定」(P. 93)をご参照ください。



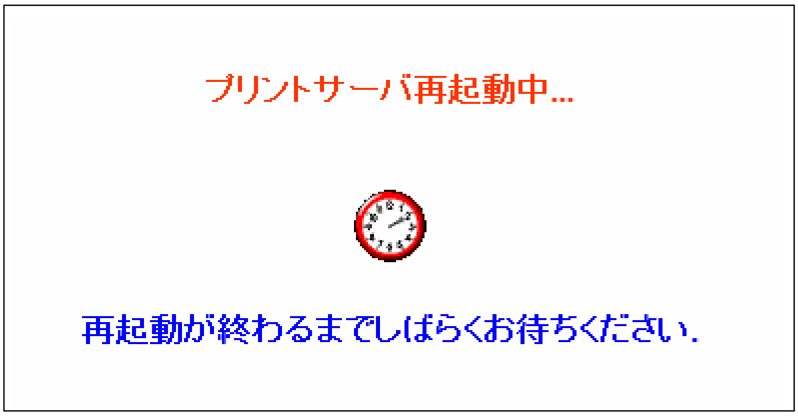
3.5.5 保存/再起動

ここでは、設定内容を保存して本製品を再起動します。

（1）[保存/再起動]をクリックします。

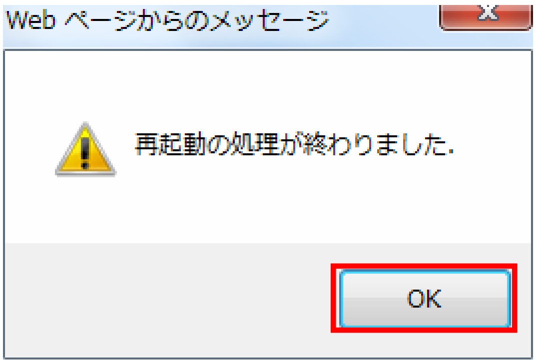


▼



※再起動が終わるまでしばらく待ちます。

（2）[OK]をクリックします。



以上でセットアップウィザードからの設定は完了です。

3.6 プリンターポートを設定する

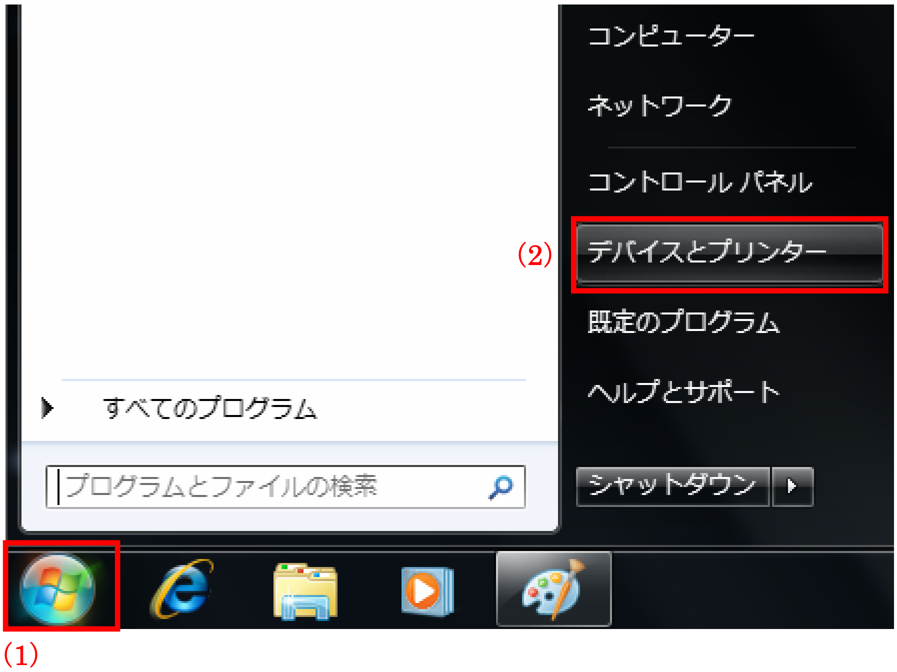
ここでは、プリンターポートを設定する方法を説明します。

ご注意

- **設定を始める前に、お使いのプリンタのドライバをインストールしてください。（すでにドライバのインストールが済んでいるときは必要ありません）**

3.6.1 Windows 7

1. （1）「スタートボタン」をクリックします。
   （2）「デバイスとプリンター」をクリックします。

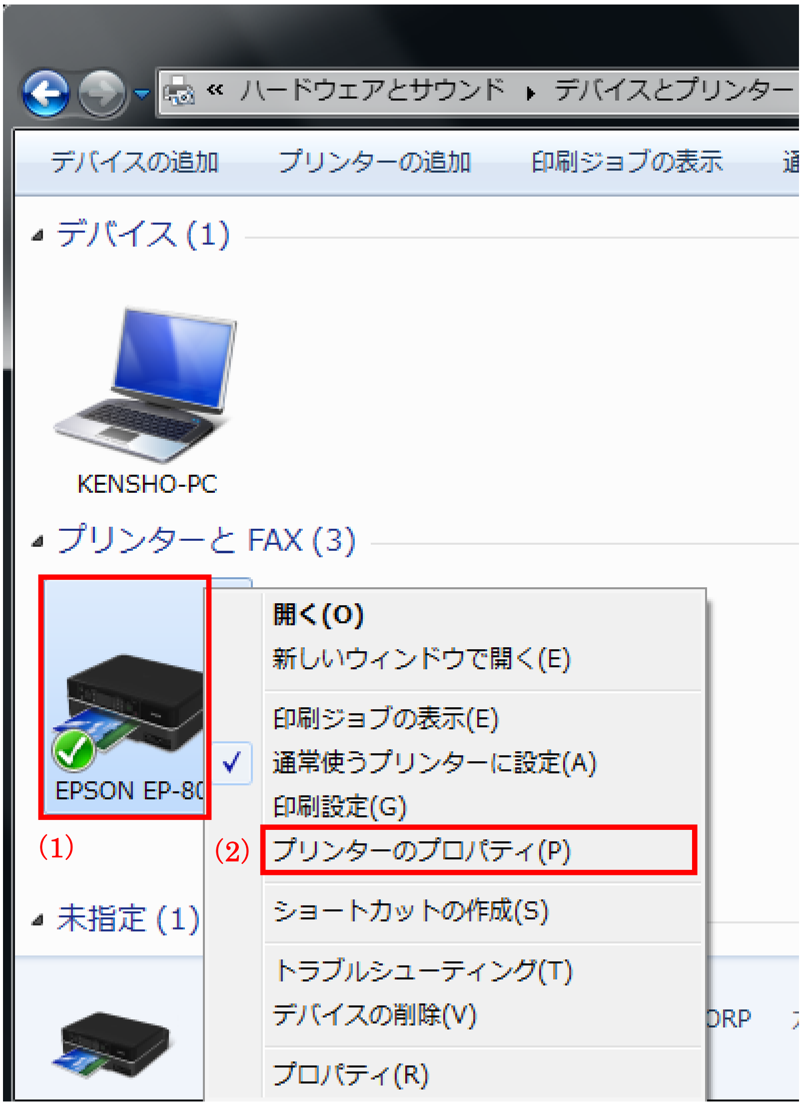


▼

「デバイスとプリンター」が表示されます。

2.　(1)使用するプリンターのアイコンを右クリックします。

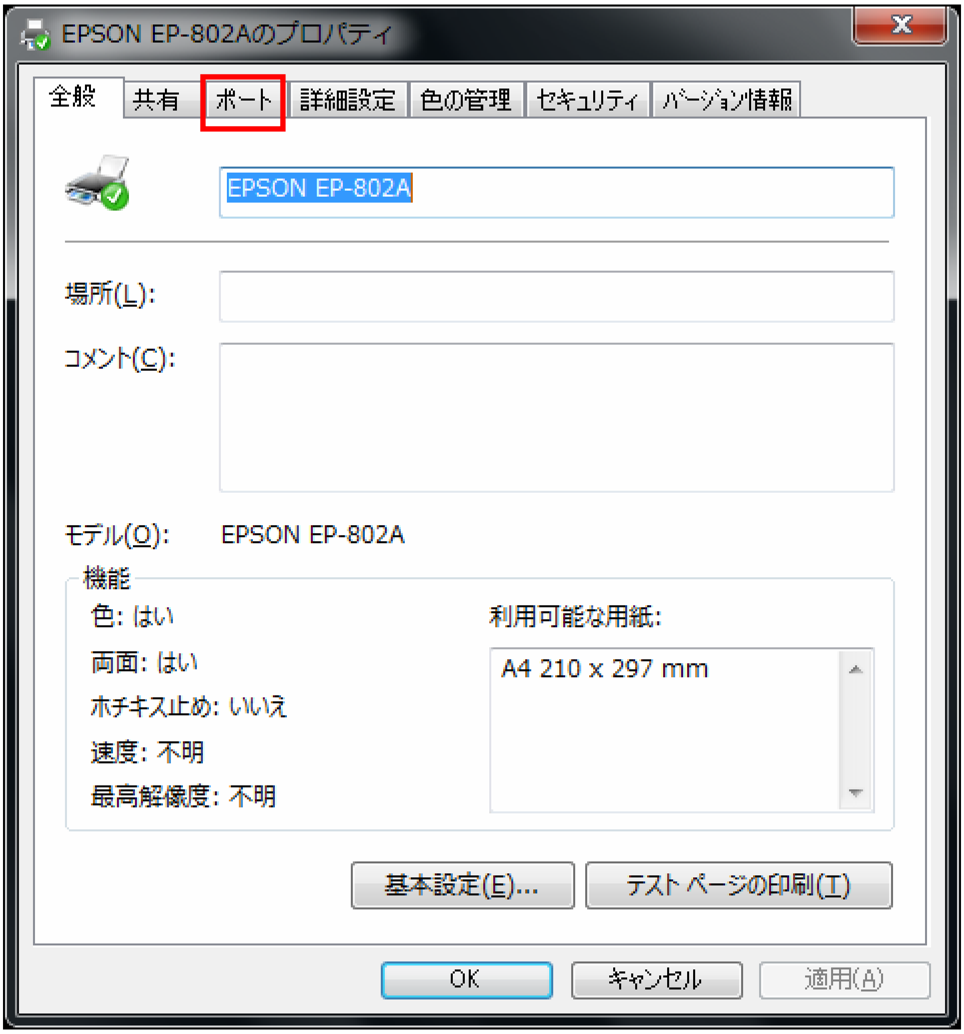
(2)「プリンターのプロパティ」をクリックします。



▼

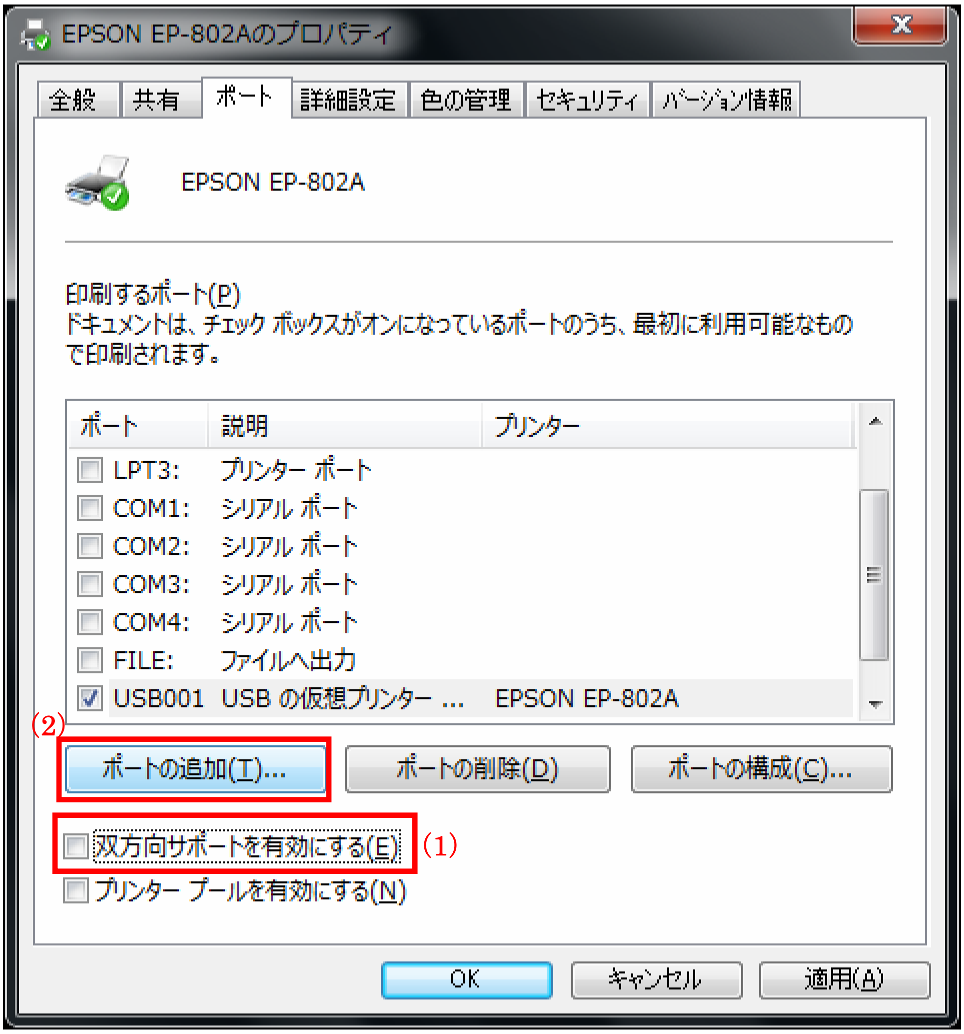
プリンターのプロパティが表示されます。

3.　「ポート」タブをクリックします。



4.　(1)「双方向サポートを有効にする」のチェックをオフにします。

(2)「ポートの追加」をクリックします。

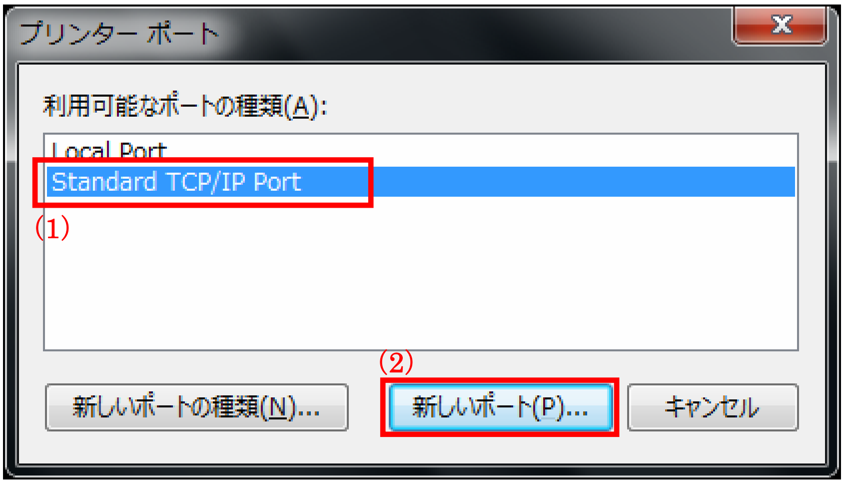


▼

「プリンターポート」が表示されます。

5.　(1)「Standard TCP/IP Port」を選びます。

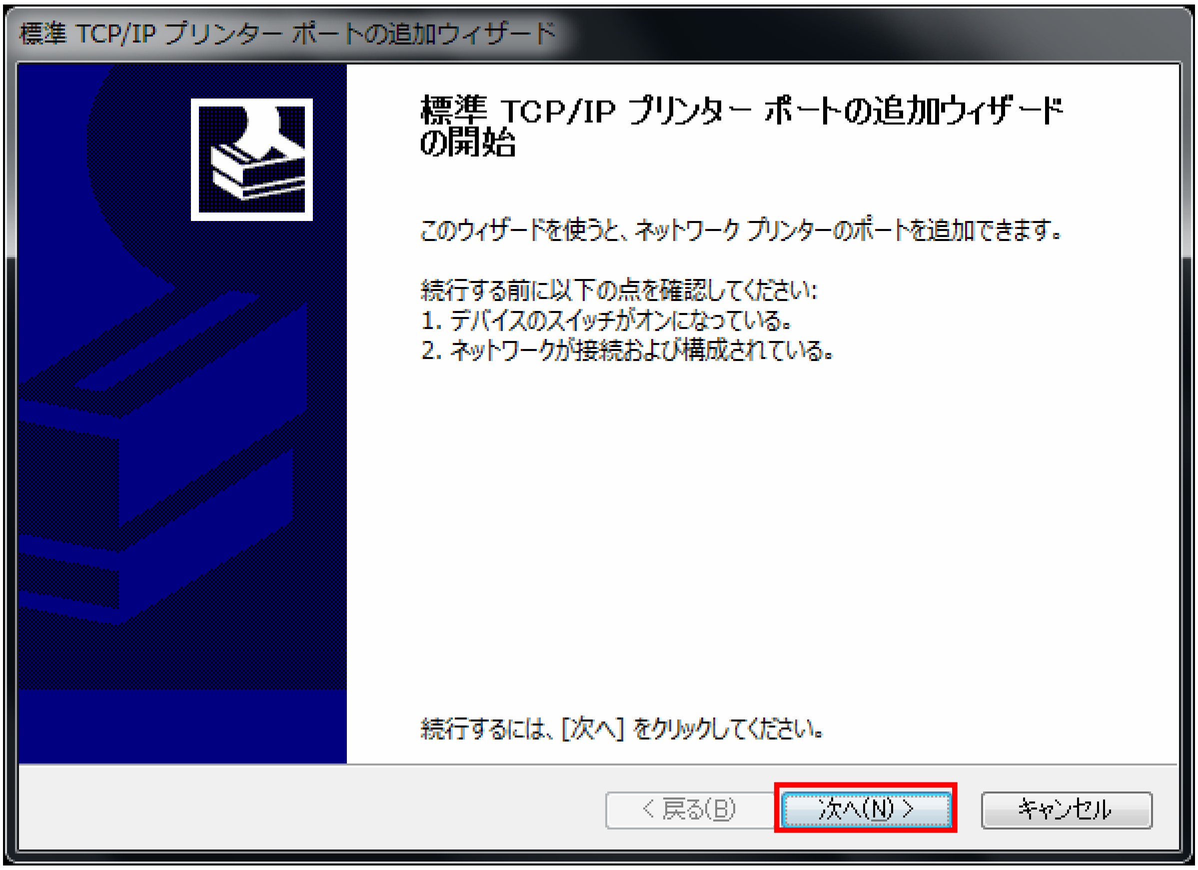
(2)[新しいポート]をクリックします。



▼

「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードの開始」が表示されます。

6.　「次へ」をクリックします。



▼

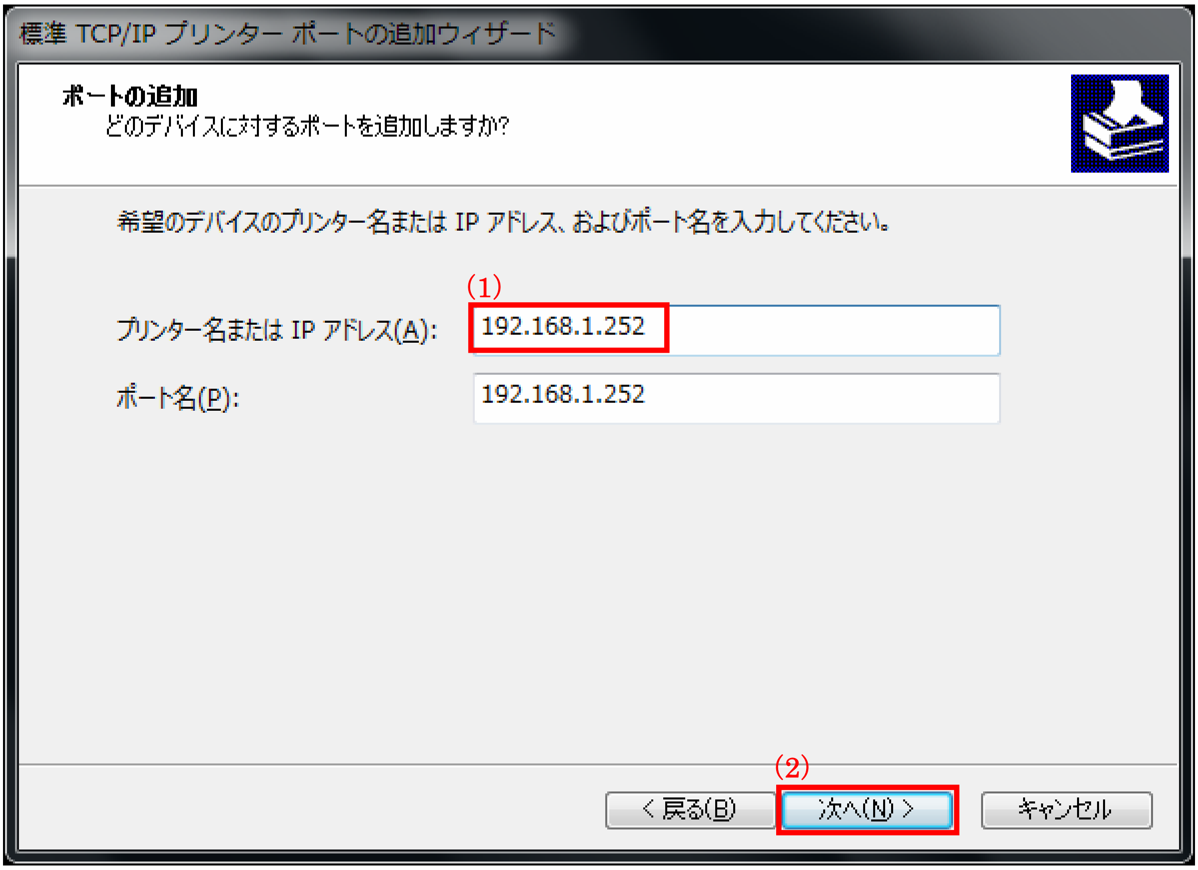
「ポートの追加」が表示されます。

7.　(1)「プリンター名または IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力します。

(2) [次へ]をクリックします。

※画面例では工場出荷時設定の「192.168.1.252」を入力しています。

※本製品のIPアドレスは、「3.2　本製品のIPアドレスを確認する」(P. 25)でご確認ください。

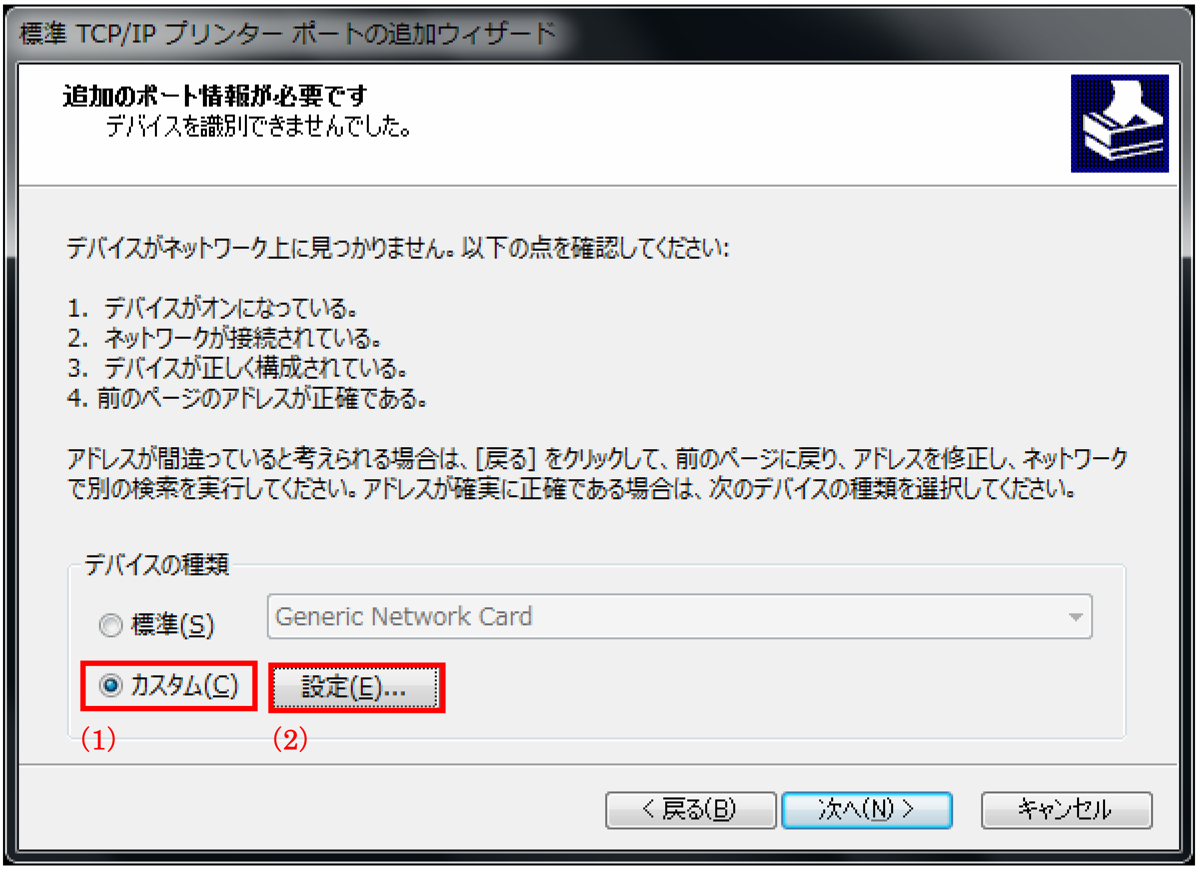


▼

「追加のポート情報が必要です」が表示されます。

8.　(1)「カスタム」を選びます。

(2)［設定］をクリックします。



▼

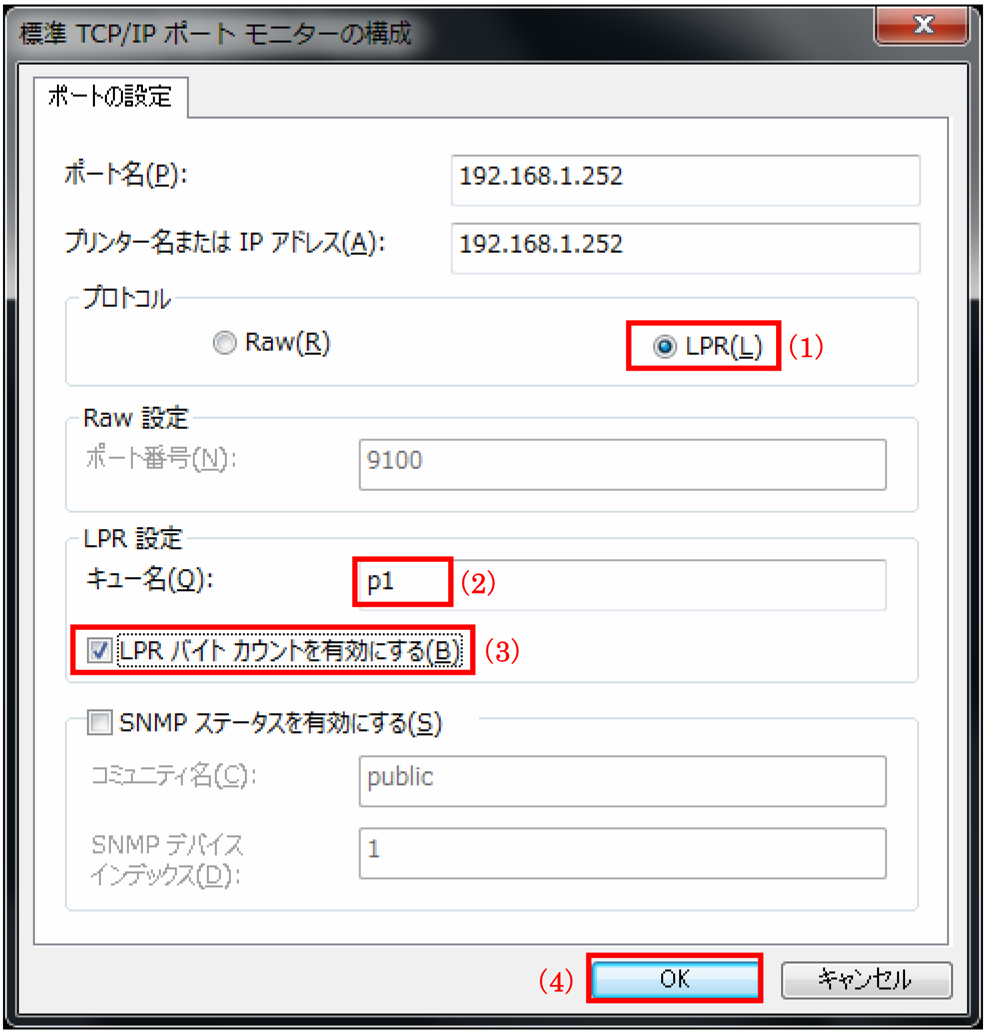
「標準 TCP/IP ポートモニターの構成」が表示されます。

9.　(1)「プロトコル」の「LPR」を選びます。

(2)「LPR設定」の「キュー名」に、「3.5 セットアップウィザードから設定する」(P. 38)で設定した「ポート名」を入力します。

(3)「LPR バイトカウントを有効にする」のチェックをオンにします。

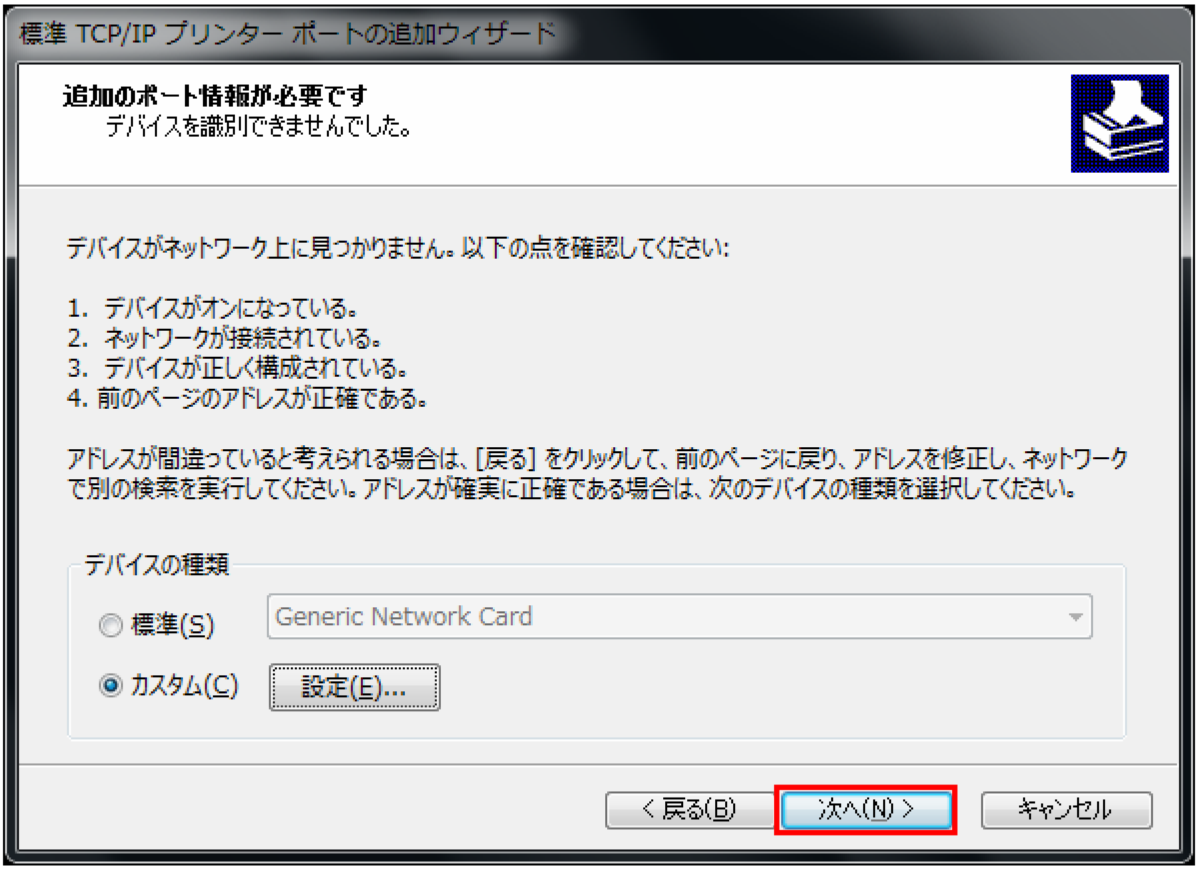
(4)[OK]をクリックします。



▼

「追加のポート情報が必要です」に戻ります。

10. ［次へ］をクリックします。



▼

「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードの完了」が表示されます。

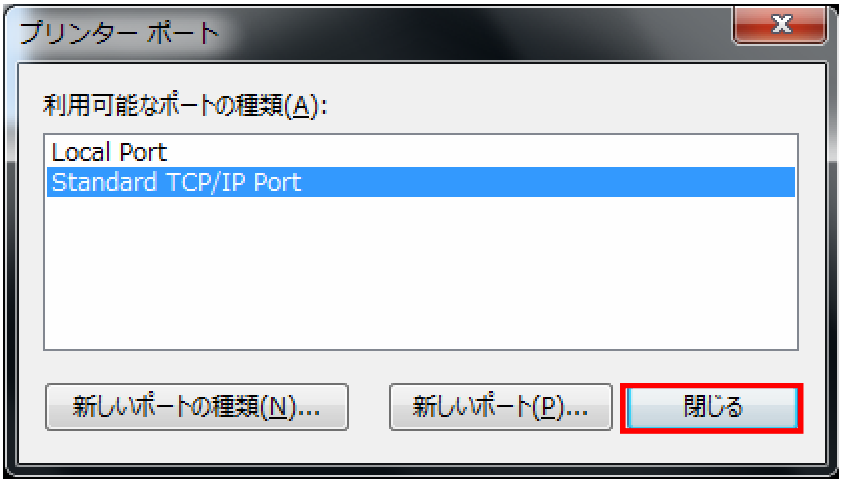
11. ［完了］をクリックします。



▼

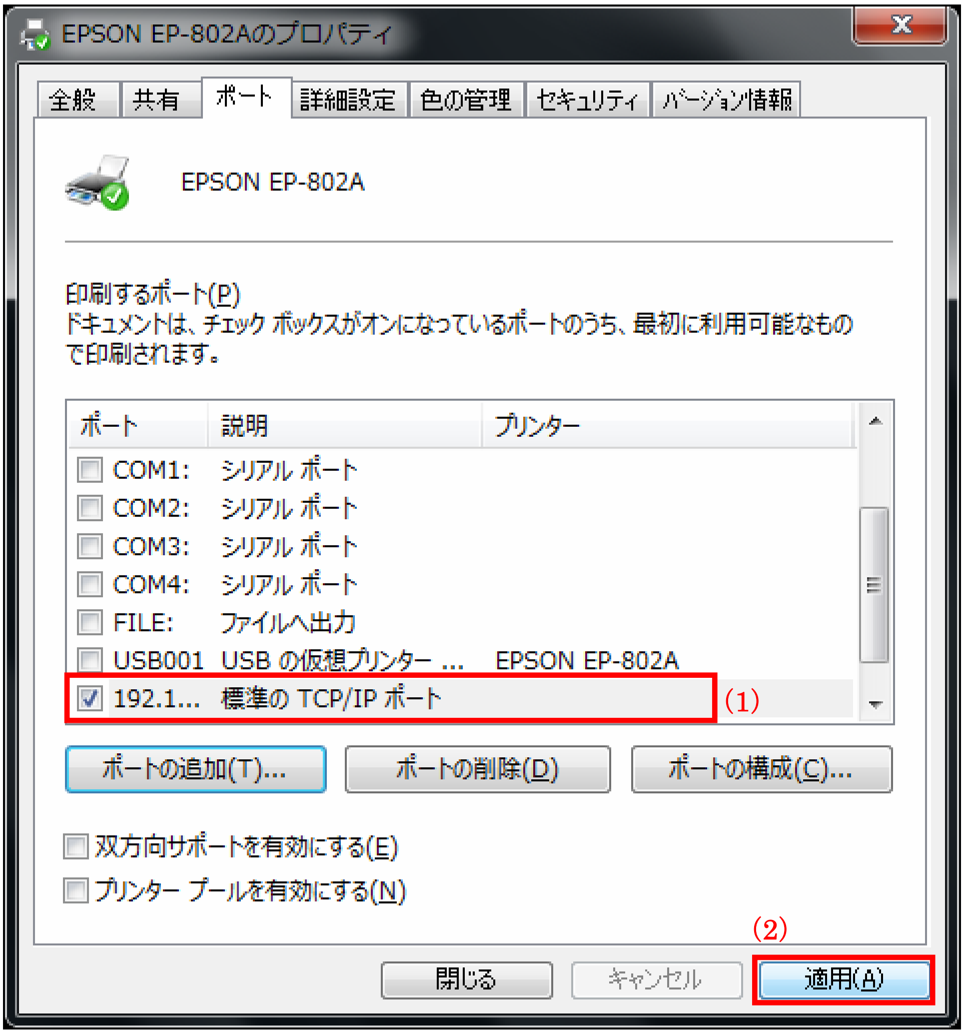
「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード」が終了し、「プリンターポート」に戻ります。

12. ［閉じる］をクリックします。

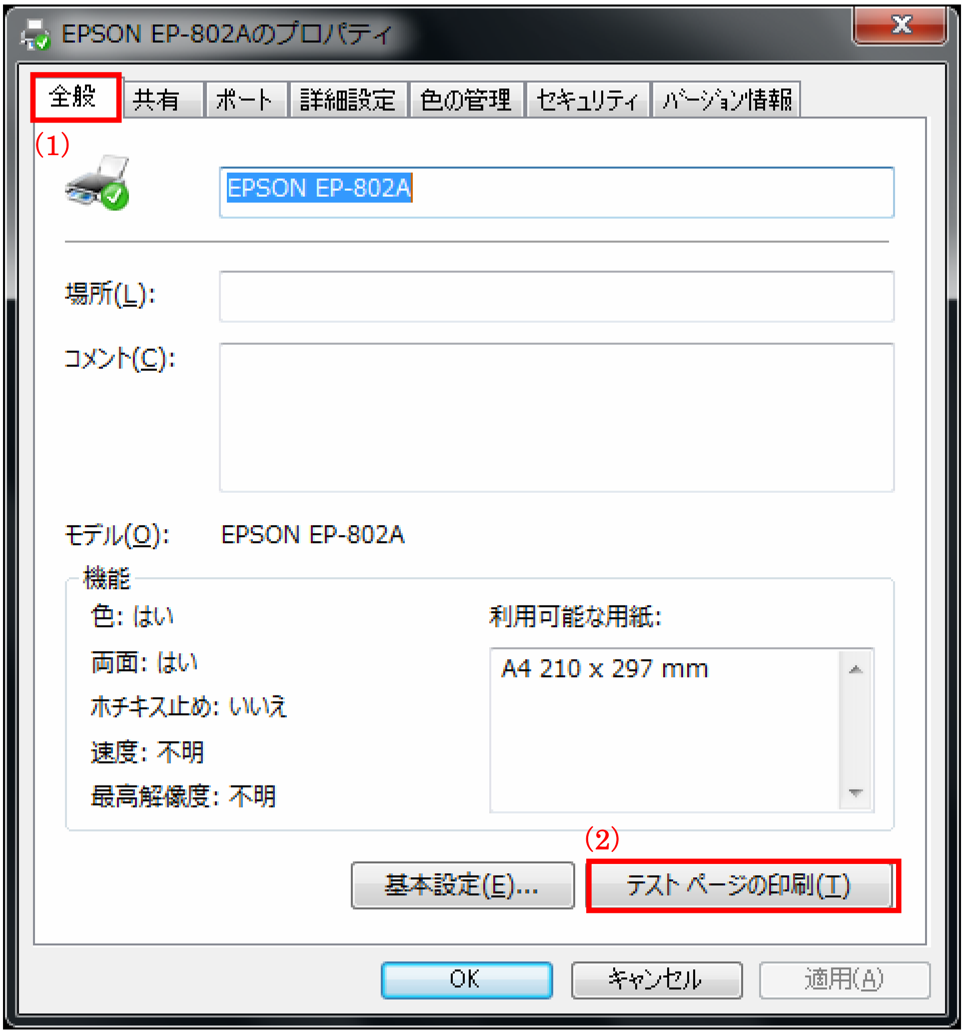


13. （1）手順 7 で設定したポート名が表示されていることを確認します。

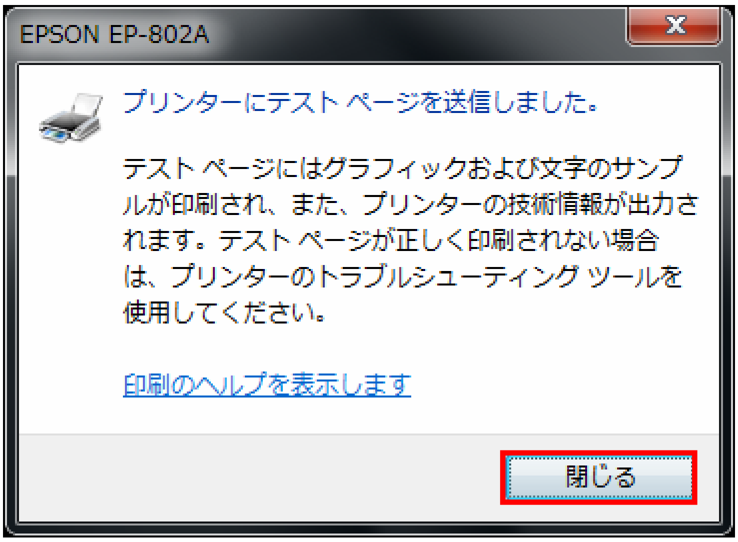
（2）[適用]をクリックします。



14. （1）[全般]タブをクリックします。
（2）[テストページの印刷]をクリックします。



15. テストページの印刷を確認し、[閉じる]をクリックします。



※プリンターがオフラインになっているときは、オンラインにしてください。

※なお、2 台目以降のパソコンの設定を行うときは、本設定を各パソコンに行ってください。

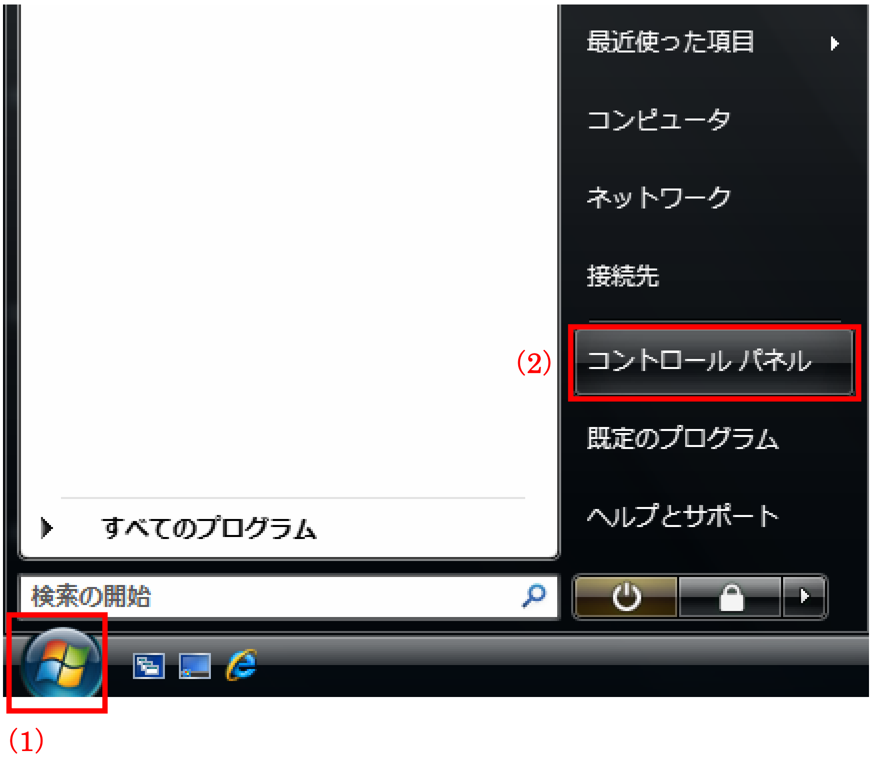
ご注意

- **本設定（Standard TCP/IP）をご利用の際には、双方向通信には対応しておりません。**
- **双方向通信機能を実装するプリンタをご利用の際は、双方向通信を必ずオフにしてお使いください。**

以上で設定は完了です。

3.6.2 Windows Vista

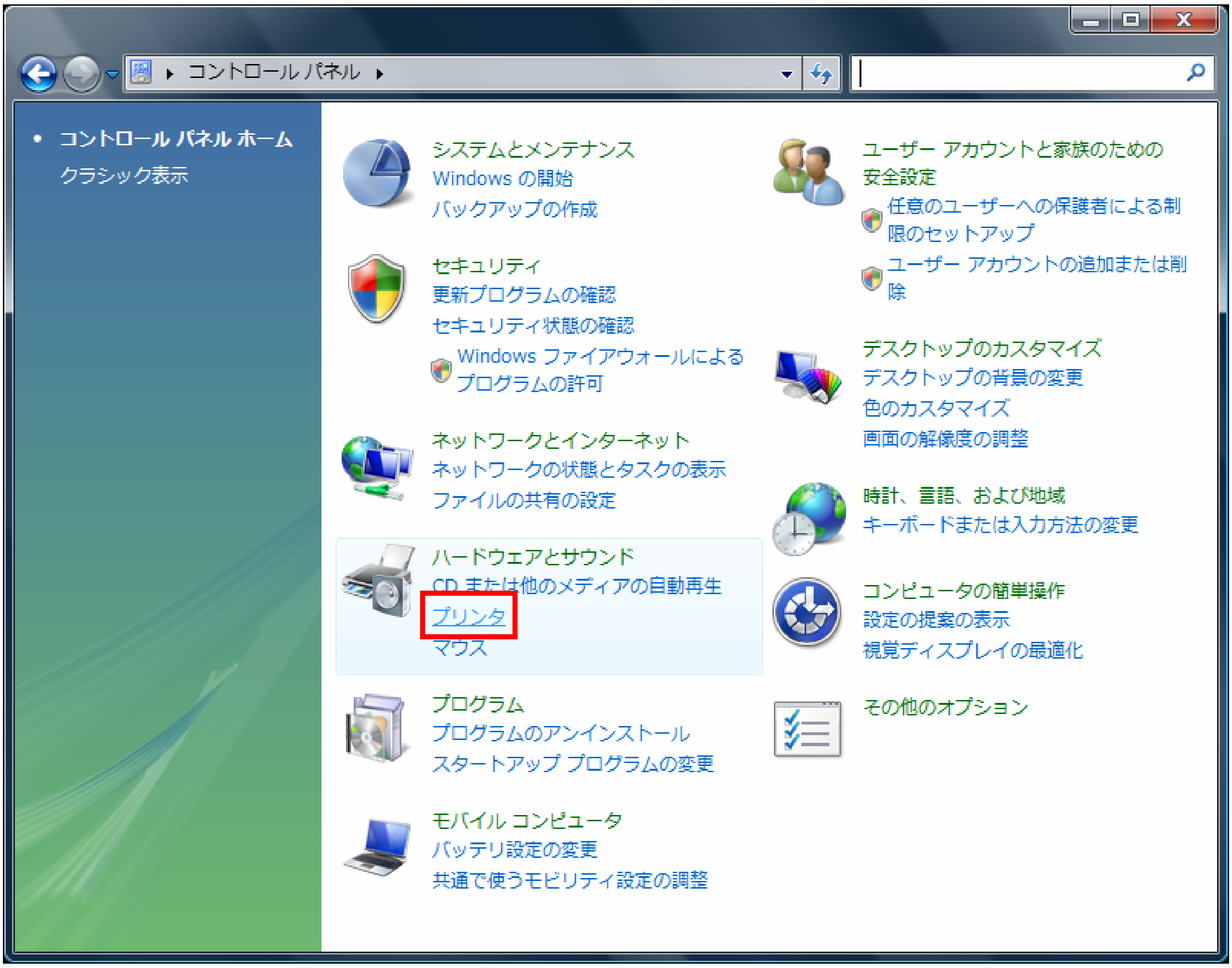
1. (1)「スタートボタン」をクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。



▼

「コントロールパネル」が表示されます。

2.　「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。



※クラシック表示画面の場合は、ダブルクリックします。

3. (1)使用するプリンタのアイコンを右クリックします。

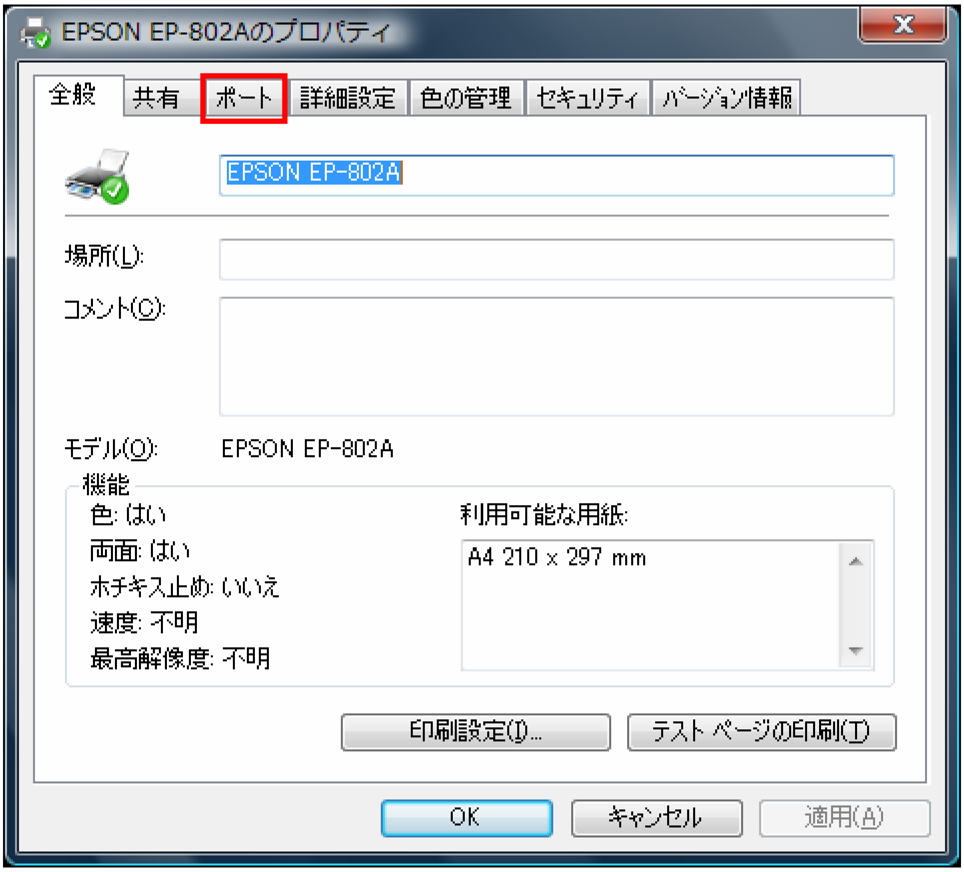
(2)「プロパティ」をクリックします。



▼

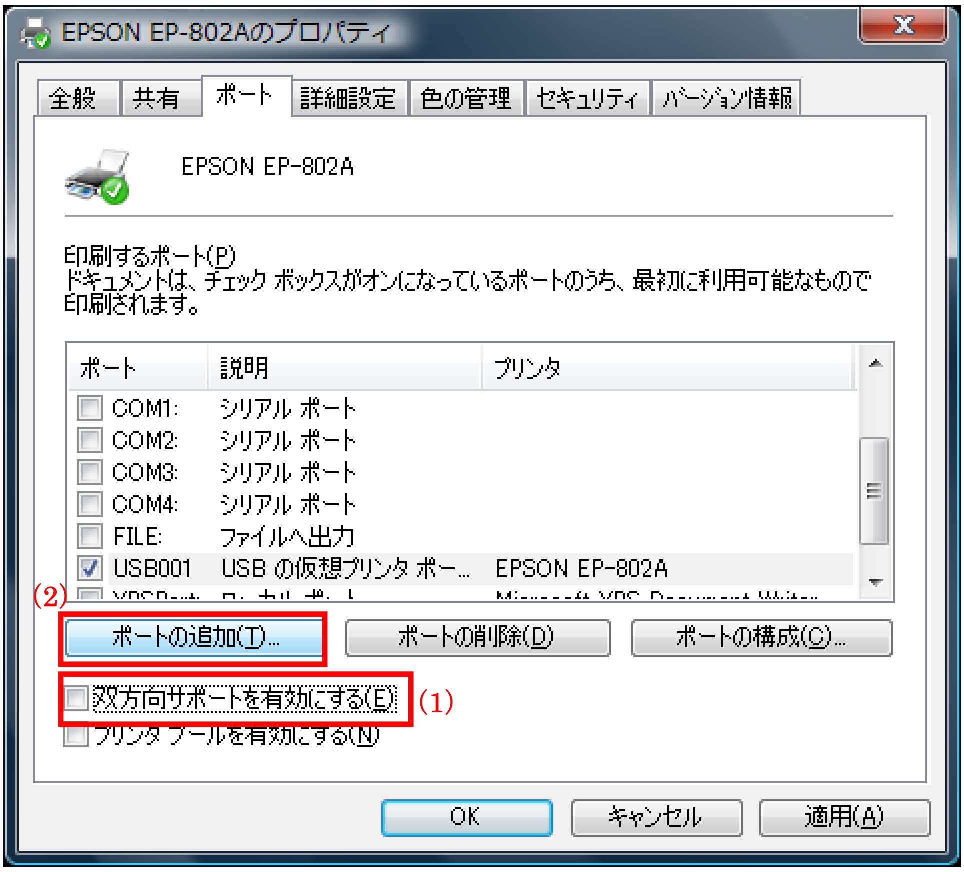
プリンタのプロパティが表示されます。

4.　「ポート」タブをクリックします。



5.　(1)「双方向サポートを有効にする」のチェックをオフにします。

(2)「ポートの追加」をクリックします。



▼

「プリンタポート」が表示されます。

6.　(1)「Standard TCP/IP Port」を選びます。

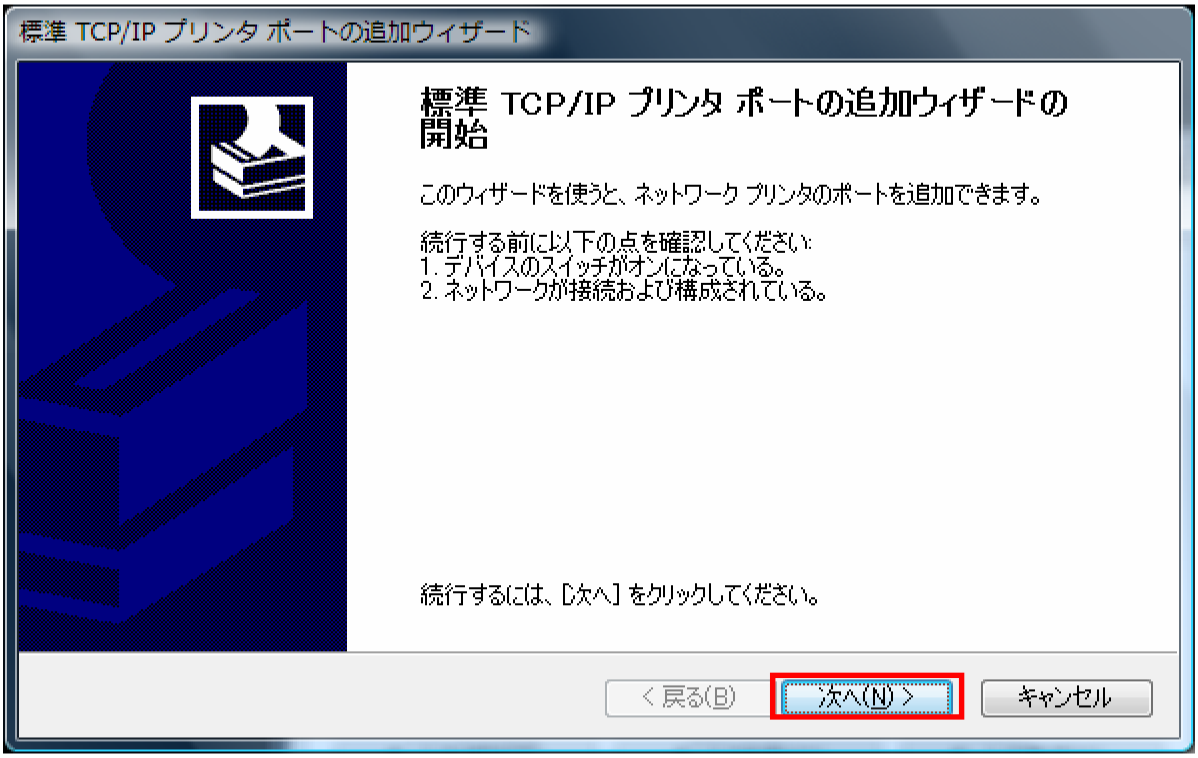
(2)[新しいポート]をクリックします。



▼

「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードの開始」が表示されます。

7.　「次へ」をクリックします。



▼

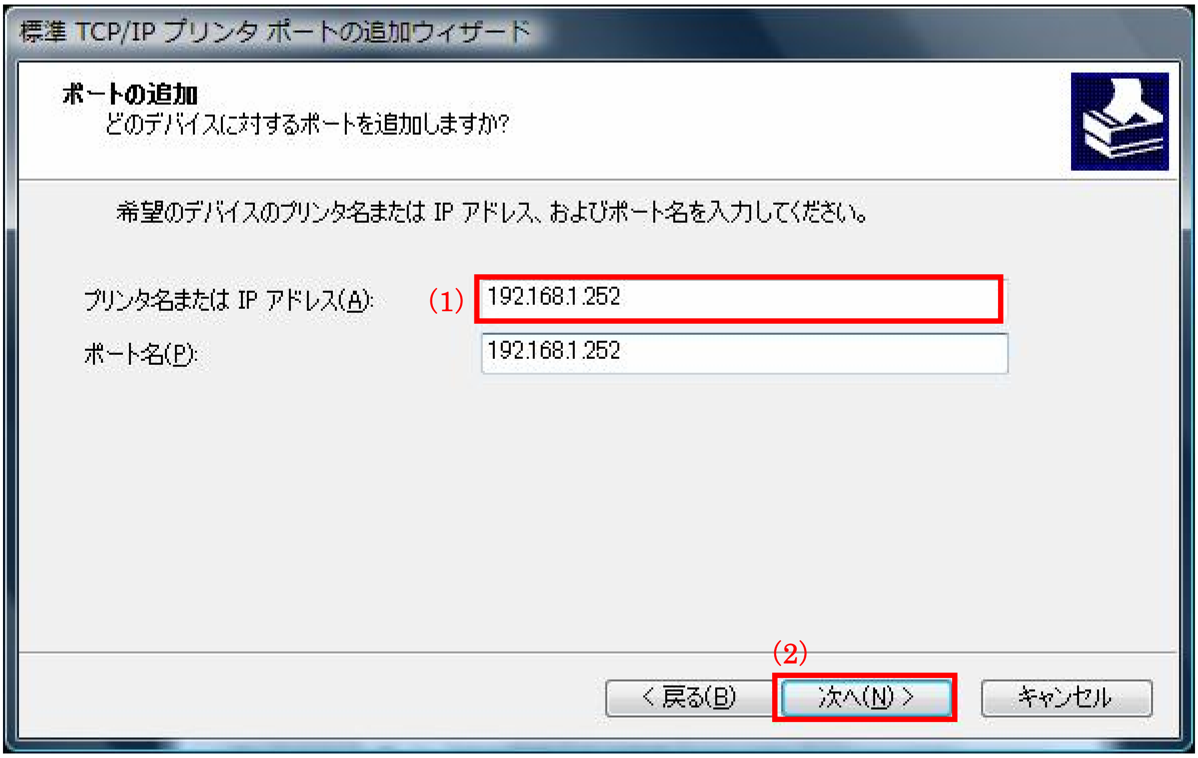
「ポートの追加」が表示されます。

8.　(1)「プリンタ名または IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力します。

(2)［次へ］をクリックします。

※画面例では工場出荷時設定の「192.168.1.252」を入力しています。

※本製品のIPアドレスは、「3.2　本製品のIPアドレスを確認する」(P. 25)でご確認ください。

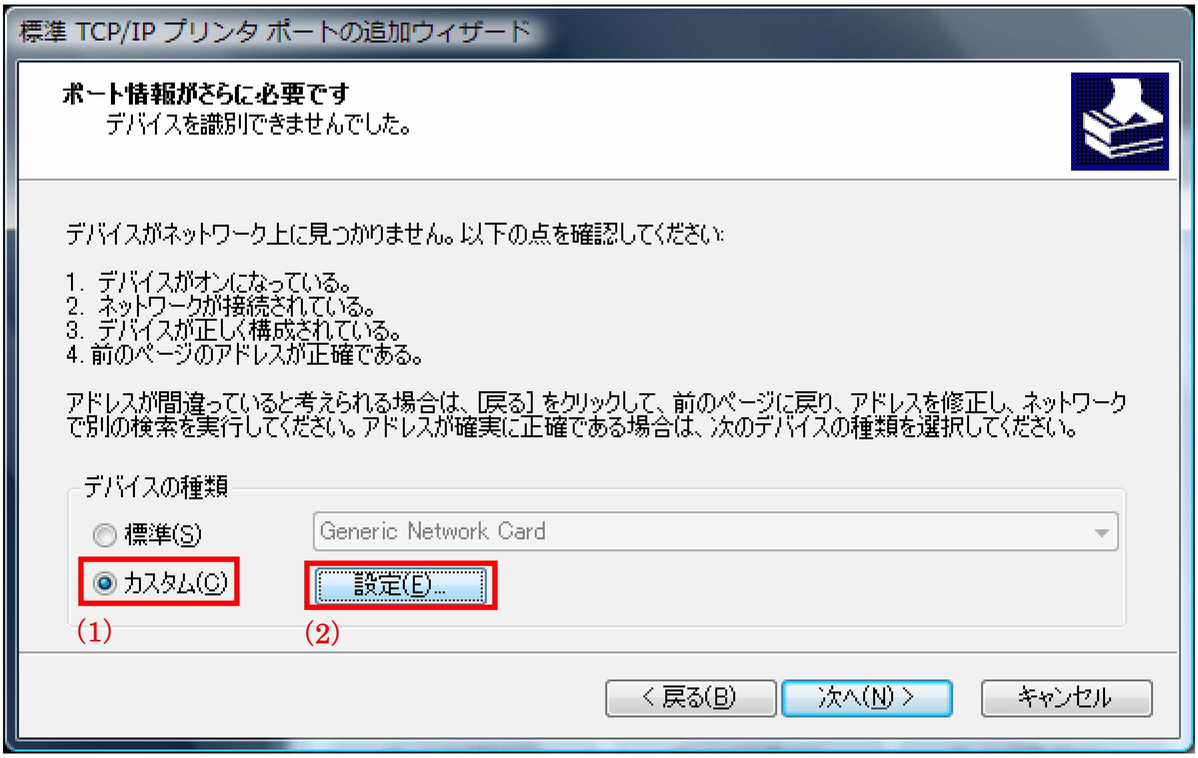


▼

「ポート情報がさらに必要です」が表示されます。

9.　(1)「カスタム」を選びます。

(2)[設定]をクリックします。



▼

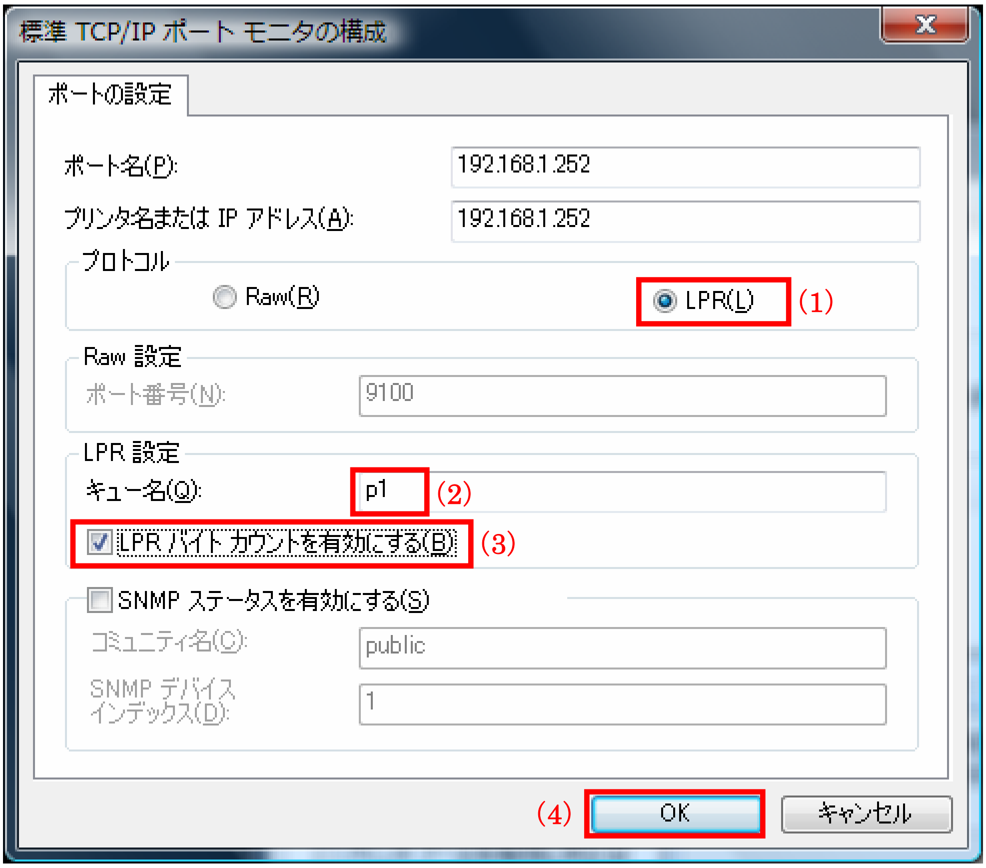
「標準 TCP/IP ポートモニターの構成」が表示されます。

10. (1)「プロトコル」の「LPR」を選びます。

(2)「LPR設定」の「キュー名」に、「3.5 セットアップウィザードから設定する」(P. 38)で設定した「ポート名」を入力します。

(3)「LPR バイトカウントを有効にする」のチェックをオンにします。

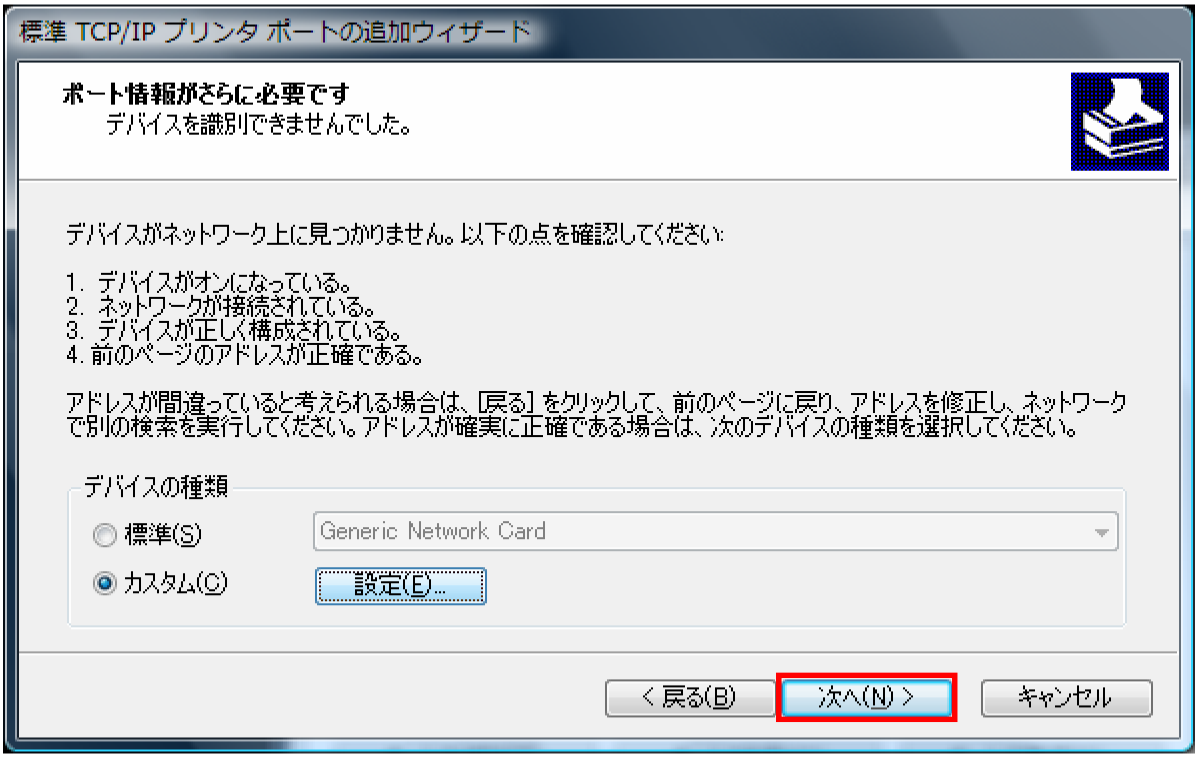
(4)[OK]をクリックします。



▼

「ポート情報がさらに必要です」に戻ります。

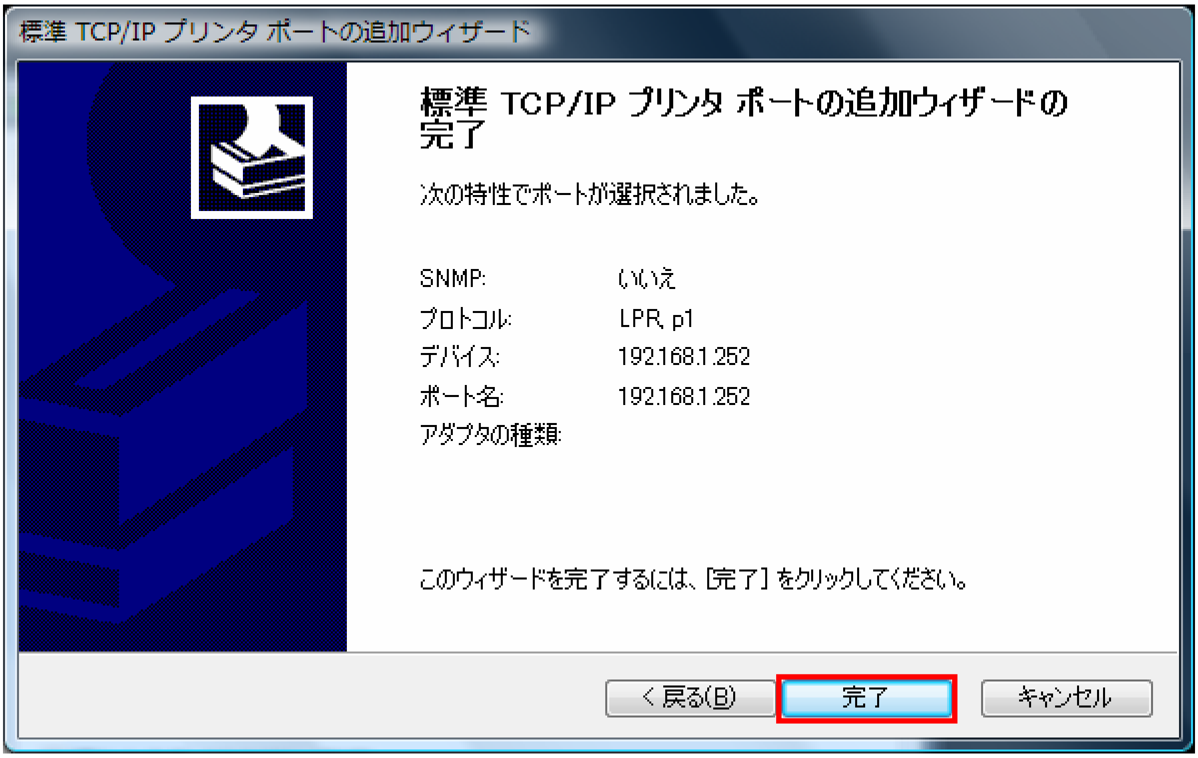
11. [次へ]をクリックします。



▼

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」が表示されます。

12. [完了]をクリックします。



▼

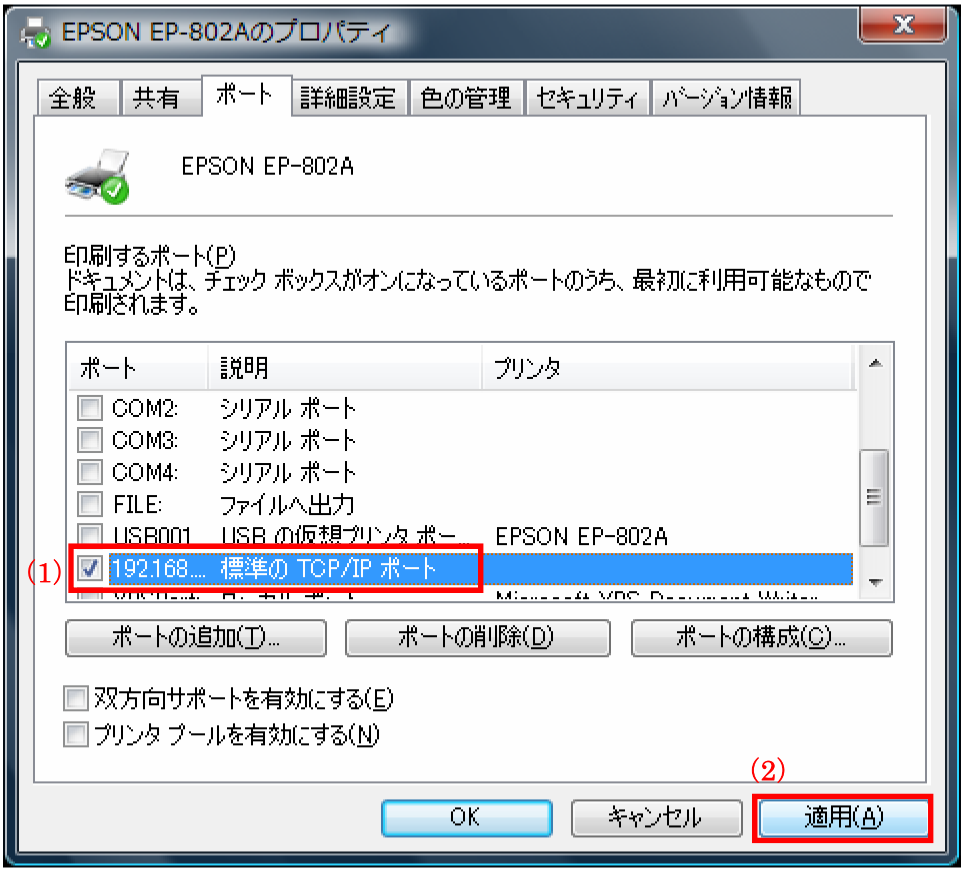
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が終了し、「プリンタポート」に戻ります。

13. ［閉じる］をクリックします。



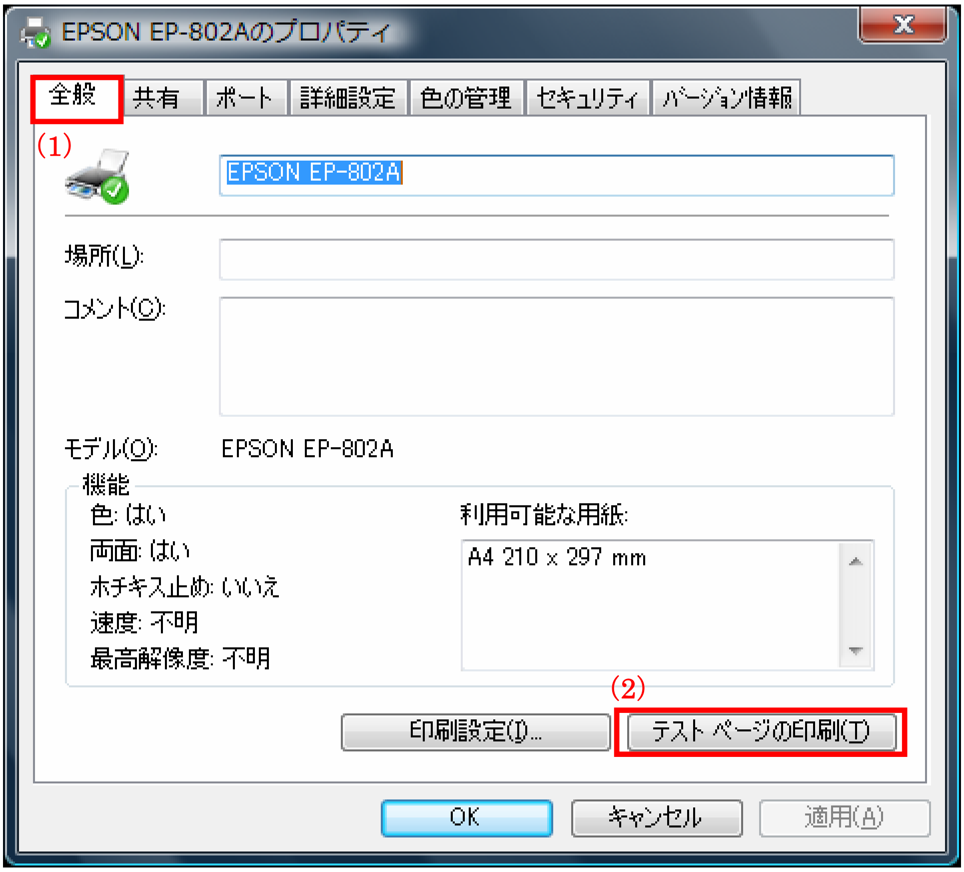
14. （1）手順 8 で設定したポート名が表示されていることを確認します。

（2）［適用］をクリックします。

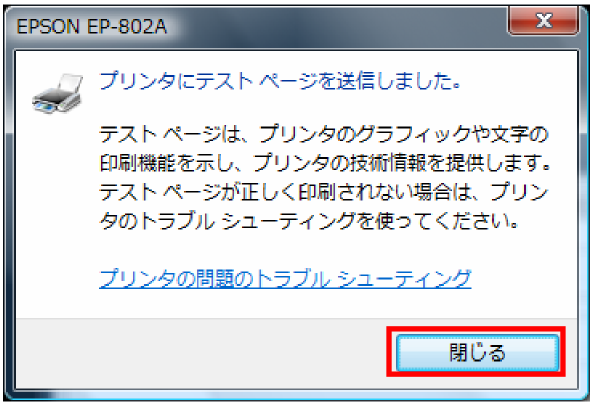


15. (1)[全般]タブをクリックします。

(2)[テストページの印刷]をクリックします。



16. テストページの印刷を確認し、[閉じる]をクリックします。



※プリンターがオフラインになっているときは、オンラインにしてください。

※なお、2 台目以降のパソコンの設定を行うときは、本設定を各パソコンに行ってください。

ご注意

- **本設定(Standard TCP/IP)をご利用の際には、双方向通信には対応しておりません。**
- **双方向通信機能を実装するプリンタをご利用の際は、双方向通信を必ずオフにしてお使いください。**

以上で設定は完了です。

3.6.3 Windows XP

1. (1)「スタートボタン」をクリックします。

   (2)「プリンタと FAX」をクリックします。

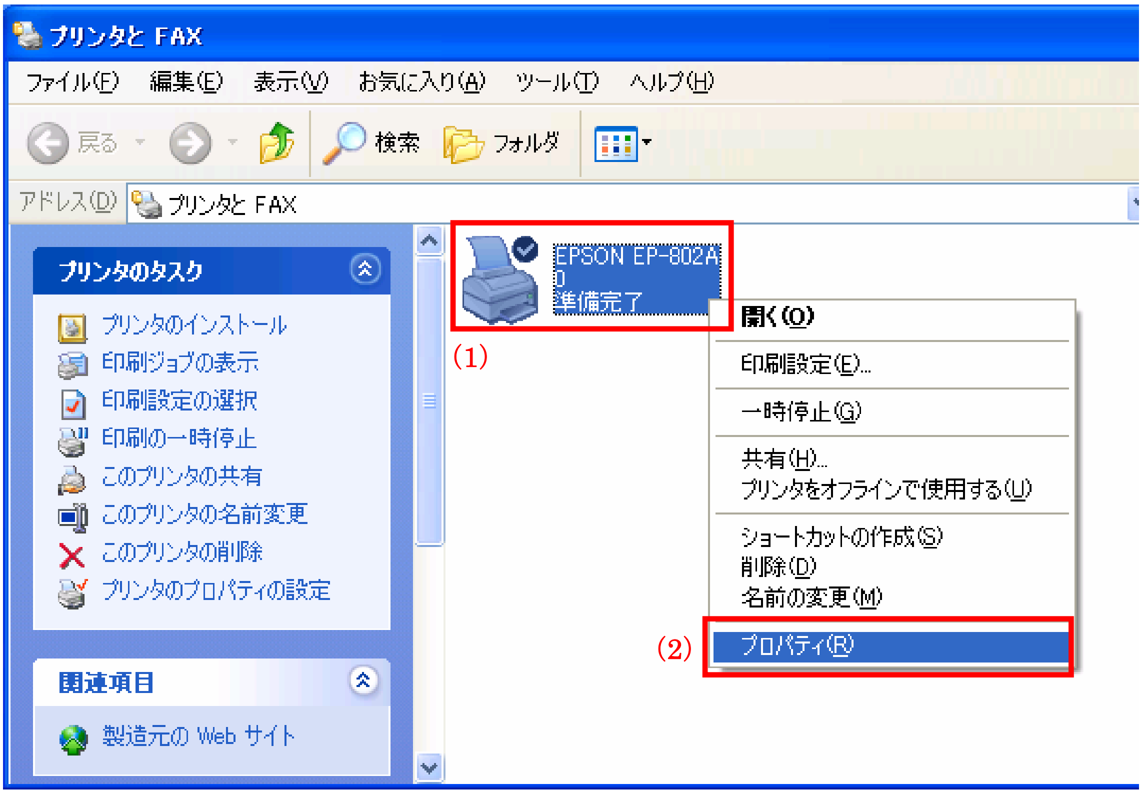


▼

「プリンタと FAX」が表示されます。

2. (1)使用するプリンタのアイコンを右クリックします。

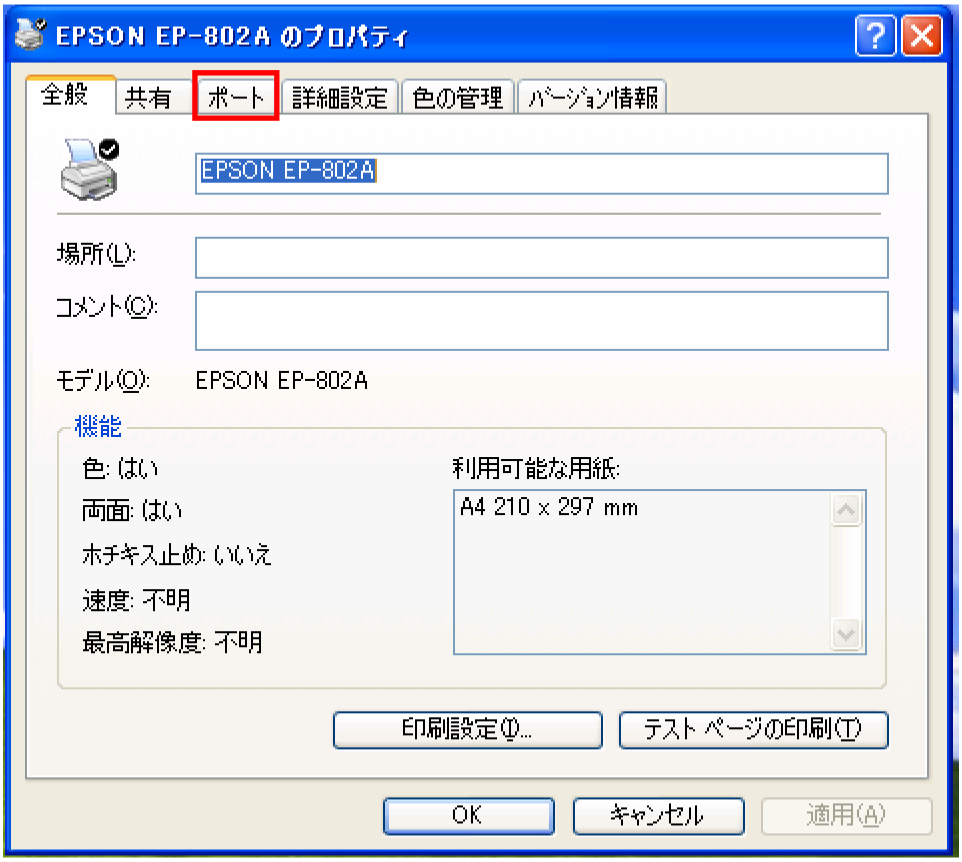
(2)「プロパティ」をクリックします。



▼

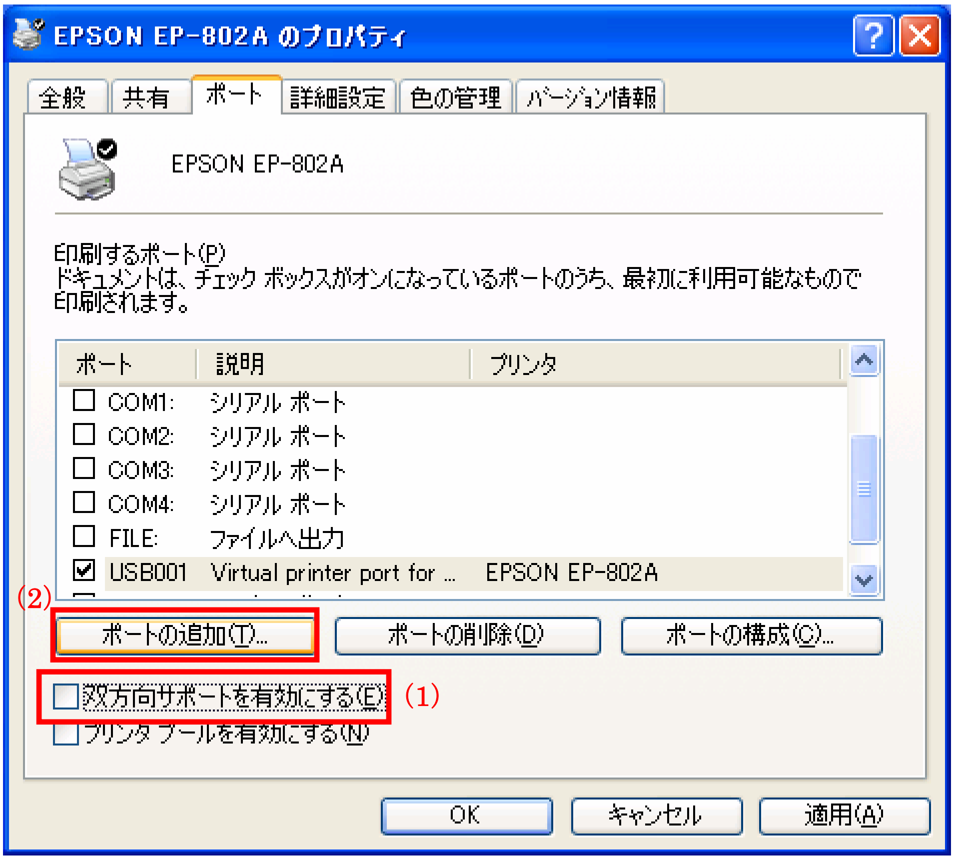
プリンタのプロパティが表示されます。

3.　「ポート」タブをクリックします。



4.　(1)「双方向サポートを有効にする」のチェックをオフにします。

(2)「ポートの追加」をクリックします。



▼

「プリンタポート」が表示されます。

5.　(1)「Standard TCP/IP Port」を選びます。

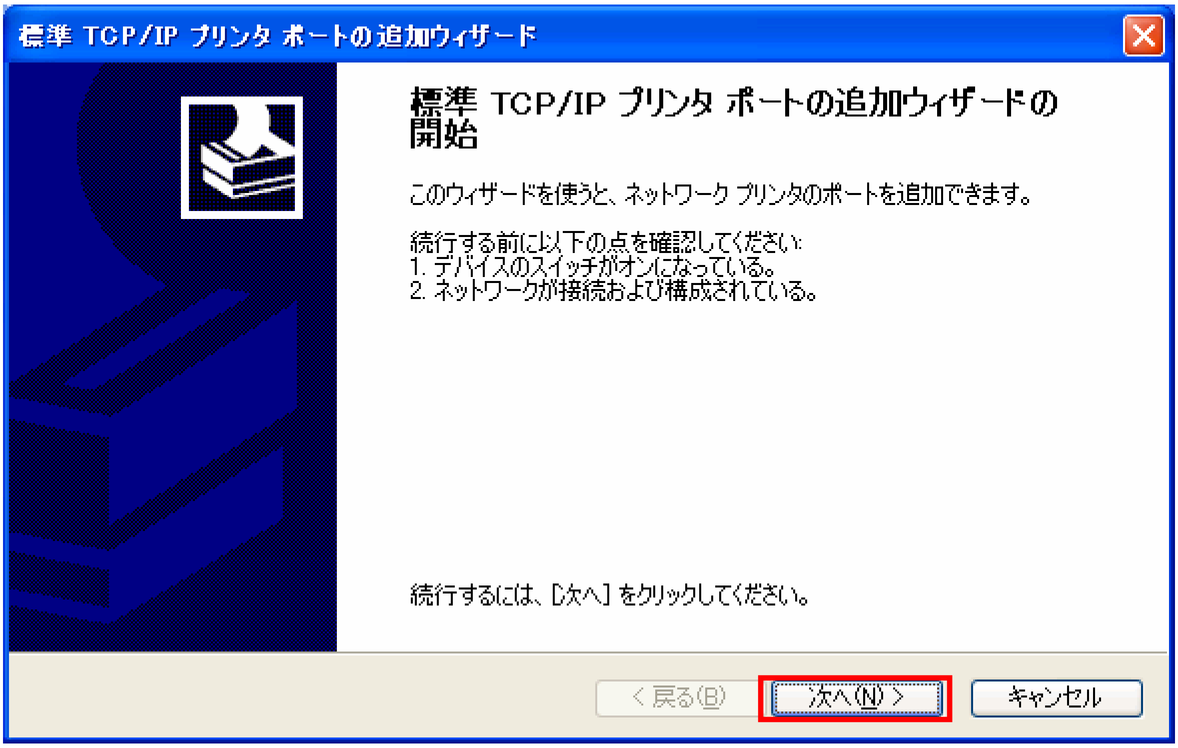
(2)[新しいポート]をクリックします。



▼

「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードの開始」が表示されます。

6.　「次へ」をクリックします。



▼

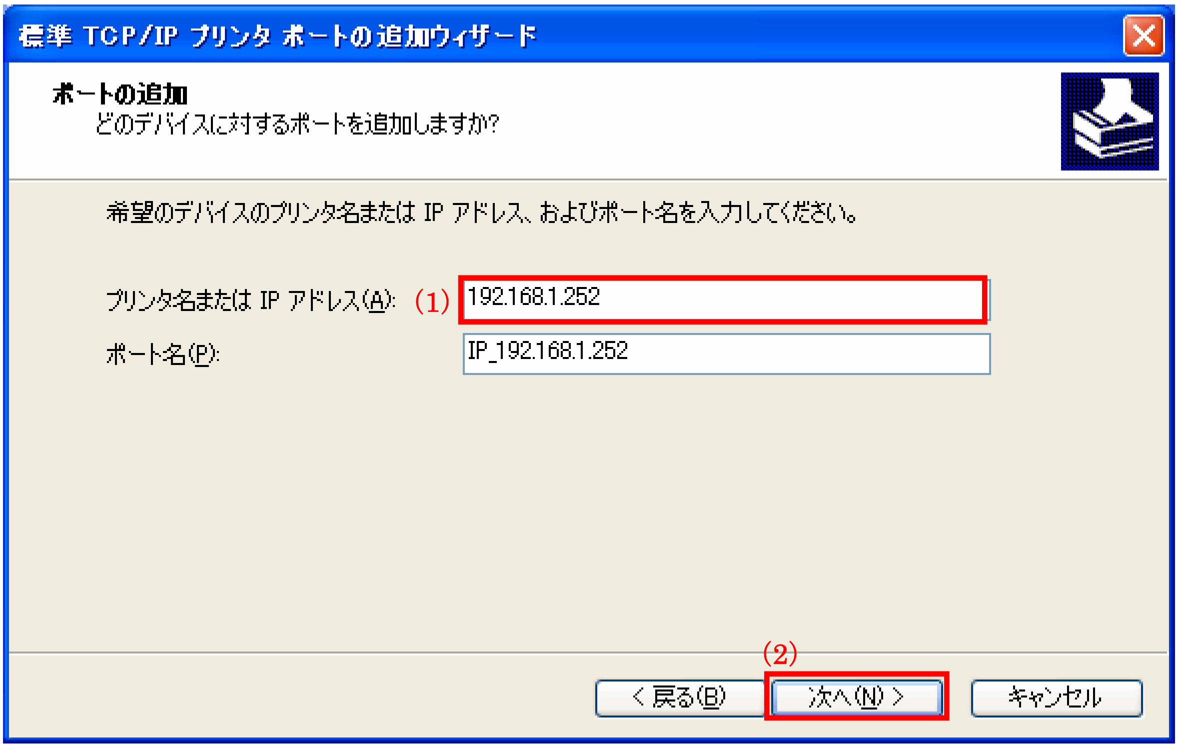
「ポートの追加」が表示されます。

7.　(1)「プリンタ名または IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力します。

(2)[次へ]をクリックします。

※画面例では工場出荷時設定の「192.168.1.252」を入力しています。

本製品のIPアドレスは、「3.2　本製品のIPアドレスを確認する」(P. 25)でご確認ください。

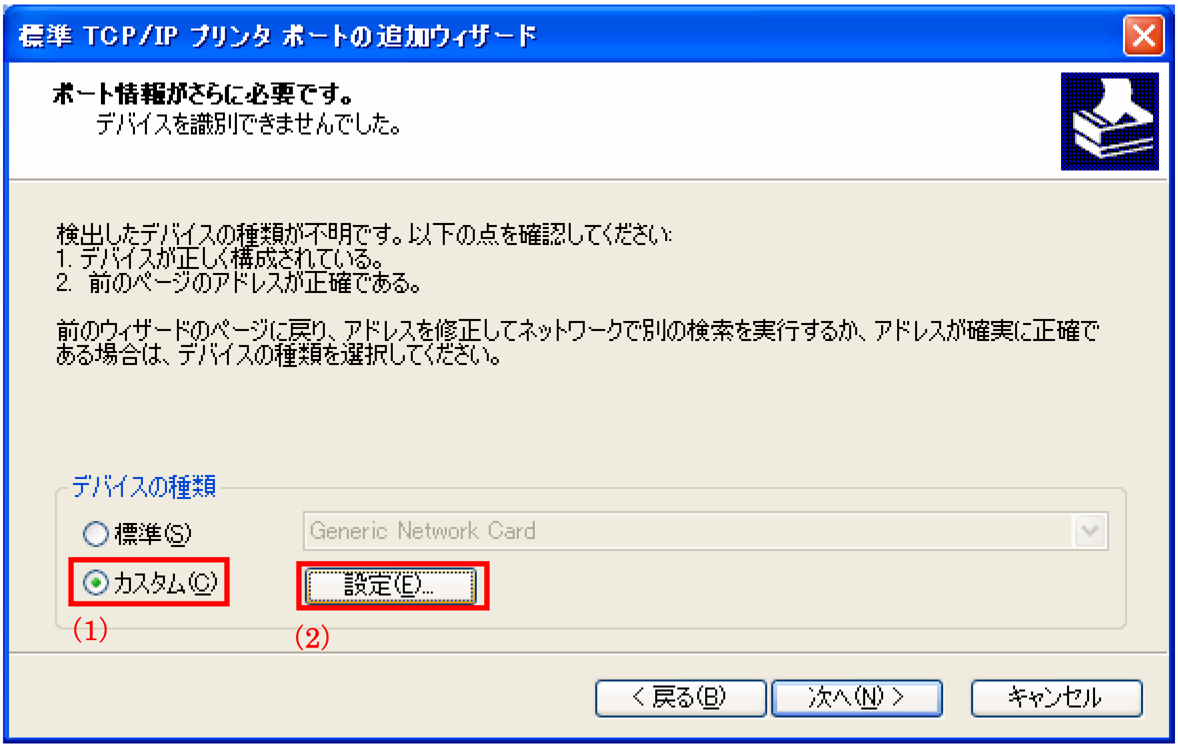


▼

「ポート情報がさらに必要です」が表示されます。

8.　(1)「カスタム」を選びます。

(2)[設定]をクリックします。



▼

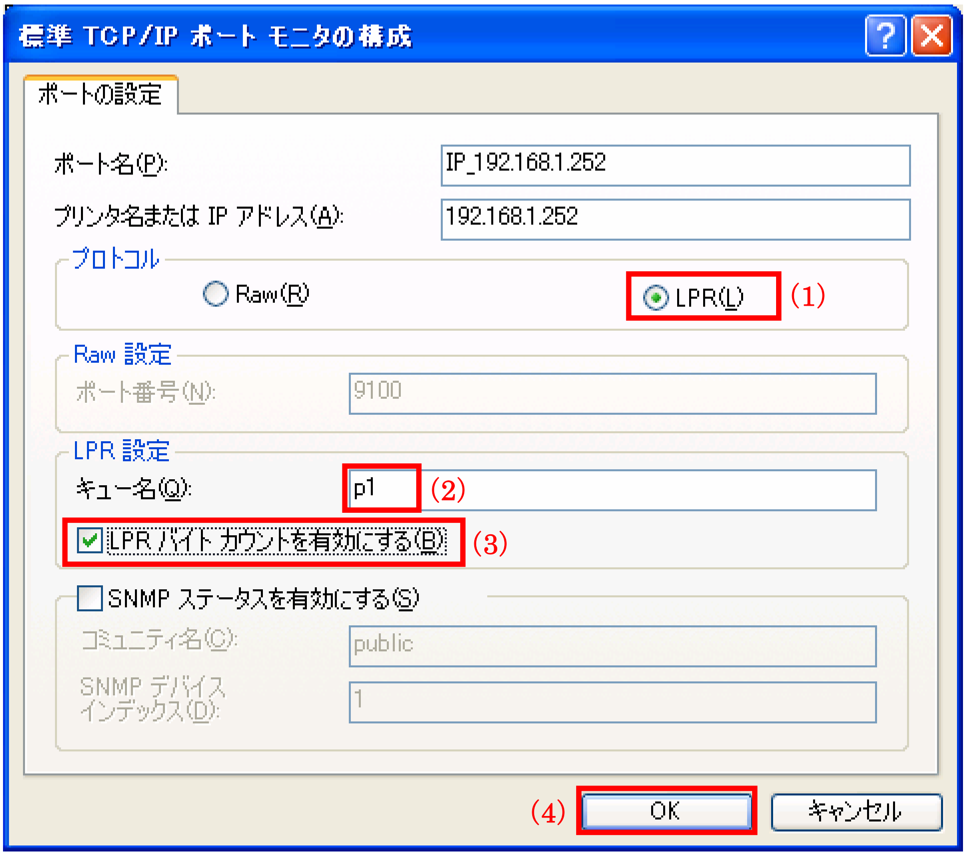
「標準 TCP/IP ポートモニタの構成」が表示されます。

9.　(1)「プロトコル」の「LPR」を選びます。

(2)「LPR設定」の「キュー名」に、「3.5 セットアップウィザードから設定する」(P. 38)で設定した「ポート名」を入力します。

(3)「LPR バイトカウントを有効にする」のチェックをオンにします。

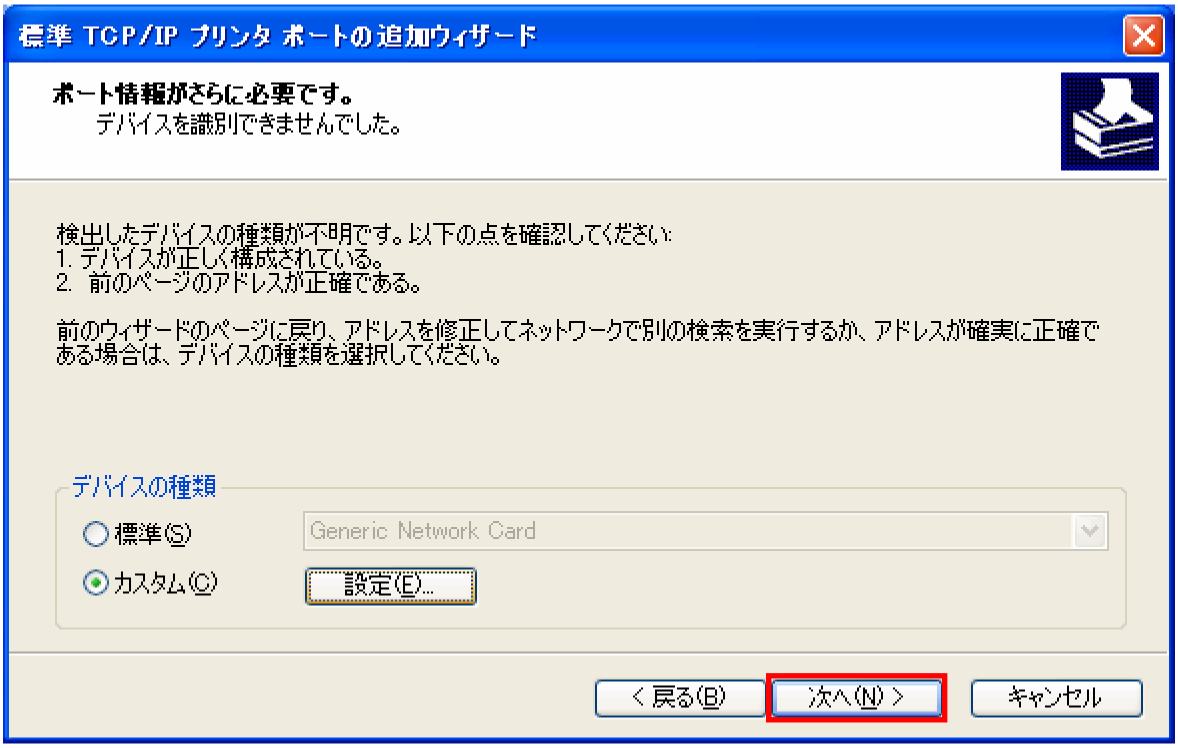
(4) [OK]をクリックします。



▼

「ポート情報がさらに必要です」に戻ります。

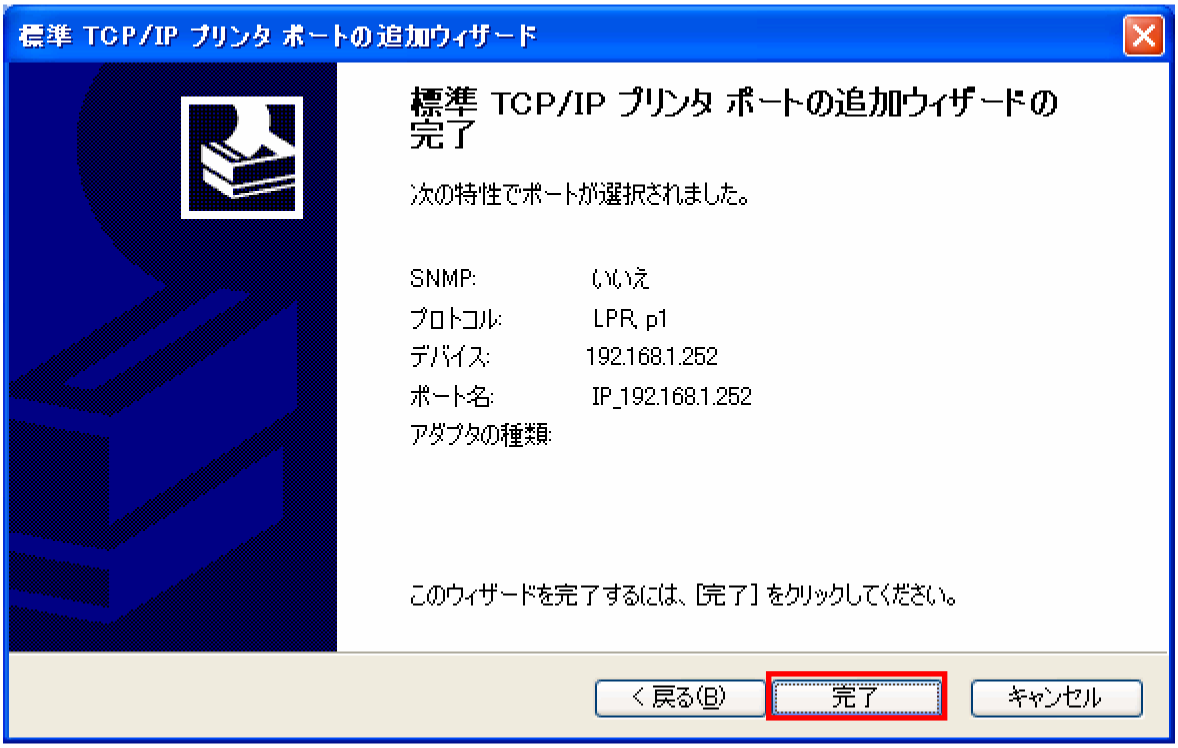
10. ［次へ］をクリックします。



▼

「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」が表示されます。

11. ［完了］をクリックします。



▼

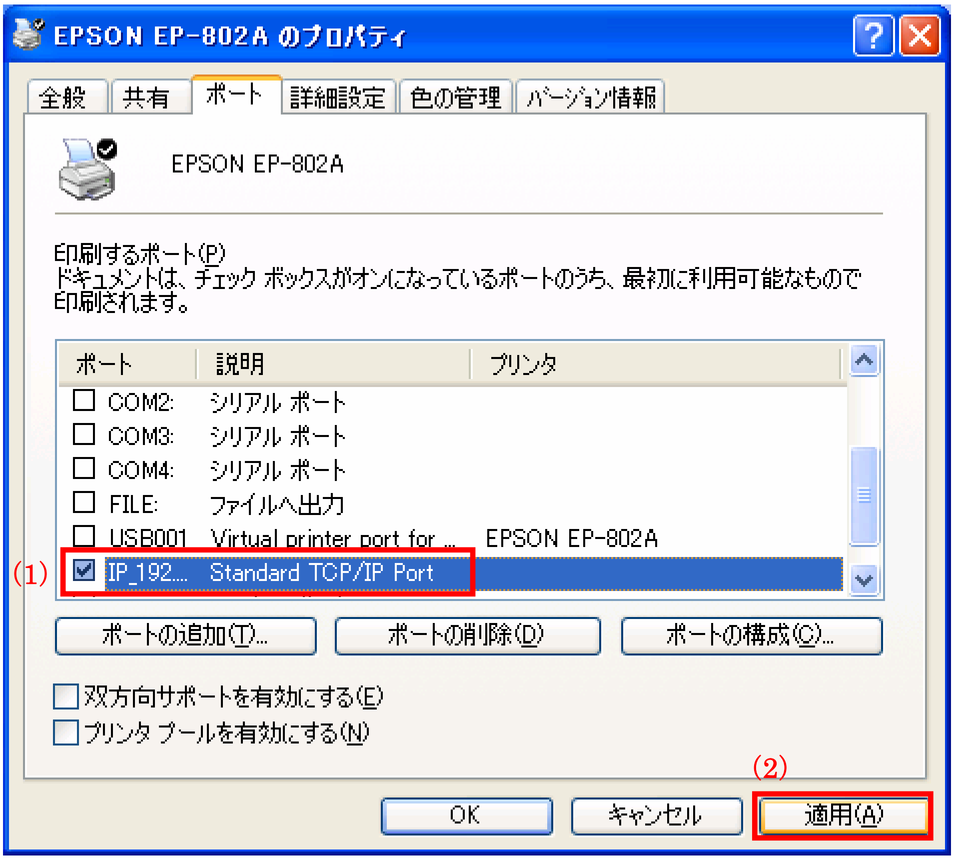
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が終了し、「プリンタポート」に戻ります。

12. ［閉じる］をクリックします。



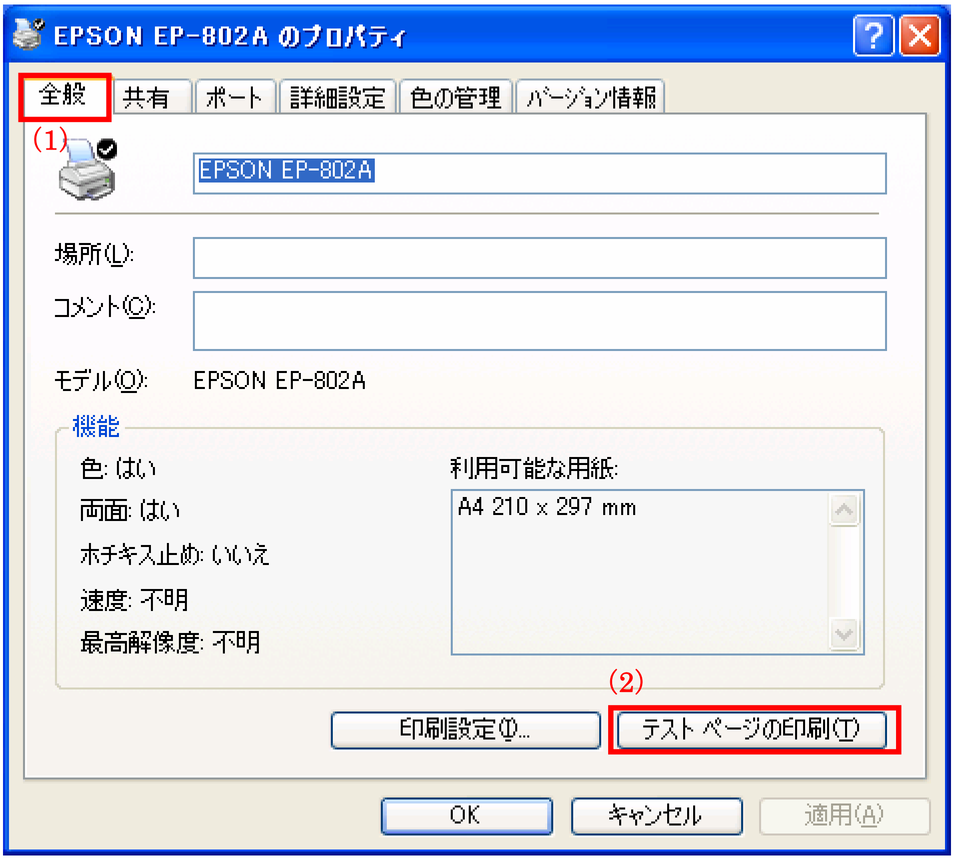
13. （1）手順 7 で設定したポート名が表示されていることを確認します。

（2）[適用]をクリックします。

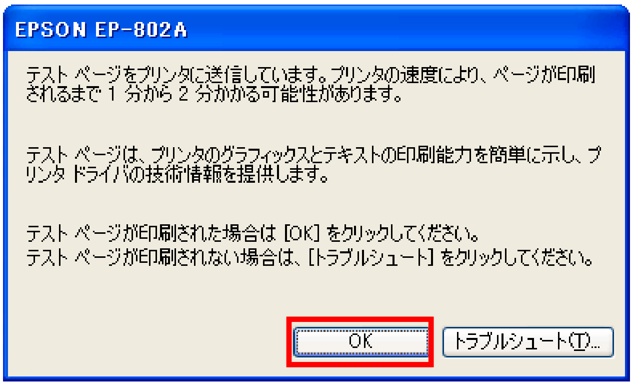


14. (1)[全般]をクリックします。

(2)[テストページの印刷]をクリックします。



15. テストページの印刷を確認し、[閉じる]をクリックします。



※プリンターがオフラインになっているときは、オンラインにしてください。

※なお、2 台目以降のパソコンの設定を行うときは、本設定を各パソコンに行ってください。

ご注意

- **本設定(Standard TCP/IP)をご利用の際には、双方向通信には対応しておりません。**
- **双方向通信機能を実装するプリンタをご利用の際は、双方向通信を必ずオフにしてお使いください。**

以上で設定は完了です。

3.6.4 Mac OS X

ご注意

・ 表示される画面は Mac OS のバージョンによって異なります。

・ 以下の手順では、Mac OS X(10.6)の画面で説明しています。

1. (1)「アップルメニュー」をクリックします。

   (2)「システム環境設定」をクリックします。



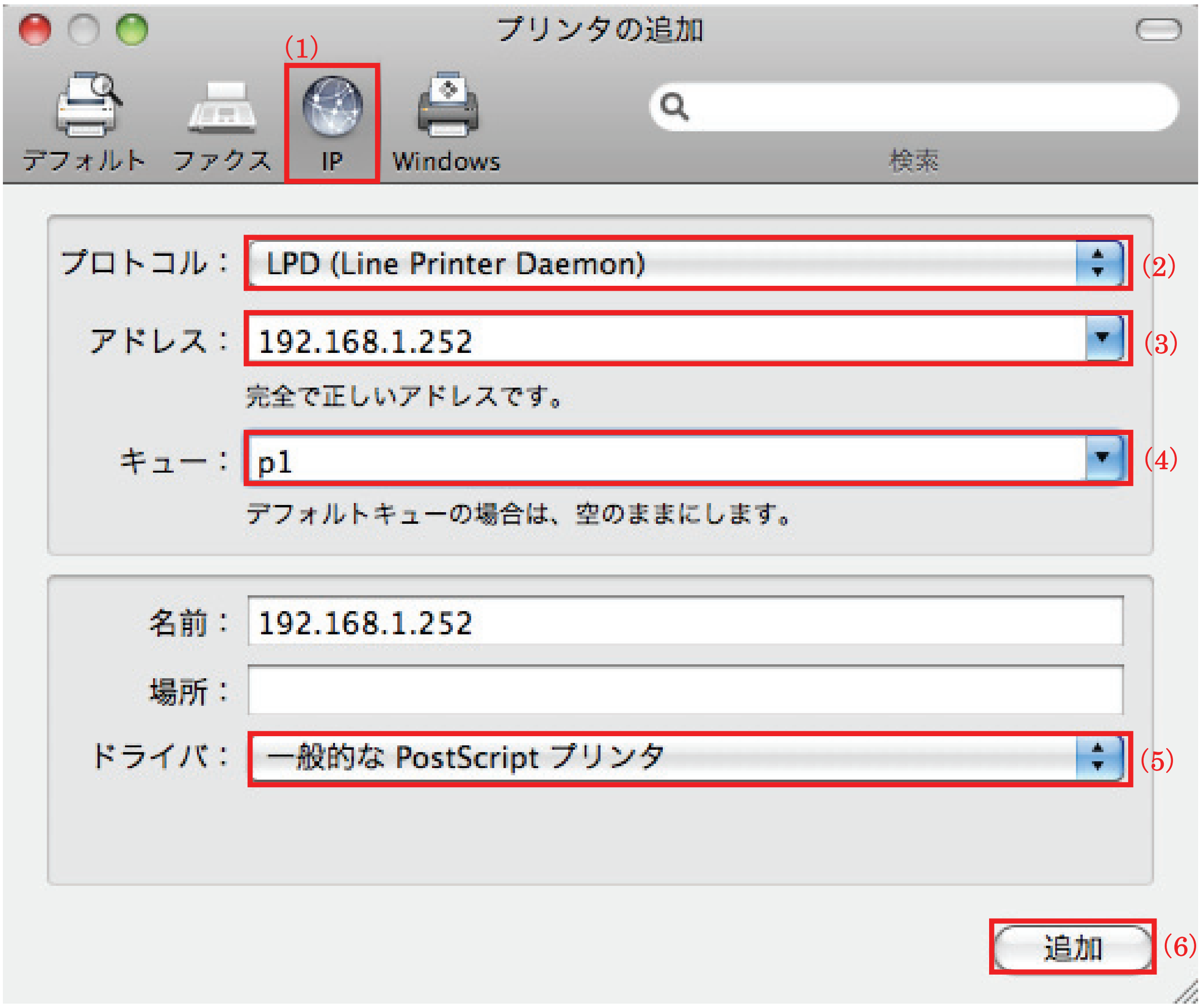
2. 「プリントとファクス」をクリックします。



3. ［＋］をクリックすると、「プリンタの追加」が開きます。



4.　プリンタを追加します。



(1)「IP」を選びます。

(2)「LPD（Line Printer Daemon）」を選びます。

(3)本製品の IP アドレスを入力します。

※画面例では工場出荷時設定の「192.168.1.252」を入力しています。

本製品の IP アドレスは、「3.2　本製品の IP アドレスを確認する」(P. 25)でご確認ください。

(4)「LPR　設定」の「キュー名」に、「3.5　セットアップウィザードから設定する」(P.　38)で設定した「ポート名」を入力します。

(5)お使いのプリンタを選びます。

(6)「追加」をクリックします。

(7)「インストール可能なオプション」画面が表示されたら、内容を確認して「続ける」をクリックします。

5.　(1)プリンタが追加されたことを確認します。

(2)「デフォルトのプリンタ」に設定します。



※なお、2 台目以降のパソコンの設定を行うときは、本設定を各パソコンに行ってください。

ご注意

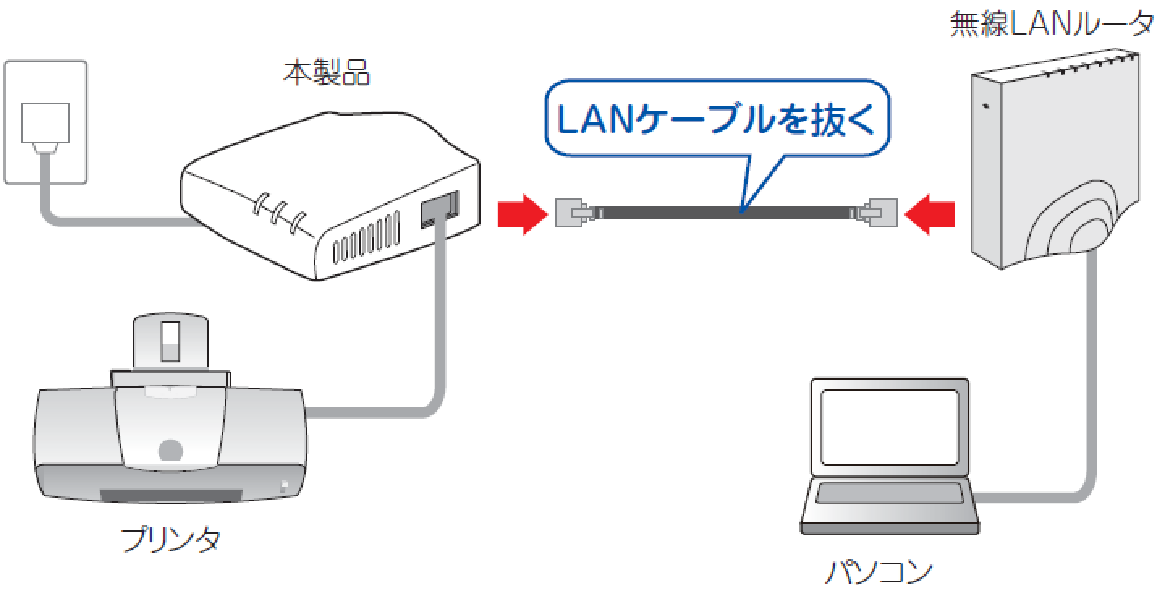
- **本設定（Standard TCP/IP）をご利用の際には、双方向通信には対応しておりません。**
- **双方向通信機能を実装するプリンタをご利用の際は、双方向通信を必ずオフにしてお使いください。**

以上で設定は完了です。

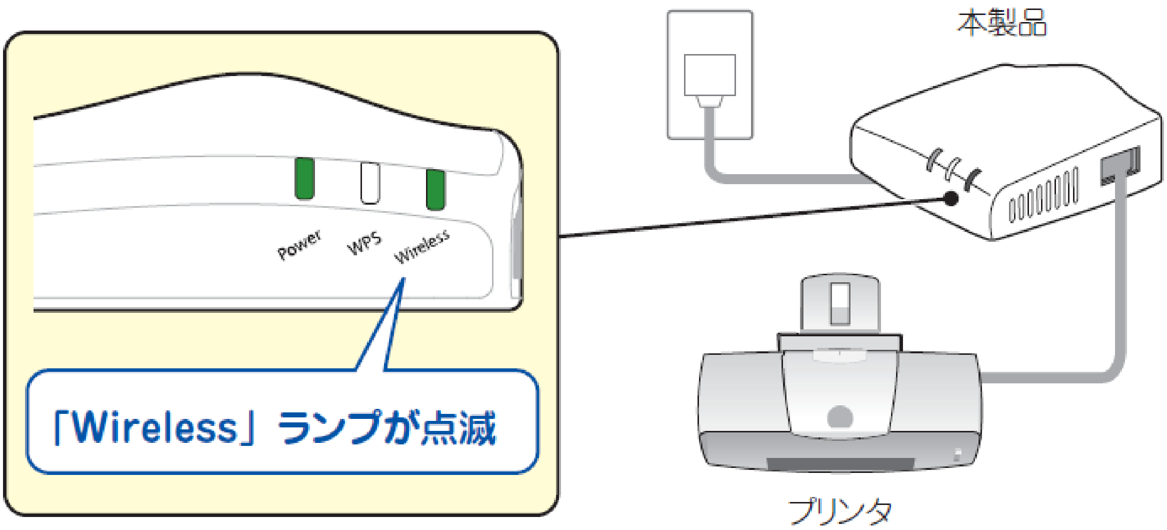
3.7 無線 LAN で接続する

※本製品を有線で使用するときは、ここでの作業は必要ありません。
そのまま「3.8 接続を確認する」(P. 91)に進んでください。

1. 本製品背面の LAN ポートとネットワーク機器(無線 LAN ルータやスイッチングハブなど)の LAN ポートから LAN ケーブルを抜きます。



2. 本製品前面の「Wireless」ランプが点滅することを確認します。



3.8 接続を確認する

Word やメモ帳などのアプリケーションを使って、本製品が正常に接続されているかテスト印刷します。

（以下は参考として、Windows 7 でのテスト印刷の方法です）

①「スタート」 → 「デバイスとプリンター」をクリックします。

（ Windows Vista のときは、「スタート」→「コントロールパネル」→「プリンタ」をクリックします。）

（ Windows XP のときは、「スタート」 →「 プリンタと FAX」をクリックします。）

②「＜プリンタ名＞（コピー1）」を右クリックします。

③「プリンターのプロパティ」をクリックします。

（ Windows Vista/XP のときは「プロパティ」をクリックします。）

④「全般」タブをクリックします。

⑤「テスト ページの印刷」をクリックし、テスト印刷を行います。

⑥ テストページが印刷されたら、[閉じる]をクリックします。

以上で全ての作業は完了です。

第 4 章：詳細設定

ここでは、各設定画面の設定方法を説明します。

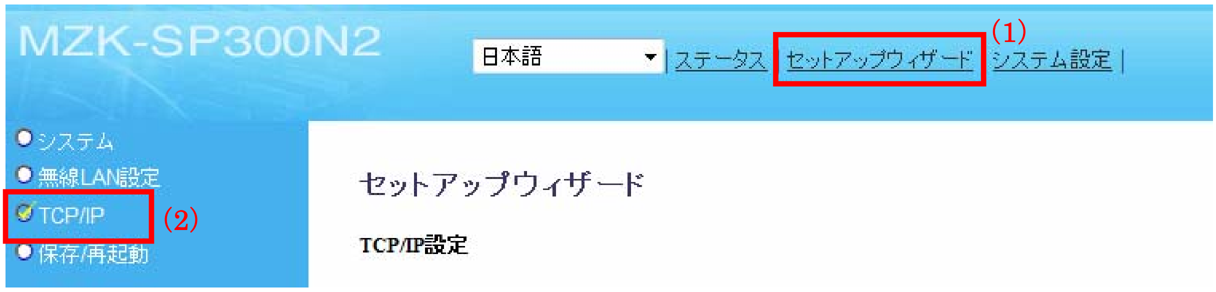
→設定画面の表示方法は、「3.4　設定画面を表示する」（P. 36）を参照してください。

4.1 ネットワーク関連の設定

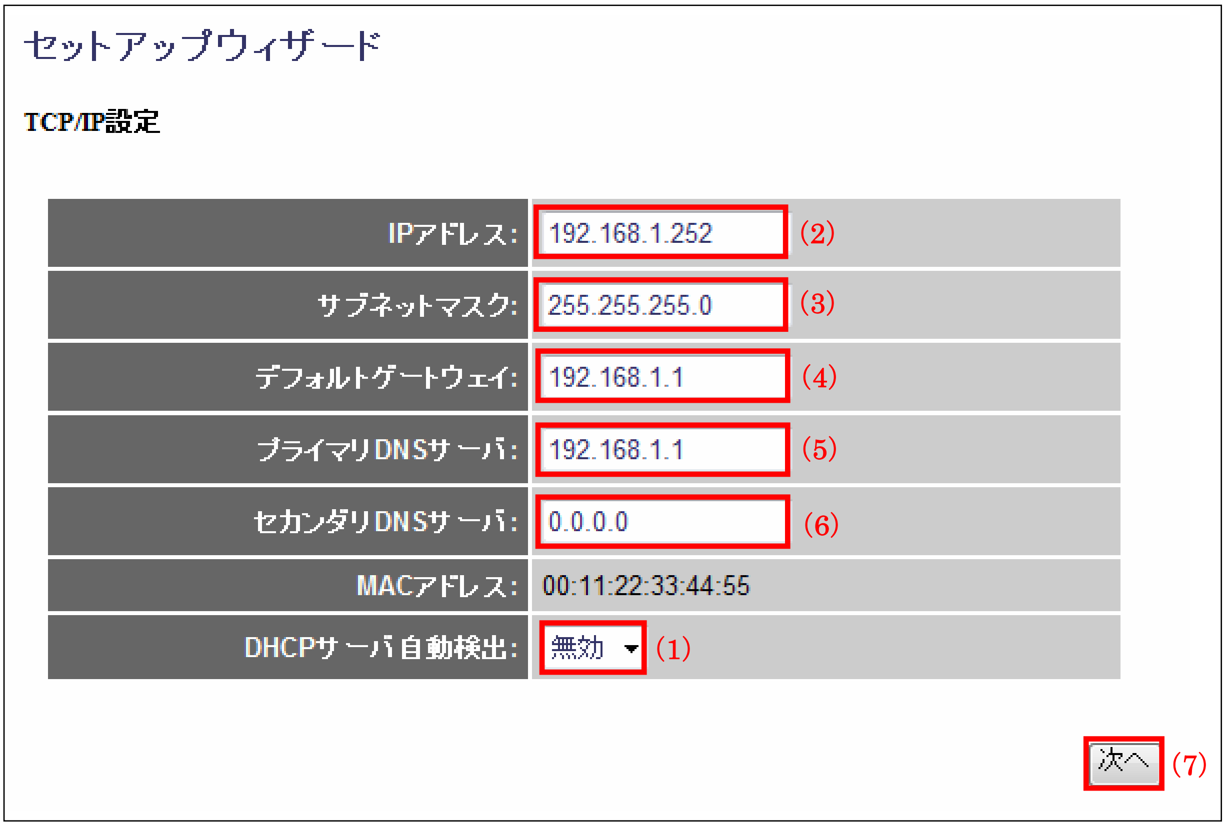
4.1.1 IP アドレスの手動設定

ここでは、IP アドレスを手動設定する方法を説明します。

1. （1）[セットアップウィザード]をクリックします。
   （2）[TCP/IP]をクリックします。



2. 設定します。



(1)「DHCP サーバ自動検出」を「無効」にします。

(2)お使いのネットワーク環境に合わせて、本製品の IP アドレスを入力します。

※初期値は「192.168.1.252」です。

(3)お使いのネットワーク環境に合わせて、本製品のサブネットマスクを入力します。

※初期値は「255.255.255.0」です。

(4)お使いのネットワーク環境に合わせて、本製品のデフォルトゲートウェイを入力します。

※初期値は「192.168.1.1」です。

(5)お使いのネットワーク環境に合わせて、プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

※初期値は「192.168.1.1」です。

(6)お使いのネットワーク環境に合わせて、セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

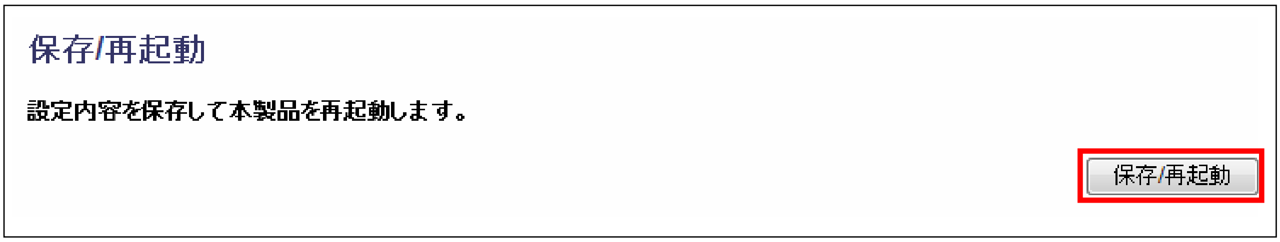
※初期値は「0.0.0.0」です。

(7)[次へ]をクリックします。

各設定項目内容は以下の通りです。

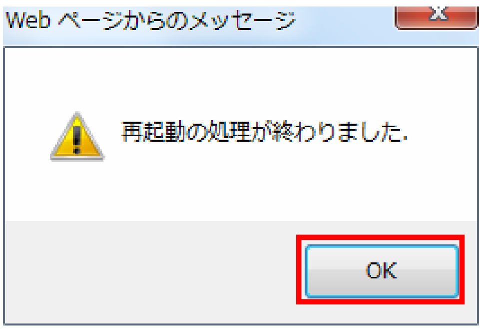
項目名	動作
DHCP サーバ自動検出	接続先に DHCP サーバがあるかないかを判断します。 **「有効」**: ◆ 上位ルータと接続したときは、本製品の IP アドレスを「xxx.xxx.xxx.AAA」に設定します。 ※「xxx.xxx.xxx」は上位のルータに依存します。 ※「DHCP サーバ自動検出」が「有効」のときに、任意に設定できるのは IP アドレス「xxx.xxx.xxx.AAA」の「AAA」の部分のみとなります。 その他の項目は、変更できません。 ◆ パソコンに接続したときは、本製品の DHCP サーバを有効にします。 **「無効」**: ◆ 「DHCP サーバ自動検出」を無効にします。 ※ 各項目を任意に設定してください。 ※ 「DHCPサーバ自動検出」が「無効」のときは、本製品に接続するパソコンのIPアドレスを手動で設定してください。設定方法は「6.3 IPアドレスの設定.」(P. 128)を参照してください。 ※初期設定は「有効」です。

3. [保存/再起動]をクリックします。



※再起動が終わるまでしばらく待ちます。

4. [OK]をクリックします。



以上で設定は完了です。

4.2 ステータス関連の設定

ここでは、ステータス関連の設定内容を確認する方法を説明します。

4.2.1 システム

ここでは、システム情報を確認します。

1. 「ステータス」をクリックします。

2. システム情報を確認します。



4.2.2 プリンタ

ここでは、接続されたプリンタの情報を確認します。

1. (1)「ステータス」をクリックします。
   (2)「プリンタ」をクリックします。

2. 接続されたプリンタの情報を確認します。



現在のステータス	「Off-Line」 :プリンタが接続されていません。 「Ready」　:プリンタの準備ができています。

4.2.3 TCP/IP

ここでは、TCP/IP 設定の情報を確認します。

1. (1)「ステータス」をクリックします。
   (2)「TCP/IP」をクリックします。

2. TCP/IP 設定の情報を確認します。



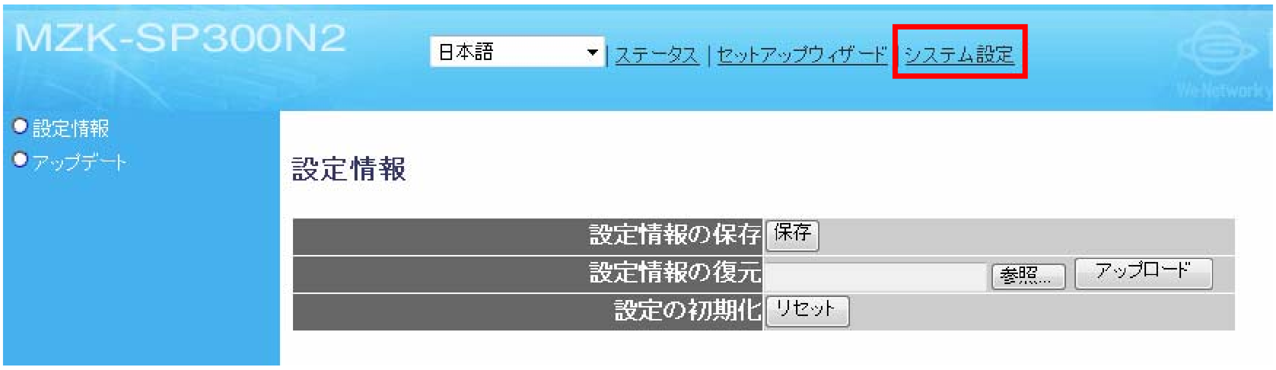
4.3 システム関連の設定

ここでは、システム関連の設定方法を説明します。

4.3.1 バックアップ/リストア

ここでは、現在の設定情報を保存や読み込みする方法を説明します。

1. 「システム設定」をクリックします。



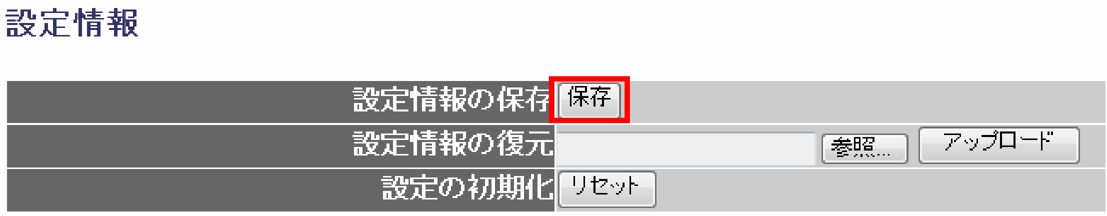
2. 設定します。

➢ バックアップをするときは、**【設定を保存するとき】**(P. 101)を参照してください。

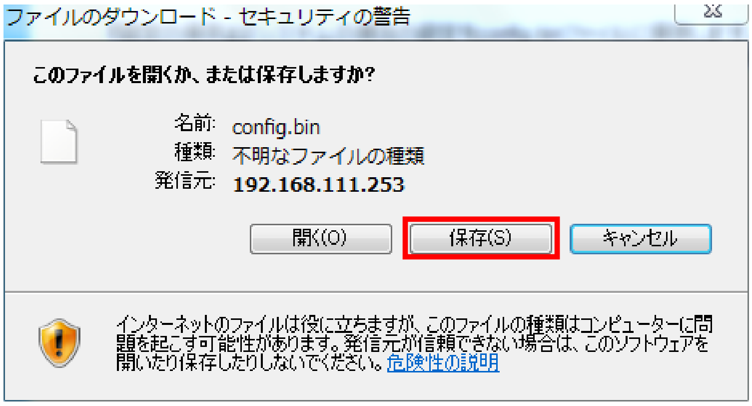
➢ リストアするときは、**【設定を復元するとき】**(P. 102)を参照してください。

【設定を保存するとき】

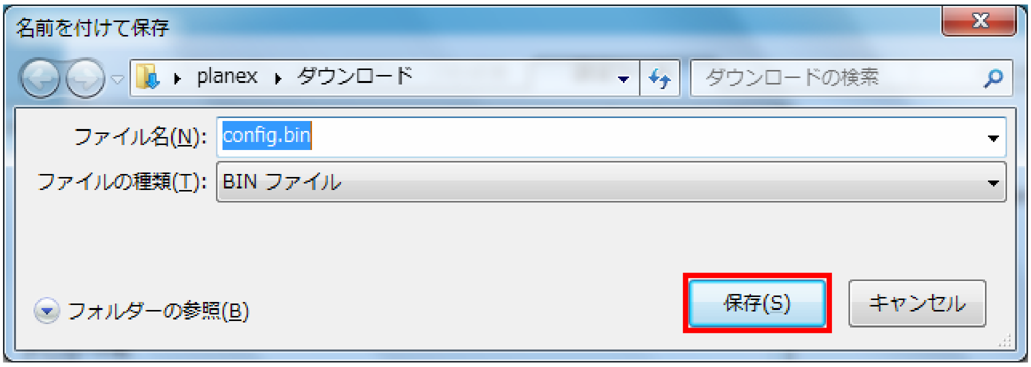
(1)[保存]をクリックします。



(2)[保存]をクリックします。



(3)設定ファイルのダウンロード先フォルダを指定して、[保存]をクリックします。

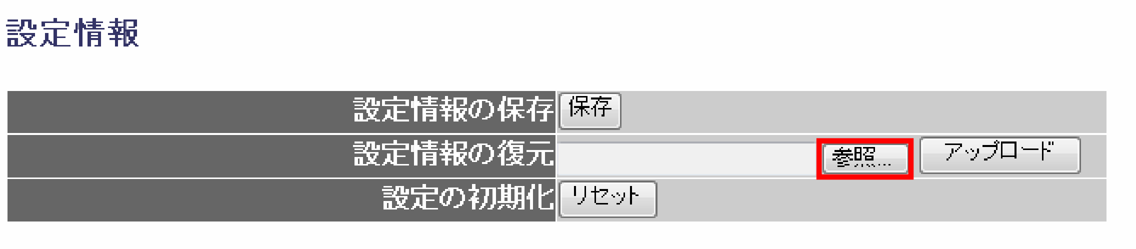


(4)[閉じる]が表示された場合は、[閉じる]をクリックします。

以上で設定は完了です。

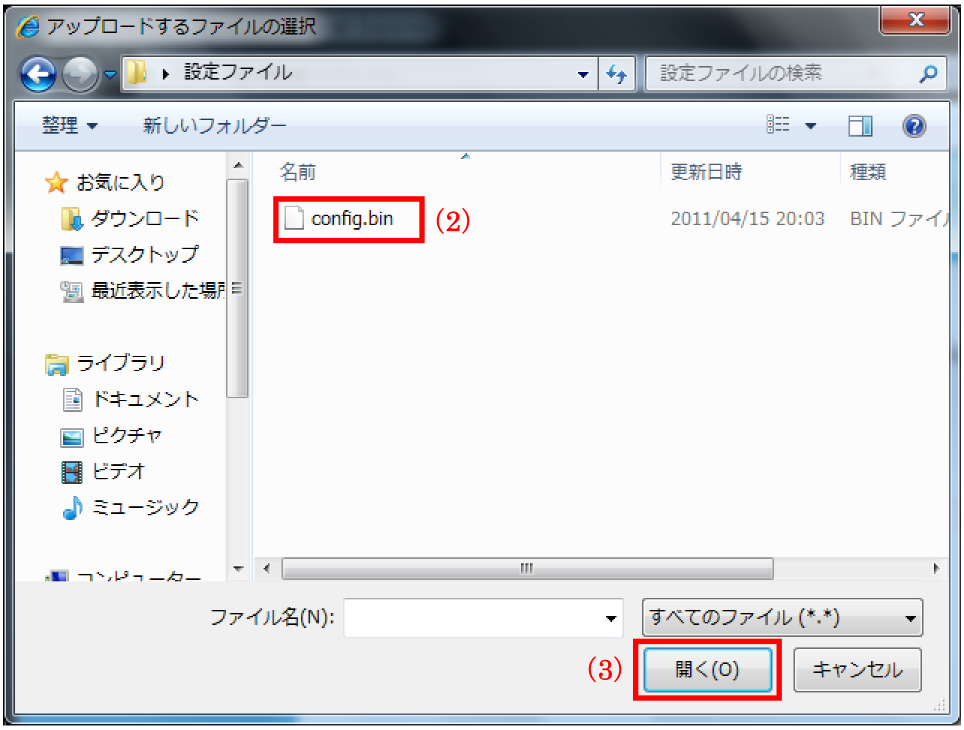
【設定を復元するとき】

(1) [参照]をクリックします。

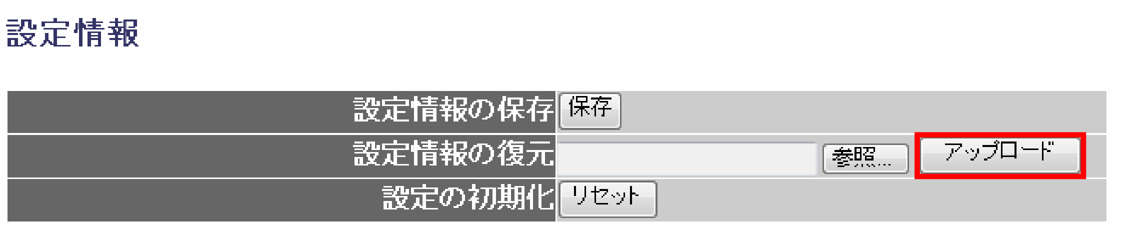


(2) あらかじめ保存した設定ファイルを指定します。

(3) [開く]をクリックします。



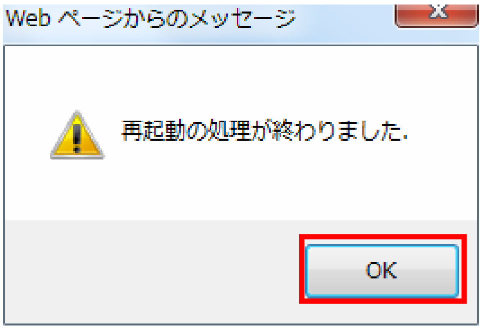
(4) [アップロード]をクリックします。



▼

本製品が再起動します。再起動が終わるまでしばらくお待ちください。

（5）［OK］をクリックします。



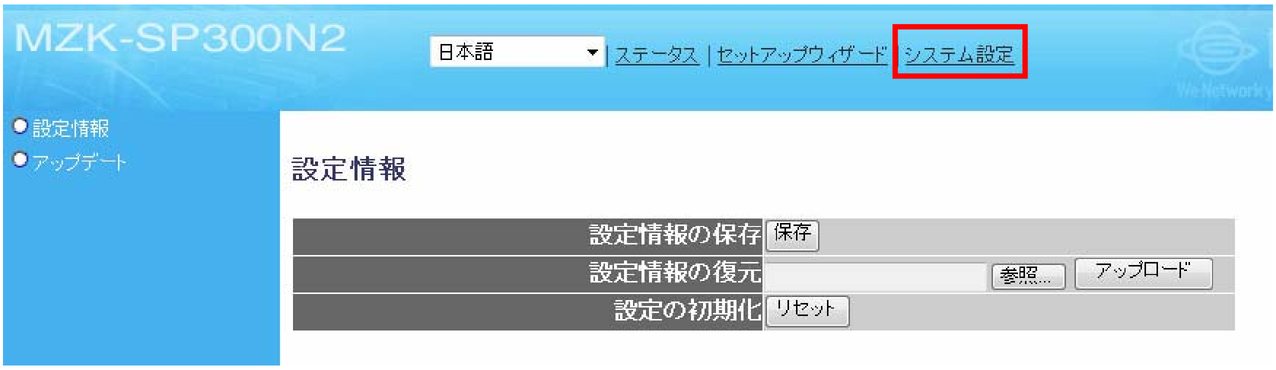
以上で設定は完了です。

4.3.2　初期化

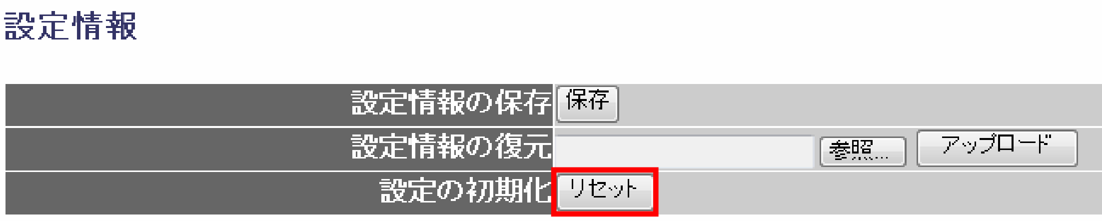
ここでは、本製品を初期化する方法を説明します。

※初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。
初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1.　「システム設定」をクリックします。



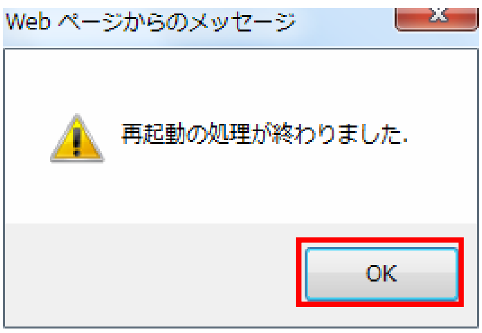
2.　[リセット]をクリックします。



▼

本製品が再起動します。再起動が終わるまでしばらくお待ちください。

3.　[OK]をクリックします。



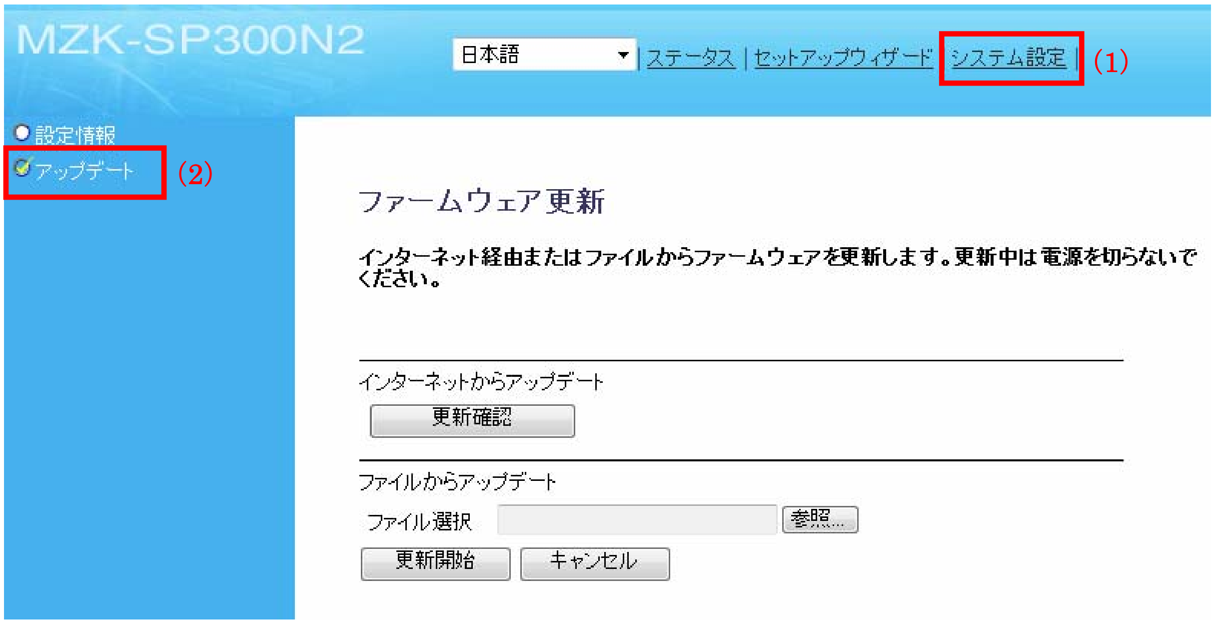
以上で設定は完了です。

4.3.3 ファームウェア更新

ここでは、ファームウェアを更新する方法を説明します。

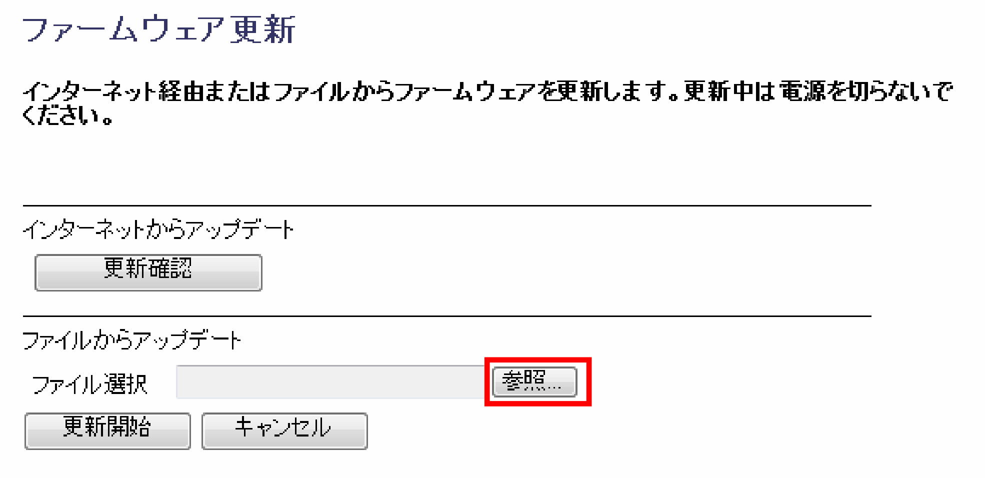
下記弊社のホームページより最新のファームウェアがあるときはダウンロードできます。
http://www.planex.co.jp/support/download/
あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、パソコンのハードディスクなどに保存しておいてください。

1. (1)「システム設定」をクリックします。
   (2)「アップデート」をクリックします。



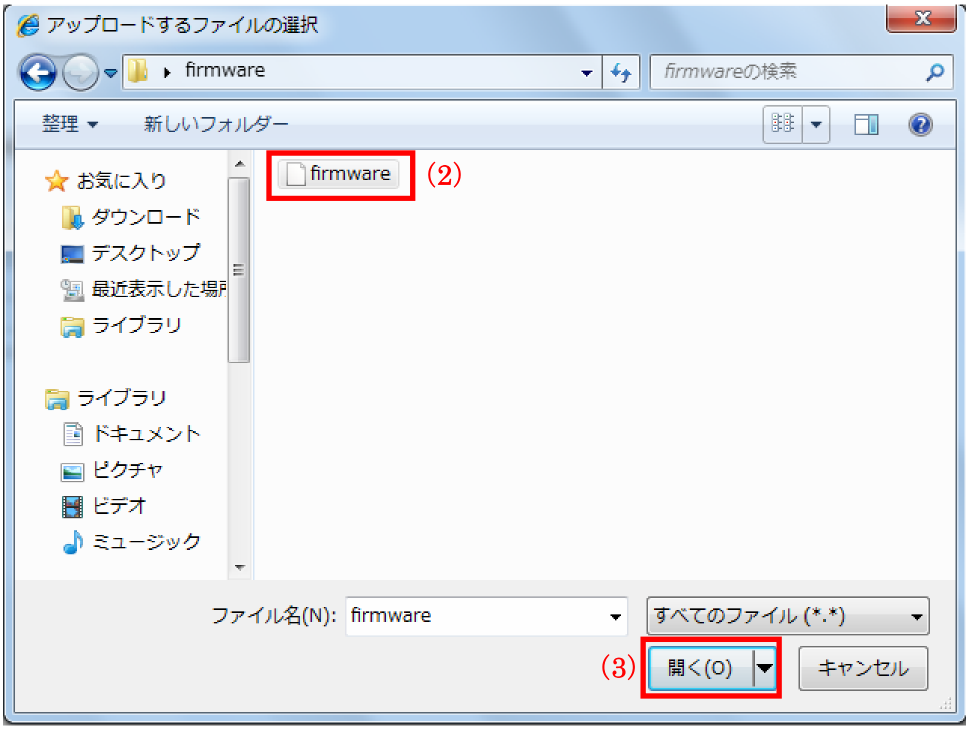
2. 設定します。

(1)[参照]をクリックします。

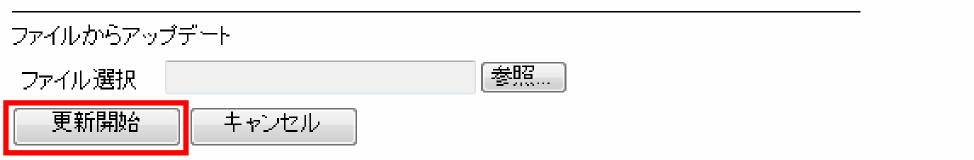


(2)あらかじめ保存した新しいファームウェアファイルを指定します。

(3)[開く]をクリックします。



(4)[更新開始]をクリックします。



※アップデートが終わるまでしばらく待ちます。

(5)確認メッセージが出ますので[OK]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
インターネットからアップデート	[更新確認]をクリックすると、インターネットからファームウェアをアップデートすることができます。

以上で設定は完了です。

第 5 章:その他の設定

5.1　MFP マネージャの設定

ここでは、付属ソフトウェア「MFP マネージャ」の各画面説明をします。
プリンタへの接続や切断に関する設定ができます。

「MFP　マネージャ」のインストール方法は、「スタートガイド」→「STEP　2　インストール/設定する」→「通常設定編　手順 2～16」をご参照ください。

【ユーティリティの表示方法】

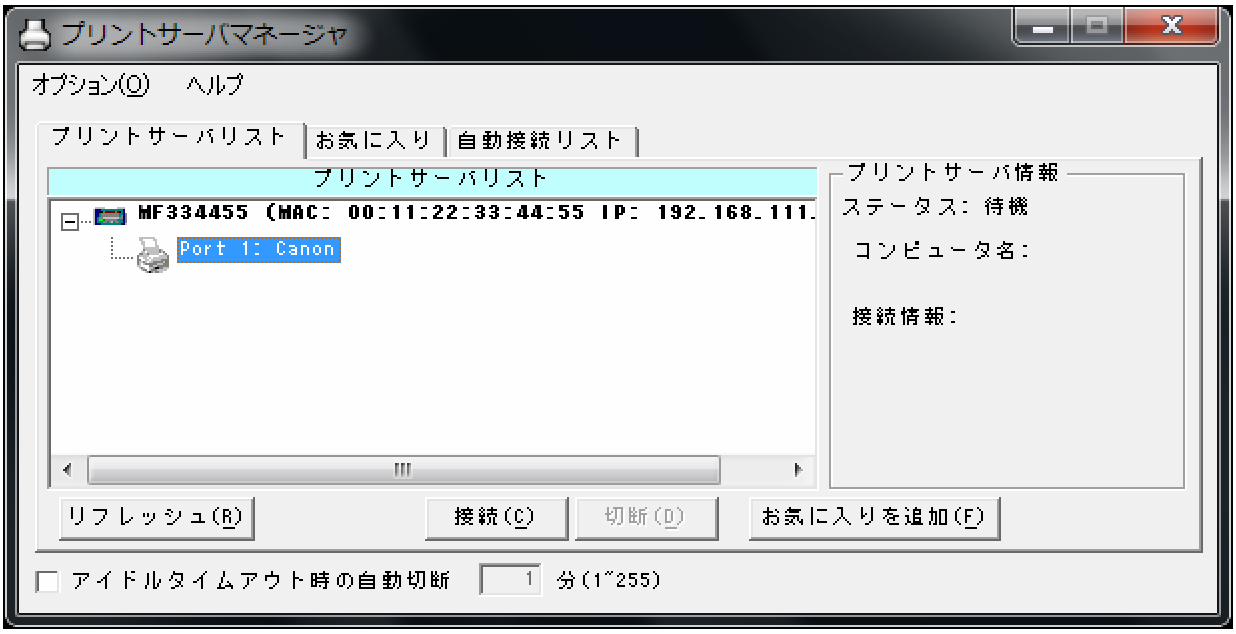
● システムトレイの本製品のアイコンをダブルクリックします。



● システムトレイに本製品のアイコンが表示されないときは、
「スタート」→「すべてのプログラム」→「MFP サーバユーティリティ」→「MFP マネージャ」をクリックします。

5.1.1 プリントサーバリスト

ここでは、プリントサーバリストの画面について説明します。



リフレッシュ	プリントサーバ情報を更新します。
接続	プリンタを選択して[接続]をクリックすると、そのプリンタが使用可能になります。
切断	使い終わったときは、[切断]をクリックします。
お気に入りを追加	お気に入りに追加できます。
アイドルタイムアウト時の自動切断	有効にすると指定した分数(1～255)で自動切断されます。 ※初期値は「無効」です。

5.1.2 お気に入り

ここでは、お気に入りの画面について説明します。



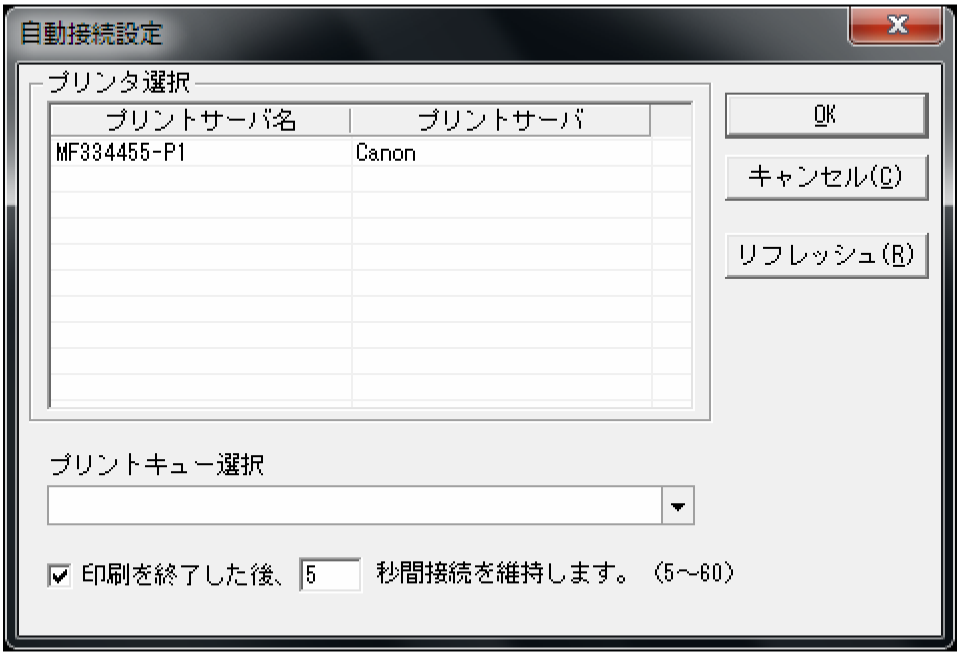
リフレッシュ	お気に入りのプリントサーバ情報を更新します。
接続	プリンタを選択して[接続]をクリックすると、そのプリンタが使用可能になります。
切断	使い終わったときは、[切断]をクリックします。
削除	選んだプリンタをお気に入りから削除します。
アイドルタイムアウト時の自動切断	有効にすると指定した分数(1～255)で自動切断されます。 ※初期値は「無効」です。

5.1.3 自動接続リスト

ここでは、自動接続リスト画面について説明します。
自動接続リストに登録すると、再起動の度に設定し直す必要がありません。



追加	クリックすると下記の「自動接続設定」画面になります。 ※操作方法は、「スタートガイド」→「STEP 3 プリンタを登録する」→「手順 2～6」をご参照ください。
削除	自動接続に設定したリストを削除します。
編集	登録済みのプリンタの設定内容を変更できます。
アイドルタイムアウト時の自動切断	有効にすると指定した分数(1～255)で自動切断されます。 ※初期値は「無効」です。



プリンタ選択	自動接続するプリントサーバを選択します。
プリントキュー選択	パソコンにインストールされているプリンタが表示されます。 適切なものを選択します。
印刷を終了した後、	連続印刷をするときに有効にします。 ※初期値は「有効」です。 接続を維持する秒数を「5～60」で任意に設定します。 ※初期値は「5」です。
リフレッシュ	プリントサーバ名を更新します。

第 6 章：困ったときは

6.1 トラブルシューティング

もし本製品が正常に動作しないとき、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。トラブルの解決に役立つ可能性があります。

症状	可能な解決策
電源が入らない	本製品の電源が入らないときは、次の内容を確認してください。 ・ AC アダプタが正しく接続されているか ・ 同梱品以外の AC アダプタを使用していないか ・ 延長コードやタップを使用しないときはどうか ・ 他のコンセント差込口ではどうか ・ 正しい電源、電圧で使用しているか それでも改善されないときは、恐れ入りますが、本製品の不具合の可能性がございますので、同梱の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認いただき、ご同意のうえで、修理を依頼してください。 ※ご同意いただけない場合は、ご購入の販売店にご返却ください。ただし、お客様の過失で製品にキズ、欠損、欠品などがある場合にはご返却いただけません。
設定画面にログインできない	設定画面にログインできないときは、次の内容を確認してください。 ・ IP アドレスは「自動取得」になっているか ・ WEB ブラウザにプロキシサーバーの設定をしていないか ・ WEB ブラウザでセキュリティを高く設定していないか ・ セキュリティソフトウェア（ウィルスチェック、ファイアウォールなど）を停止させて改善されるか それでも改善されないときは、本製品を初期化し、再度ログインをお試しください。

症状	可能な解決策
インターネットに接続できない	インターネットに接続できないときは、次の内容を確認してください。 ・ 設定後すぐにはつながらないとき、2～3 分程待って再度試して改善するか ・ パソコンの IP アドレスは自動取得になっているか ※設定方法は「6.3.1　自動設定」(P. 117)を参照してください。 ・ すべての機器の電源を OFF にして、60 分ほどそのままの状態にして改善するか ・ IP アドレスでホームページにアクセスできるか ※ブラウザのアドレスに「http://210.197.79.10」と入力して<Enter>キーを押して、弊社(プラネックス)のホームページが表示されるか確認してください。 ・ セキュリティソフトウェア(ウィルスチェック、ファイアウォールなど)を停止させて改善されるか それでも改善されないときは、本製品を初期化後、「セットアップウィザード」をお試しください。
無線 LAN がつながらない	無線 LAN がつながらないときは、次の内容を確認してください。 ・ 本製品と無線 LAN ルータ(親機)との間に距離がないか ・ 本製品と無線 LAN ルータ(親機)との間に障害物がないか ・ 電子レンジの傍で接続をしていないか ・ 本製品の Wireless ランプ(LED ランプ)が点滅しているか ・ 無線 LAN が無効になっていないか ・ ワイヤレスネットワークの IP アドレスが手動設定になっていないか ・ 無線 LAN ルータ(親機)に設定されている SSID および無線 LAN セキュリティ設定と同じになっているか ・ ルータ側の無線チャンネルを変更して改善されるか それでも改善されないときは、本製品を初期化後、「セットアップウィザード」をお試しください。
プリンタが表示されないとき	プリンタが表示されないときは、次の内容を確認してください。 ・ プリンタの電源がオンになっているか確認してください。 ・ 本製品に USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

6.2 初期化の方法

次のようなときは、本製品を工場出荷時状態に戻していただき、再度設定をお試しください。

- 本製品の IP アドレスを変更し、変更後の IP アドレスを忘れてしまったとき
- お客様が設定された内容を元に戻したいとき

注意：初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。
初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. 本製品側面のリセットボタンを 3 秒以上長押しして、「Power」ランプが点滅したら、リセットボタンから離します。
3. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。

6.3 IP アドレスの設定.

6.3.1　自動設定

パソコンの IP アドレスを DHCP サーバから取得する方法に設定します。
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき…………………………………「6.3.1.1　Windows 7」(P. 117)
- Windows Vistaのとき……………………………「6.3.1.2　Windows Vista」(P. 120)
- Windows XPのとき…………………………………「6.3.1.3　Windows XP」(P. 123)
- Mac OS Xのとき…………………………………「6.3.1.4　Mac OS X」(P. 126)

6.3.2　手動設定

パソコンの IP アドレスを手動で設定します。
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき…………………………………「6.3.2.1　Windows 7」(P. 128)
- Windows Vistaのとき……………………………「6.3.2.2　Windows Vista」(P. 131)
- Windows XPのとき…………………………………「6.3.2.3　Windows XP」(P. 134)
- Mac OS Xのとき…………………………………「6.3.2.4　Mac OS X」(P. 137)

6.3.1 自動設定

6.3.1.1 Windows 7

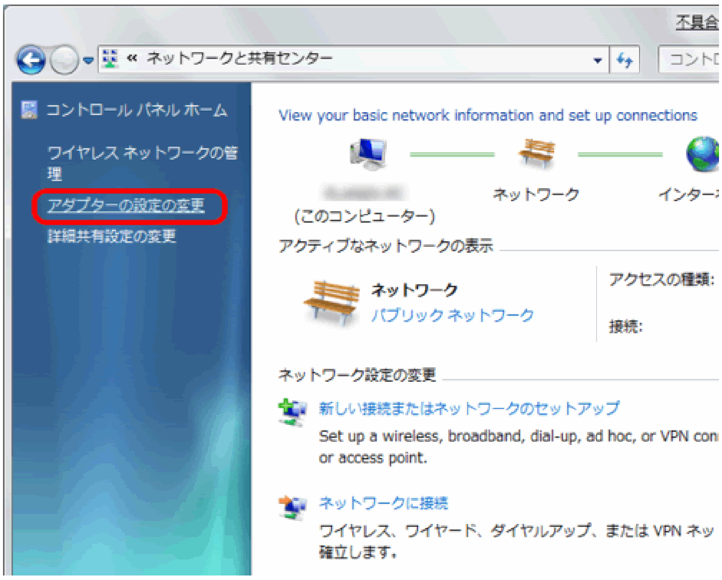
1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。



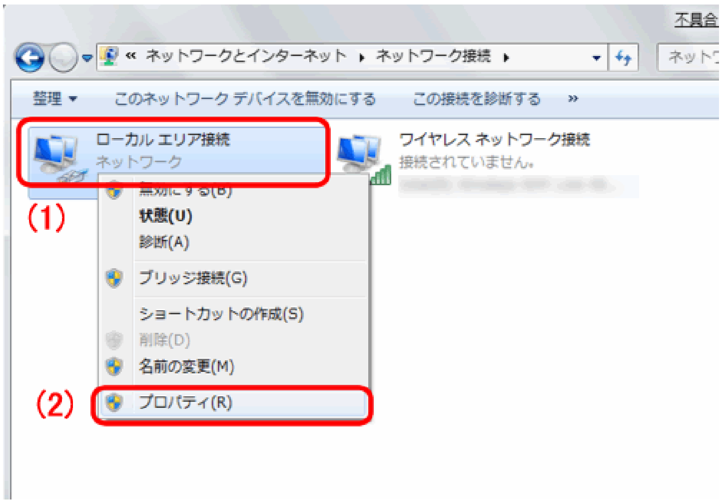
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



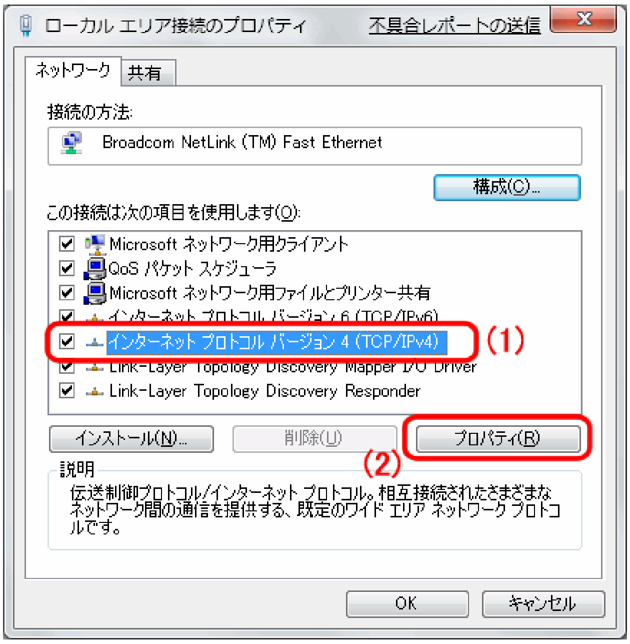
3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



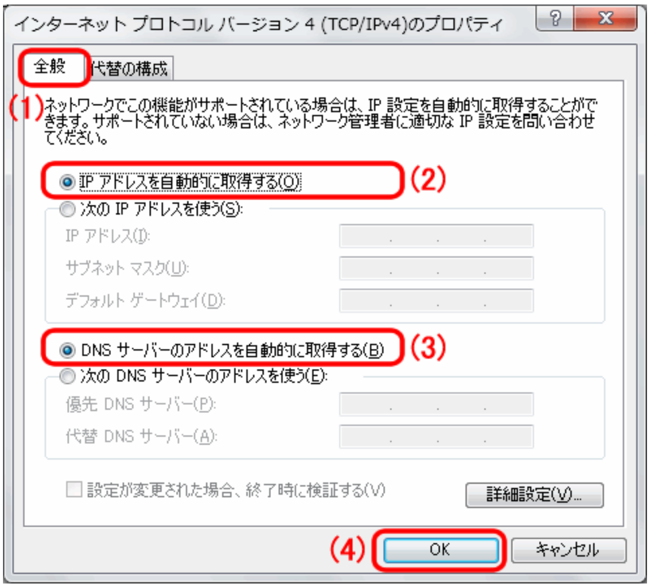
4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。
   (2)「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選びます。
(2) [プロパティ]をクリックします。



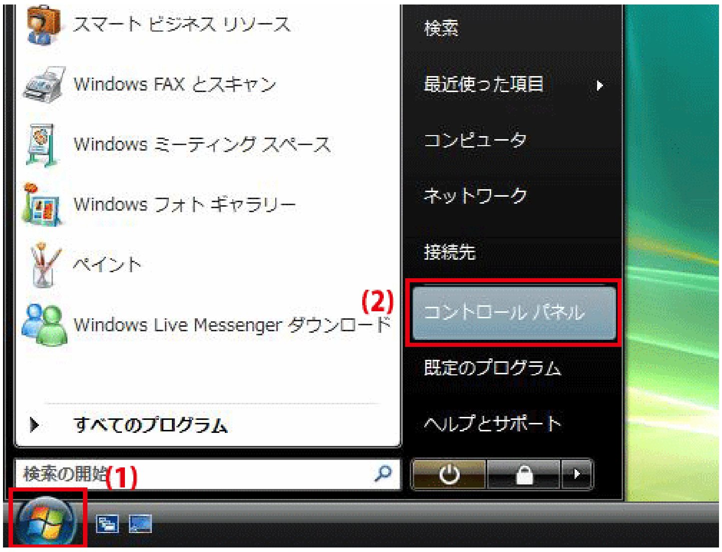
6. (1)「全般」タブをクリックします。
(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。
(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。
(4)[OK]をクリックします。
※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。



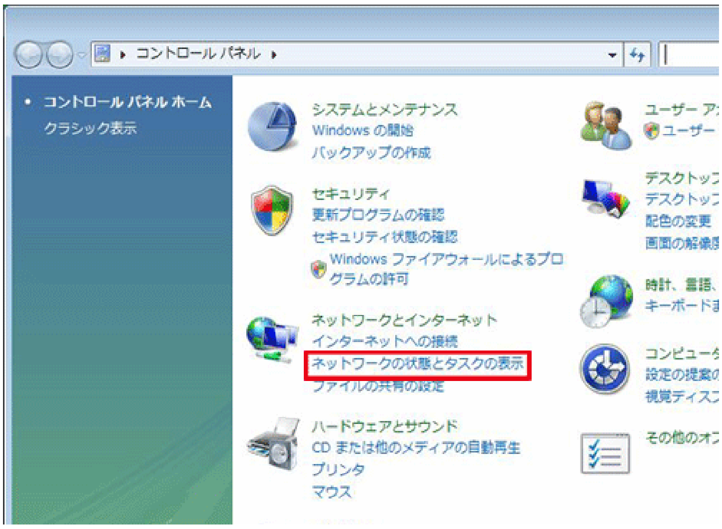
7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

6.3.1.2 Windows Vista

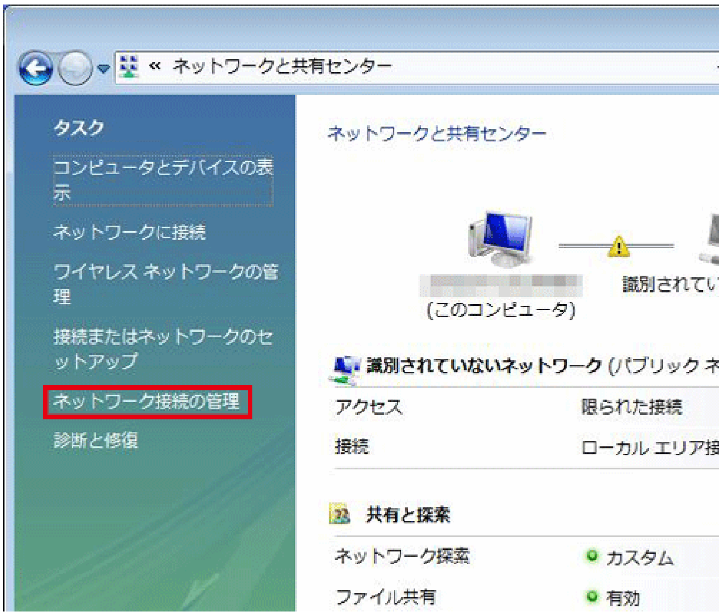
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



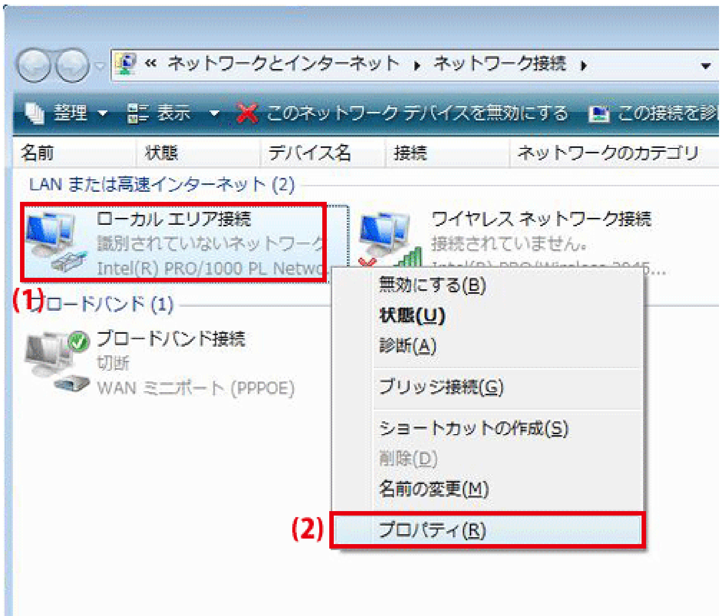
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

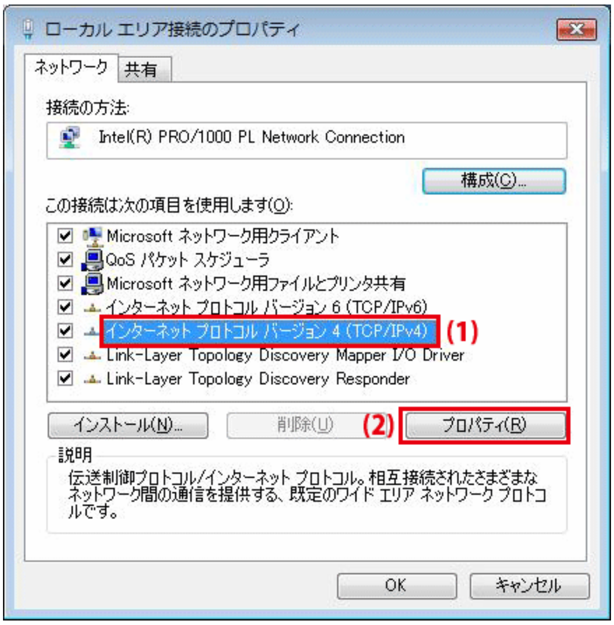


4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。



5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。
 ［続行］をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、[プロパティ]をクリックします。



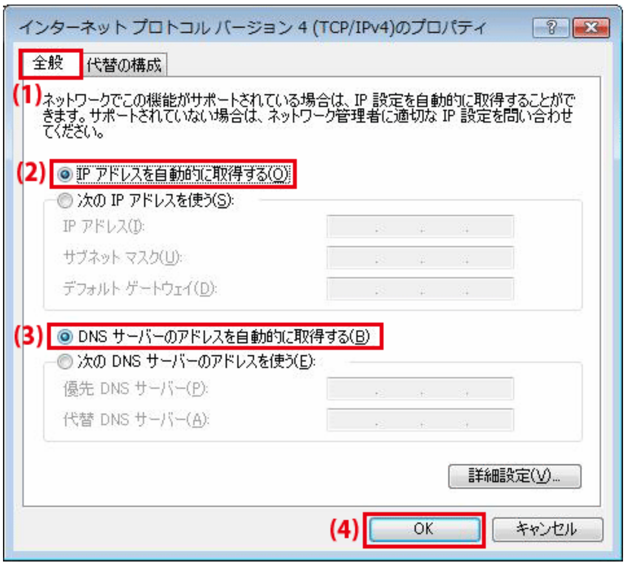
7. （1）「全般」タブをクリックします。

（2）「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

（3）「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

（4）[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。



8. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

6.3.1.3 Windows XP

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

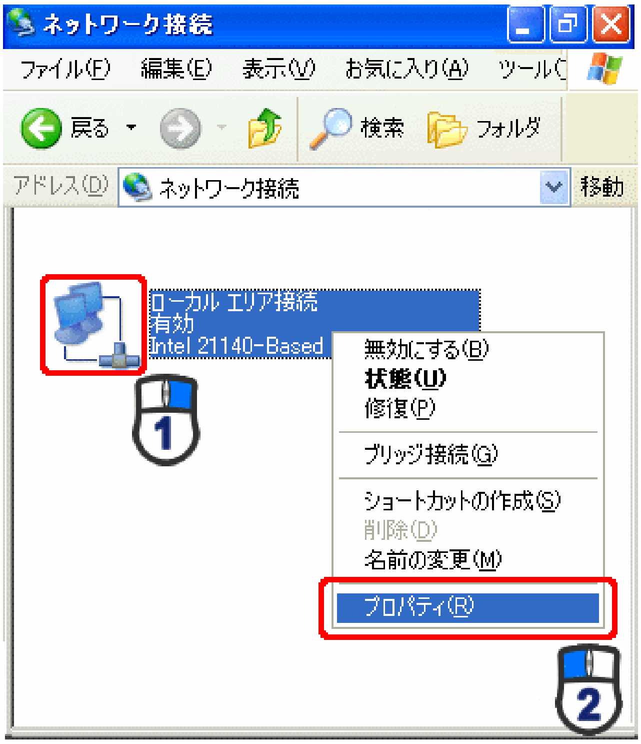


※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」を
ダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。



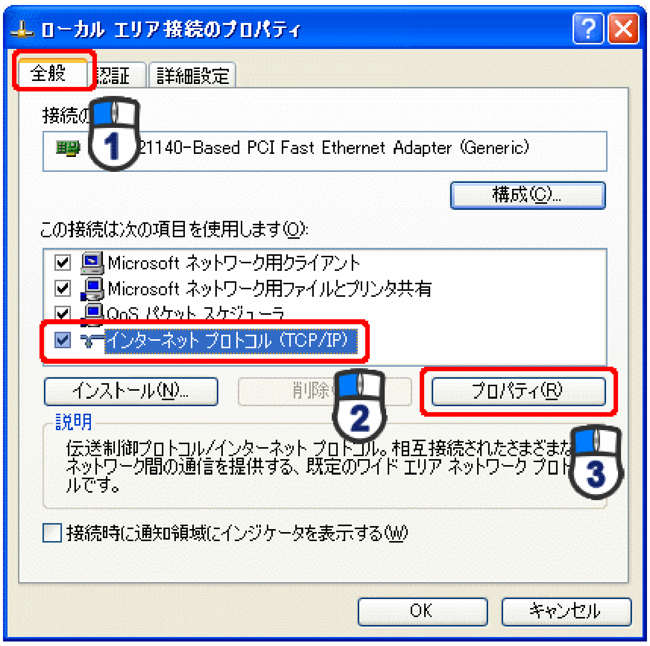
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

(3)[プロパティ]をクリックします。

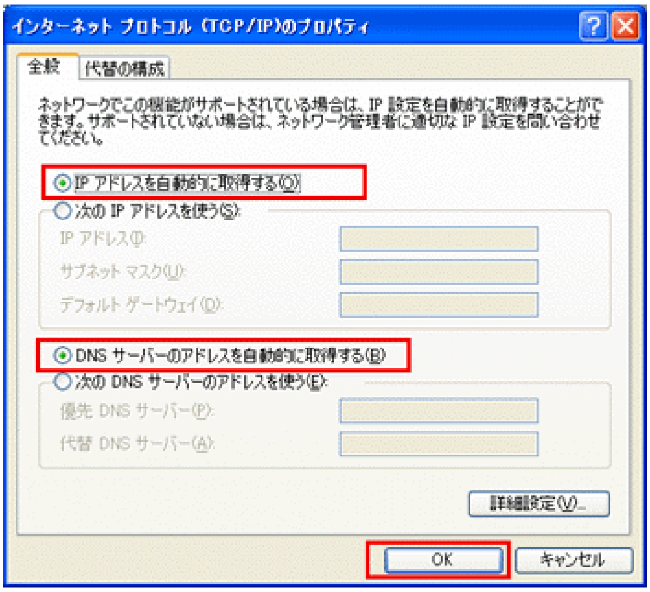


6. （1）「IP アドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

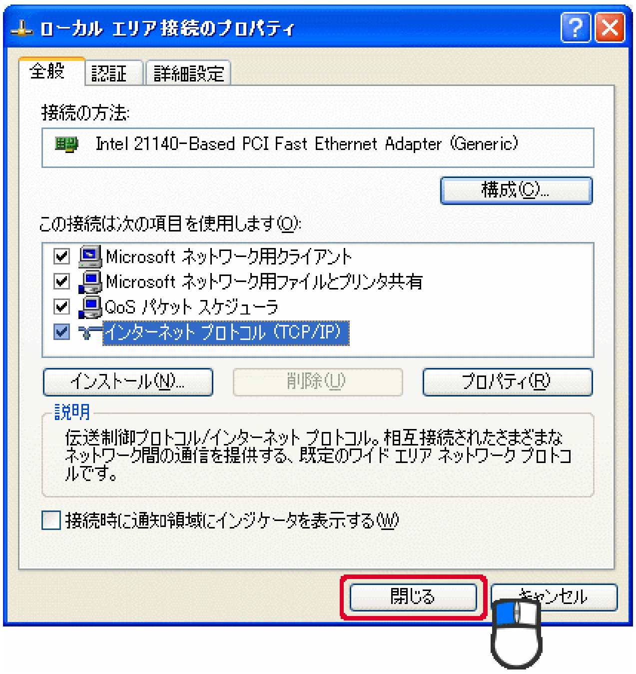
（2）「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

（3） [OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。



7. ［閉じる］または［OK］をクリックします。

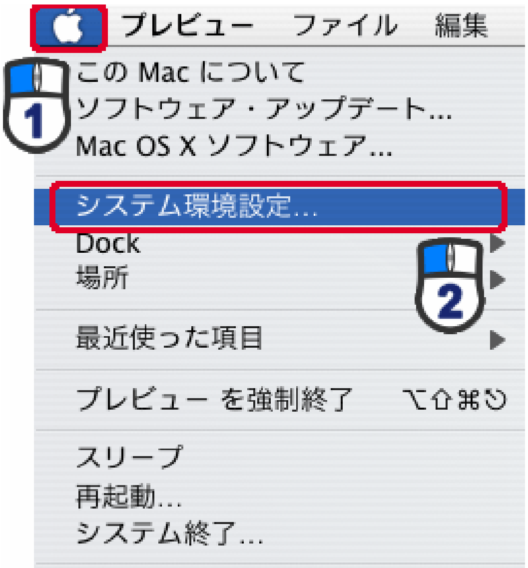


6.3.1.4 Mac OS X

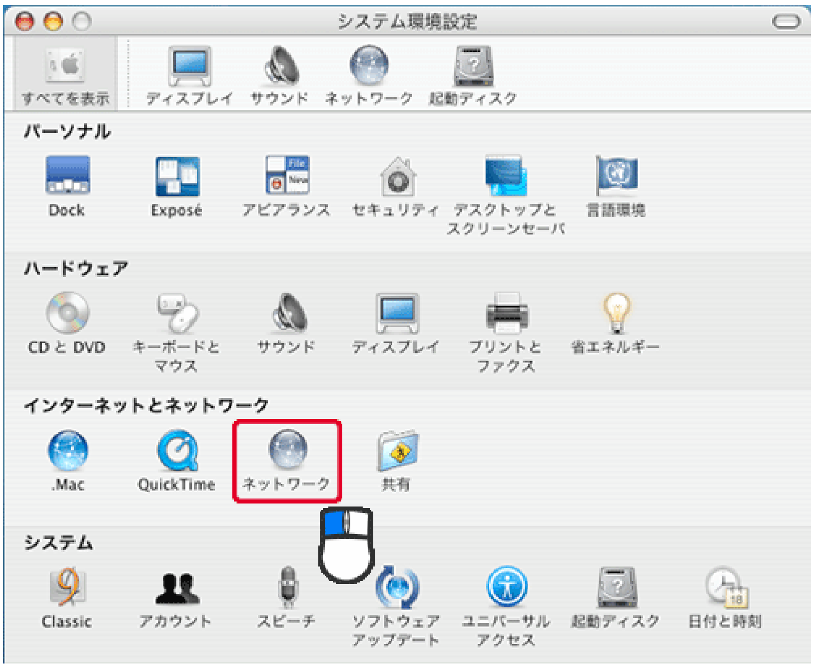
ご注意

- 表示される画面は Mac OS のバージョンによって異なります。
- 以下の手順では、Mac OS X(10.4)の画面で説明しています。

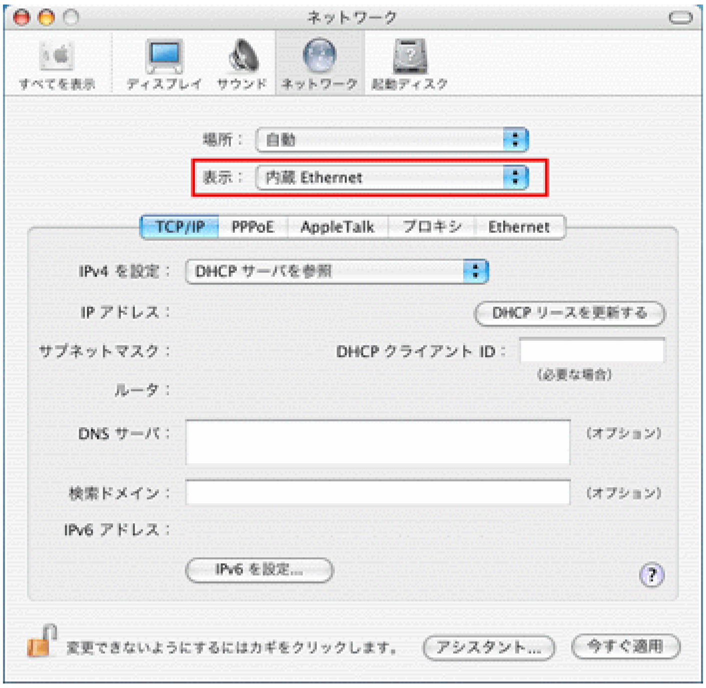
1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。



2. 「インターネットとネットワーク」の「ネットワーク」をクリックします。

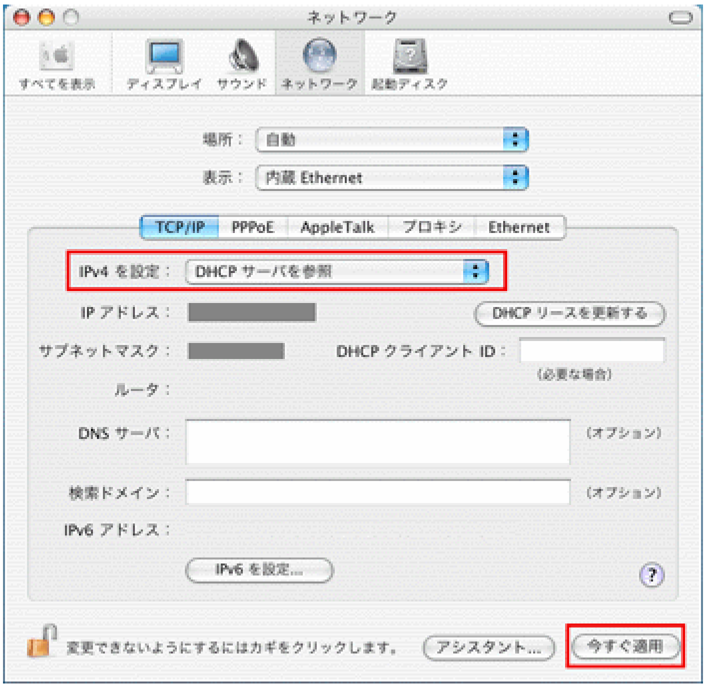


3.　「ネットワーク」の画面が表示されます。
「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択します。



※[DHCP サーバを参照]が表示されていないときは、[PPPoE]タブをクリックし、「PPPoE を使って接続する」のチェックをオフにします。

4.　「TCP/IP」タブの「IPv4 を設定」欄から「DHCP サーバを参照」を選択します。



5.　[今すぐ適用]をクリックします。

6.3.2　手動設定

6.3.2.1　Windows 7

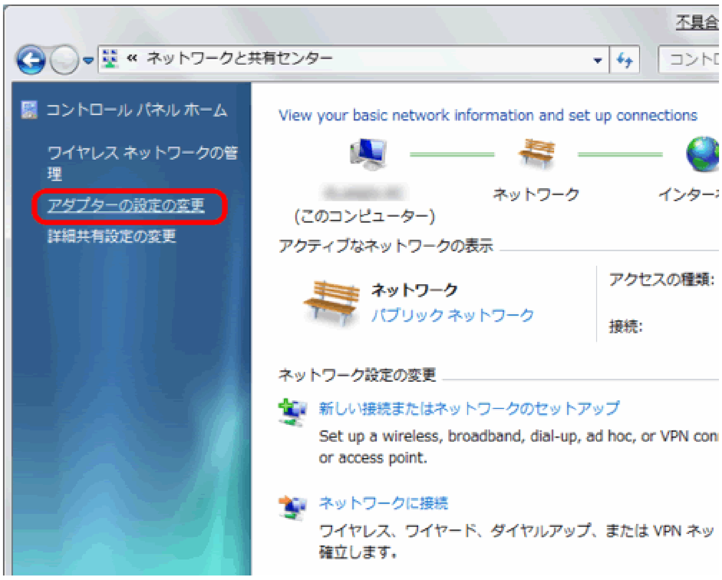
1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。



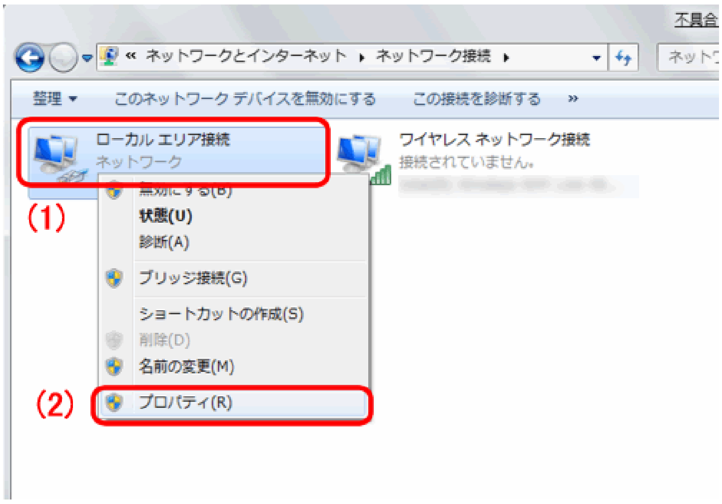
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。

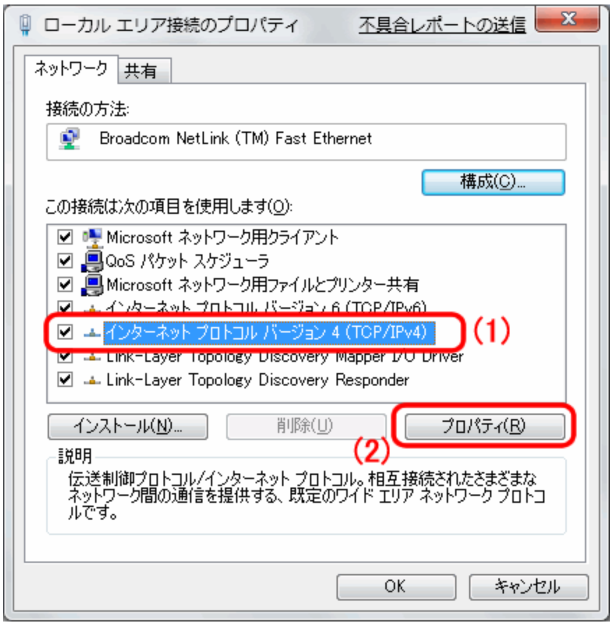


4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。
(2)「プロパティ」をクリックします。



5. （1）「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選びます。

（2）[プロパティ]をクリックします。



6. （1）「次の IP アドレスを使う」を選びます。

（2）「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」（「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨）と入力します※。

（3）「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

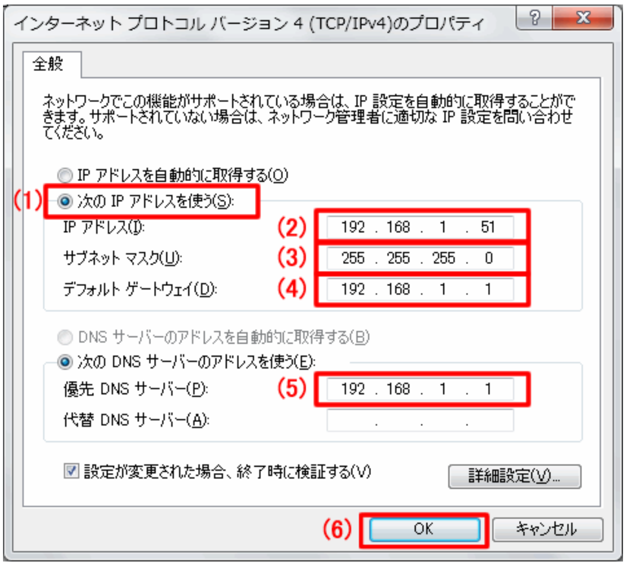
（4）「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

（5）「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

（6）[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

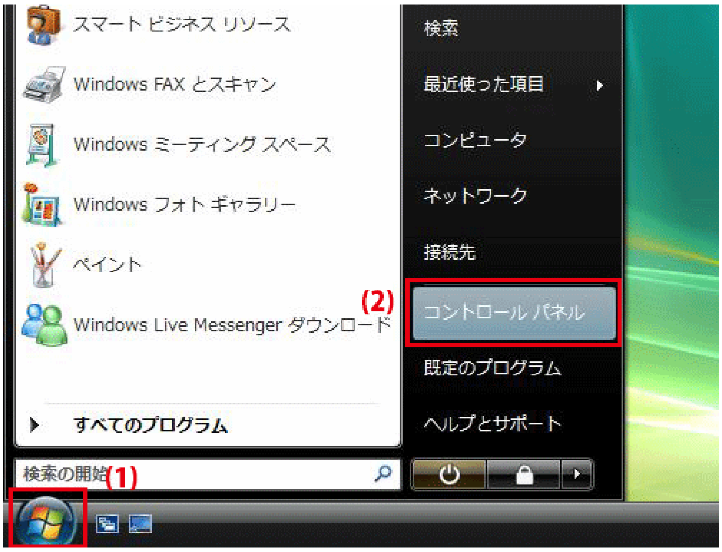
※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



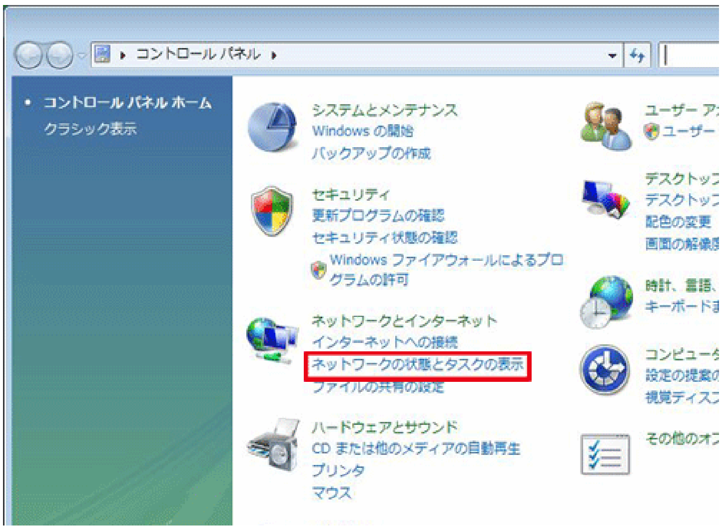
7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

6.3.2.2 Windows Vista

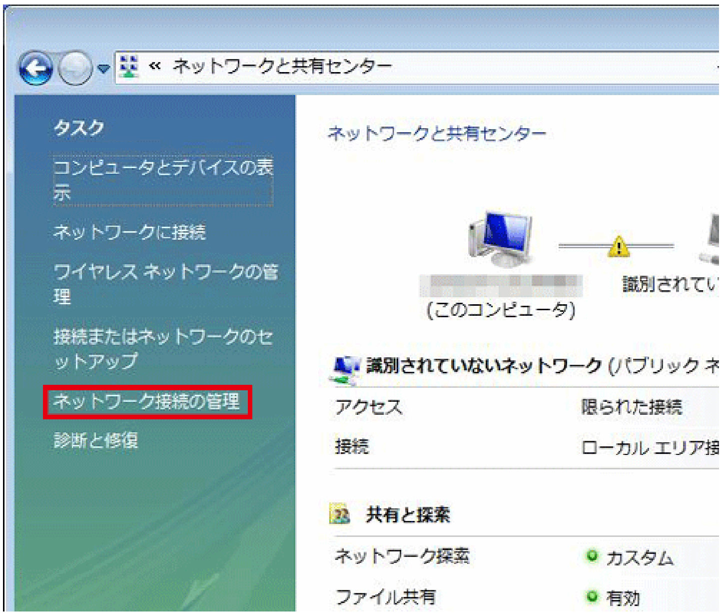
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



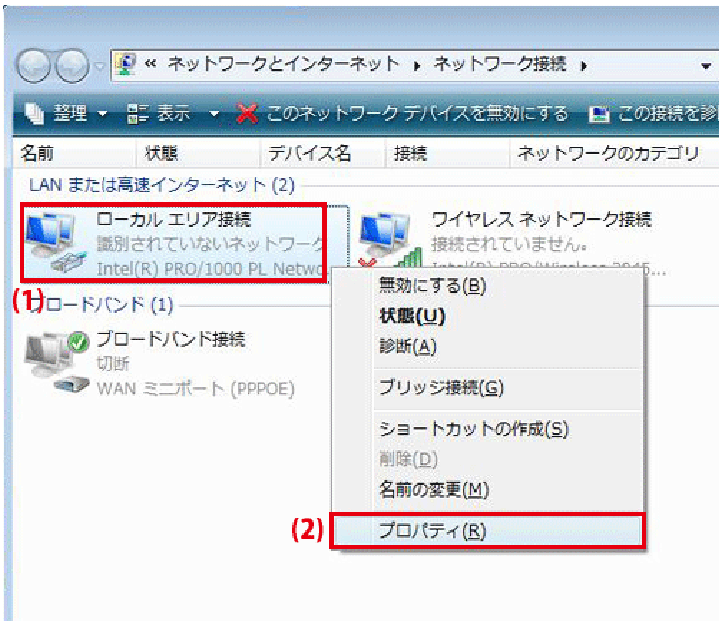
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をダブルクリックします。



3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。



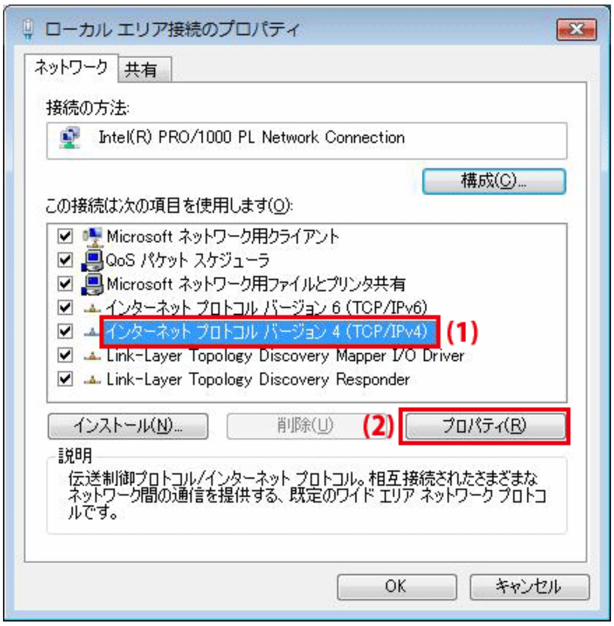
4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。



5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。

［続行］をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選び、[プロパティ]をクリックします。



7. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

(2)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します※。

(3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

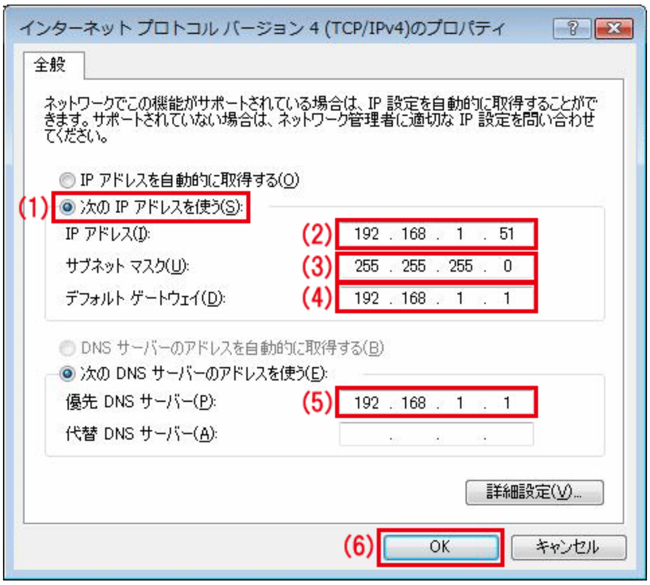
(4)「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

(5)「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

(6)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



8. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

6.3.2.3 Windows XP

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

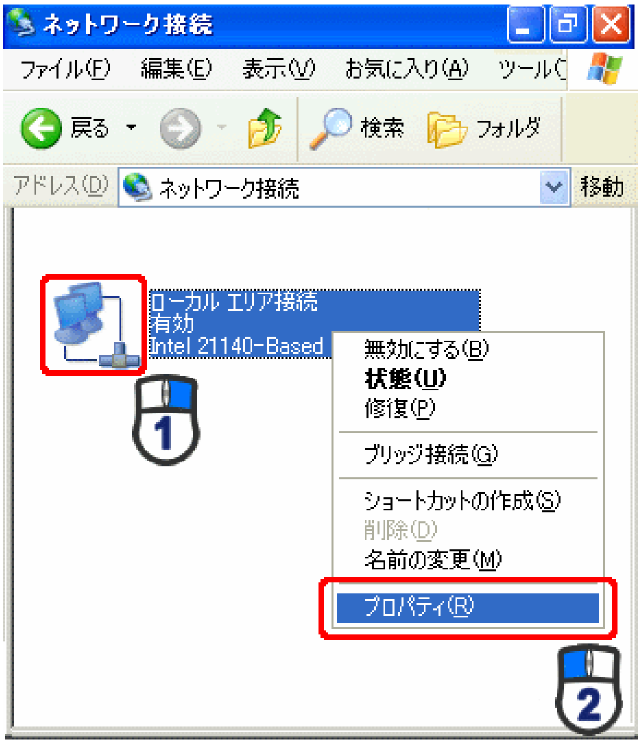


※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」を
ダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。



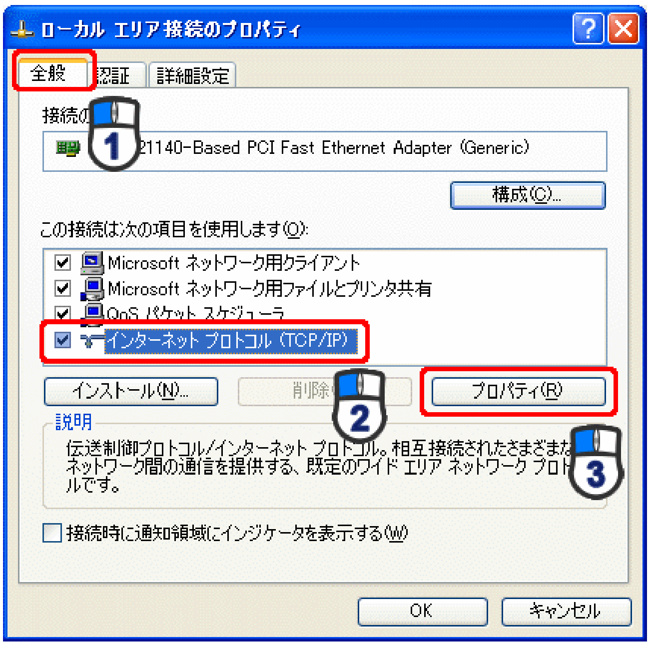
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

(3)[プロパティ]をクリックします。



6. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

(2)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します ※。

(3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

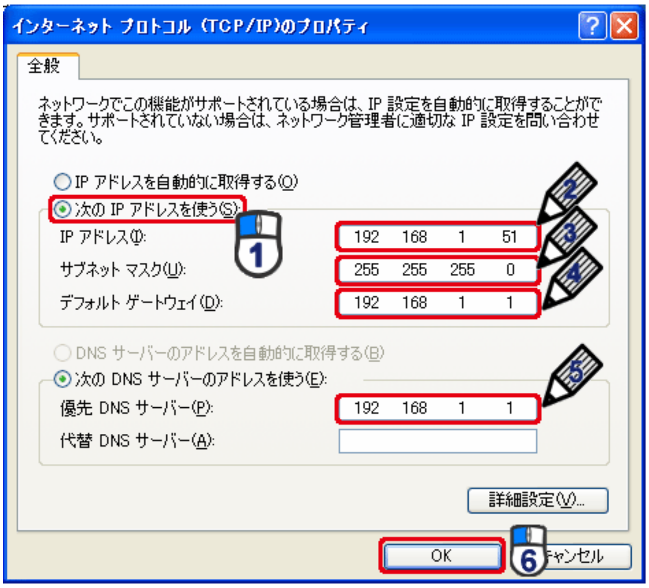
(4)「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

(5)「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

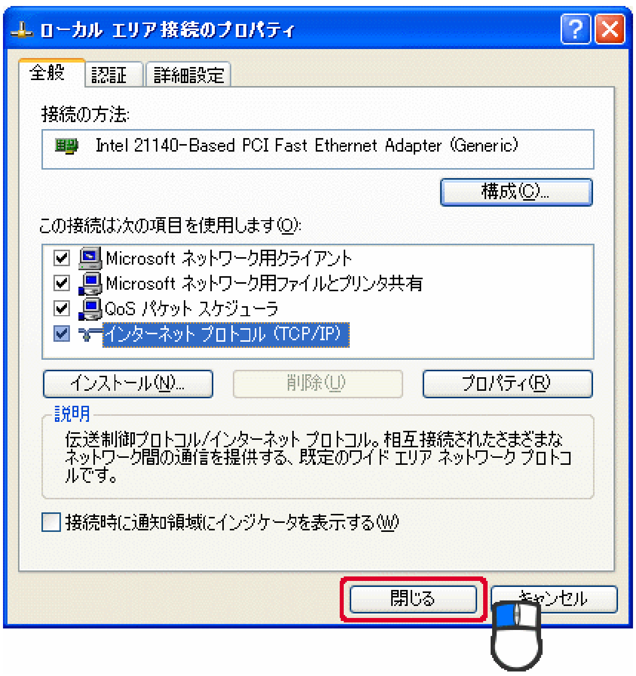
(6)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



7. [閉じる]または[OK]をクリックします。



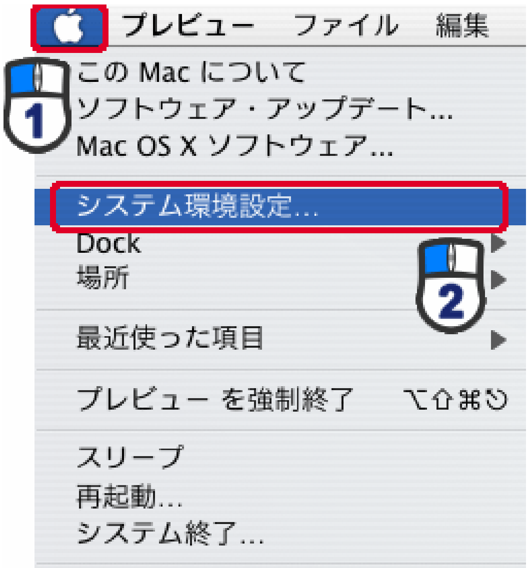
6.3.2.4 Mac OS X

ご注意

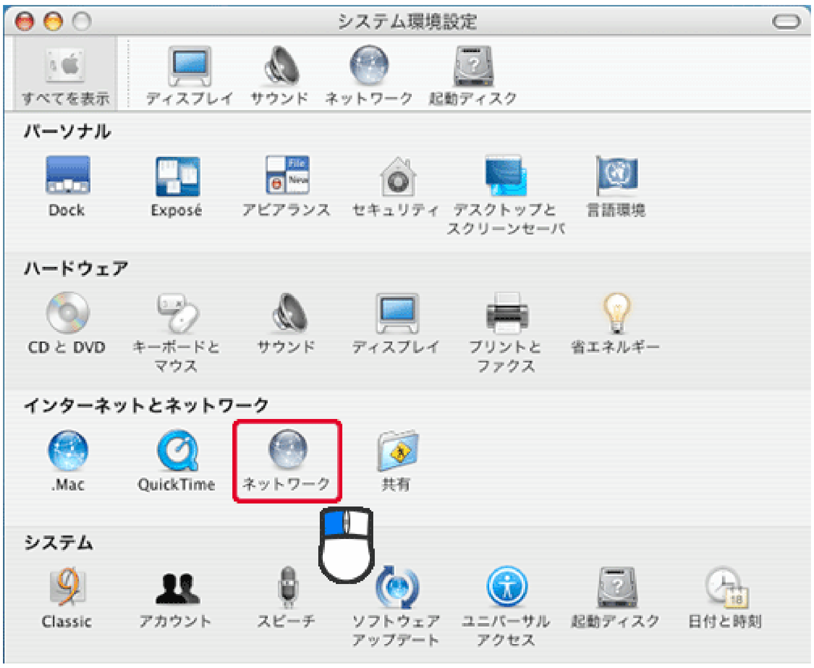
・ 表示される画面は Mac OS のバージョンによって異なります。

・ 以下の手順では、Mac OS X(10.4)の画面で説明しています。

1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。



2. 「インターネットとネットワーク」の 「ネットワーク」をクリックします。



3. (1)「表示」から「内蔵 Ethernet」を選びます。

(2)「TCP/IP」タブをクリックします。

(3)「IPv4 を設定」から「手入力」を選びます。

(4)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します※。

(5)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

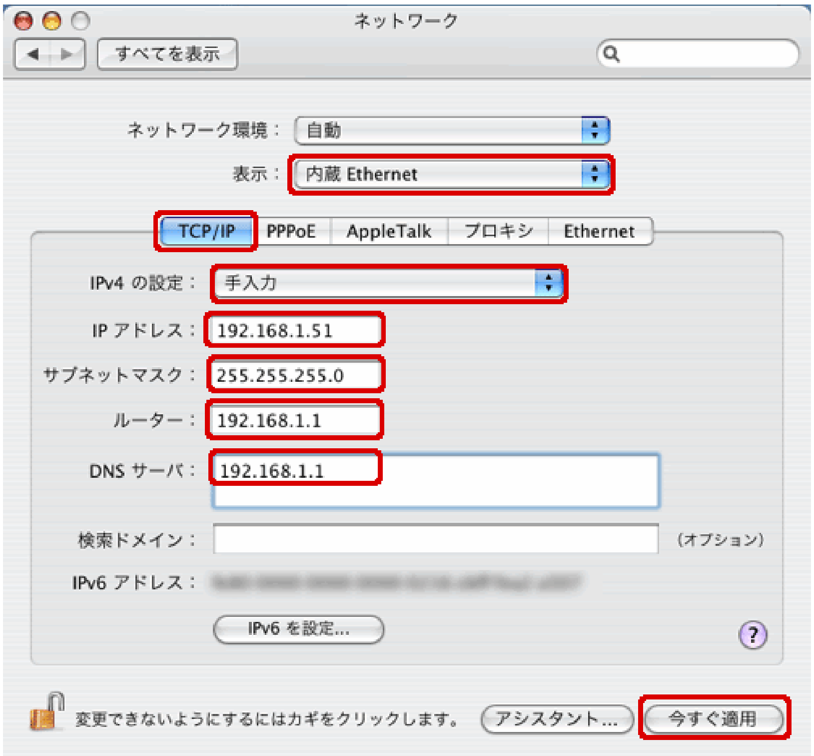
(6)「ルーター」に「192.168.1.1」と入力します。

(7)「DNS サーバ」に「192.168.1.1」と入力します。

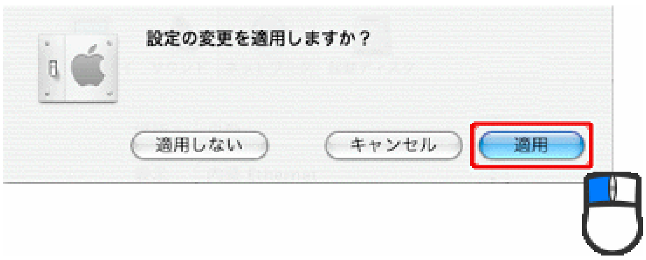
(8)[今すぐ適用]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



4. [適用]をクリックします。



第 7 章:製品仕様

型番	MZK-SP300N2
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯(2,412～2,472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n(40MHz) :最大 300Mbps
	IEEE802.11g:54、48、36、24、18、12、9、6Mbps
	IEEE802.11b:11、5.5、2、1Mbps
伝送方式	IEEE802.11n:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11g:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS 方式)
アンテナ利得	2dBi
アンテナ	内蔵アンテナ 2 本(2T2R)
アクセス方式	インフラストラクチャモード
自動無線設定機能	WPS
セキュリティ	WPA2-PSK(暗号化方式:AES)
	WPA-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA-PSK(暗号化方式:AES)
	WEP(キー長:64bit/128bit、キーフォーマット:ASCII/Hex)
	無効(暗号なし)
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)
	IEEE802.3i(10BASE-T)
インターフェース	RJ-45 ポート×2(LAN×2)、USB 2.0(Type A)ポート
伝送速度	100/10Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	100BASE-TX:カテゴリ 5 以上
	10BASE-T:カテゴリ 3 以上
ソフトウェア仕様	
LAN 設定	固定 IP アドレス(手動設定)
	DHCP サーバ(有効/無効)
対応プロトコル	TCP/IP、IPP、LPR、Raw

ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	WPS ボタン、Reset ボタン
LED	Power、WPS、Wireless
消費電力	最大約 2.3W
電源	DC 5V　1A
外形寸法	約 75.0（W）×28.8（H）×65.6（D）mm ※突起部を除く
重量	約 60g
動作時環境	温度：0～40℃
	湿度：10～90%（結露なきこと）
保存時環境	温度：-20～60℃
	湿度：10～90%（結露なきこと）
その他	
対応プリンタ	USB 2.0/1.1 を搭載したプリンタまたは複合機
対応 OS	Windows 7（32bit/64bit）/Vista（32bit/64bit）/XP
	Mac OS X 10.6/10.5/10.4（CPU :Intel/PowerPC support）
各種設定方法	WEB ブラウザ、Windows 用ユーティリティ
保証期間	1 年間

■注意事項

※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。

※プリンタとの双方向通信は、ユーティリティをインストールした Windows 7/Vista/XP のみサポートします。

※WPA/WPA2 を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPA または WPA2 に対応している必要があります。

※WPS を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPS に対応している必要があります。

※表示の数値は、Wi-Fi 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ（http://www.planex.co.jp）を参照ください。

第 8 章:お問合せ先

●サポート Q&A 情報(FAQ、よくある質問と答え)
ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。
お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。
http://faq.planex.co.jp/

●オンラインマニュアル
最新版のマニュアルを参照できます。
http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml

●技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ
製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

＜お問い合わせフォーム＞
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付:24 時間

＜サポートダイヤル＞
0570-064-707
受付:月～金曜日、10～12 時、13～17 時(※祝祭日および弊社指定の休業日を除く)

＜FAX＞
03-5766-1615
受付:24 時間

●弊社製品の追加購入〈PLANEX DIRECT〉
弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。
ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。
http://direct.planex.co.jp/

●製品に関するお問い合わせ〈ご質問/お見積もりフォーム〉

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

●その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

http://www.planex.co.jp/

上記内容は 2011 年 6 月現在の情報です。

内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

第 9 章:索引

●ご注意:ご使用の際は必ず商品に添付された取扱説明書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。